

特31

762

日本外史講義 八

獨學 日本外史講義卷之二十一

伊豫松山 近藤南州述

德川氏正記

德川氏四

此卷ハ關原ノ大合戦ヲ主眼ト爲シ。德川氏ノ征夷大將軍ト爲リ。天下ノ全權ヲ掌テシマデノ事ヲ記載シタリ。關原ノ役ハ。山陽先生モ全力ヲ用ヒタリ

見ヘ。至極通

慶長

此文ニテハ。家康ガ一人ニテ。秀吉ニ代リ。政權ヲ握リシ様ニ見ユルナリ。是時ハ首座ニ居リシマデニテ。衆議ノ政事ナリシ

故ハ代豐臣秀吉

創リ。秀家 大老 以上五。吉晴 以上三。淺野某 作者ト君

去ル方。傳授ニ由リ

○法印 僧位。○立以 以上五奉。○全我 國兵 新察ノ大捷ニヨリ。我が全軍ヲシテ。無

事ニ歸國スルヲ得

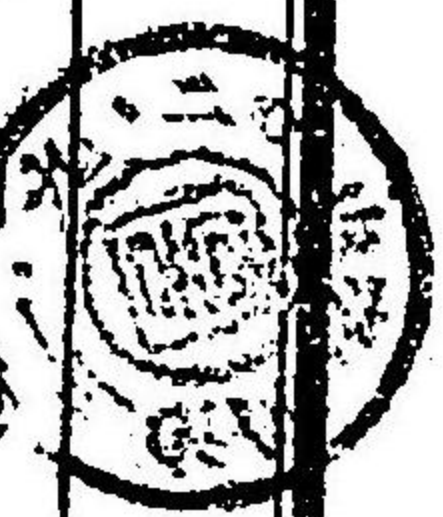
○口耳相屬 明言スルヲ憚リ。耳ニ口ヲユセテ。○驅役 オヒマハシ

○離ニ二家

德川前田ノ二家ヲ分離シ。○可以 遲 己レトモガ。十分オモハク通り。○爲

相惡者

フナカナル者ノ。○期 已定 已ニキマツタ。○警 心カセル感。○不利 不利益



即チ殺害スルコトヲ謂フナリ。○託疾 ヲツケル。○流言 セヒフヲ。○事已白矣 其事ハ全ク無根ナリシト云フコトガ。

明白ニナツ。○辱 レシチ以テ。恥辱ト爲スナリ。○欣然來 心持チヨク。來。○奸計 ヲツケル。○將駕 出張セントスルチ云フ。駕ハ、馬子車ニク、リ付ケ。出ツル用意ス。○密移 密ニ書類ナリ。移ハ文移ノ義ニテ。是レヨリ彼。○託事 事故ニカ。○慚憤 赤面シテ。○有姻 レニ移シ送クルヨリシテ。移ト言フナリ。○託事 事故ニカ。○慚憤 赤面シテ。○有姻 長子忠隆。利家ノ女子娶。○何面目立世乎 トノカホデ。世人ニ對スル。○冲子 幼少ノ嗣子。故ニ親類ナリシ。

○自引 自分カラ身チ引キ退ク義。○徒居大坂 秀吉ノ遺命ニ違フナリ。○送之 大阪マデ送り。○平瀧 河内。前巻ニ牧方ニ作ル。是。○追躡 オヒウツ。○果然 果シテ井伊ノ兵ナリシ。隊長脇。○牧長 諸侯チ。○有馬氏 中務少輔則頼。是時制髮シ。○外間騷擾 モノサワガシキチ云フ。

○及未昏 マタ日ノクレヌ。○密語 内談スル。○共扶 二人ガ臂ニテ。○忠輝 家康ノ第六子。○松平康元女 成績ニハ、牧野康。○爲婦 子正之ノ妻ト。○異父弟 久松定。○故世子 家康ノ長子。自。○背遺令 太閤ノ遺令ニ。凡ソ天下ノ大名。私カニ。○分疏 申シ開キ。殺セシ人ナリ。○背遺令 婚姻チ結ブ勿レトアルニ。違背スル。○分疏 申シ開キ。

豐臣記參 看ス可シ。○連署 書面ニ連名スル。○諺 詰問ス。○政柄 政事ノ權柄。○前日變故 前日散樂チ有。ノ廢動。○有蹤跡 其變チ起サセタル。アトカマノアルチ謂フ。蓋シ石田トカ。増田トカノ。ヲ指ス。○有蹤跡 姦計ニ出ヅタル證據ノアルチ。ツキトメテ。手強ク論判セシ者ナリ。

○反詰 立ツルチ云フ。○京極氏 高。○大津城 近江。○更番 前役ノ人ト。カハリ。○勢 多。近江。成績ニ。尾。張熱田ニ作ル。○塞關 セキ所ノ門チ。シメキリテ。通行人チトホカヌ。咄聞音、石田軍。セテ膳所ニ至リ。直政ノ飛報ニ接シ。戰ノ未タ起ラザルチ知リ。命チ矯メテ。關チ閉ザ。行人ノ東。上スル者チ抑留スル三日。勢多草津水口ニ充溢スル者數萬人。而シテ後チ關チ開クトアリ。事情。チ得タル。○填咽 ヒトゴミニナル。○黨人 石田等ノ徒。○忠次等 大久保長安、長谷川七左衛門等モ。同行ナレドモ。例ノ。行文字害スル故ヘニ。○監稅 賦稅チ監督スルノ用ニ。○兼程 一日ニ二日。○調停 雙方。創リ去リシナラン。○尋盟 盟約ノヒエタルチ。再。○要 是非ニ來リ盟ヘ。○爲何狀 何カノノ模樣。○負平生 平素親厚ノ誼ニ反シテ。○親暱 シマシク義。○治部 三成。○欺我乎 魚子贈リ。○賣 欺ク意。○陳謝 三成ノ姦ニ欺カレシ次第チ。○傾心 心ヲ傾キ。○推戴 表テ向キ。オシイタ。○密告 密ニ書キタルナレドモ。却テ其不義チ表スルモノナリ。○推戴 表テ向キ。オシイタ。○密告 密ニ書キタルナレドモ。却テ其不義チ表スルモノナリ。

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

獨學 日本下地傳義 卷二十一

ミテ、チツ ○保 屹度受 ○突入死戦 德川ノ屋敷へ。無二無三ニツイテ入り。 ○承 其弊
テアル。 ○力争 是非ニ我ガ説ヲ主張シテ争論スル。蓋シ ○立馳 二人打チ連レ
敵ノツカレタル處ヲ。 ○故城址也 明平ヲシテ向島ニ城キ。別ニ宮殿ヲ構シ。遊
引キ受ケテ戦フ義。 ○吾亦云云 成績ニ細川家傳録、松榮紀事ヲ引キ云フ。神祖驚キ曰ク。子ナクレバ、則チ吾殆ソト
ク修飾セシ ○故城址也 息ノ地ト爲ス。其秋地震ニ遇ヒ崩レ。遂ニ廢シ來リシナリ。 ○著 僧
ニ似タリ。 ○伏見 淀川ノ上流 ○淺野 幸 ○両加藤 清正、嘉明ナリ。叙事上ヨリ之レヲ論ズレ
服 成績ニ據ルニ。家康ノ大坂ニ往クヤ。利家之レヲ愛シ。諸將皆ナ侍坐ス。石田三成忽チ黒衣チ
斷ツ。故ニ此ノ如シト。然レバ是ノ時黒衣ヲ著スルモ。同ク喪中 ○要 謁 途中ニマナウケ
故ヘノユトニテ。謝罪ノ爲ニ斯クセシニ非ズ。誤解スルヲ得ズ。 ○豐後橋 伏見、淀川ノ上流
豐後橋 伏見、淀川ノ上流 ○淺野 幸 ○両加藤 清正、嘉明ナリ。叙事上ヨリ之レヲ論ズレ
アル故ヘニ。文勢ヲ害スルニ因リ。姓ノミヲ記シタルナラン。サレド淺野ト云フモ。父子二人アル
故ヘ、イヅレナルヲ辨ゼズ。清正モ末班ニ記ス可キ人ニ非ズ。嘉明ハ上文ニ見ヘザレバ。姓ノミニ
テハ。通シガタシ。總テ行 ○仇 隙 ナカナル義。 ○依 於 利 家 是レハ松榮紀事ノ。三成ガ
怨ミ之レト絶チ。大坂ニ往キ。利家ニ依レト云ヒシニ同シ。依ハタノミヨル義ナリ。豐臣記ニハ。
利家疾篤。三成方親之トアリテ。石卵餘史、關原合戦誌ナドノ。利家ノ看病セシト云ヒシニ。同
シ。豐臣記ニ ○利家亦不許 豐臣記ニハ。利家ノ病篤キニ因リ。七將ガ志ヲ遂スルヲ得ズト
從フ可シ。

記事ノ異同アルニ氣 ○要 擧 マナウケテ。 ○毛利 元 輝 ○上 杉 勝 景 ○浮 田 家 秀 ○嶋 津
附カザリシナラン ○兼 并 其 國 人ノ領地ヲモ。兼チ ○德 思 有リ難ク ○寧 自 歸 セントナレバ。
弘 義 ○佐 竹 宣 義 ○間 行 三 成 義 ○備 前 島 大坂ノ地。松榮紀事ニ云フ。三成ノ第。秀家ノ第
テ一隊ト ○兼 并 其 國 人ノ領地ヲモ。兼チ ○德 思 有リ難ク ○寧 自 歸 セントナレバ。
往キ。頼ミユトヨトノ意。 ○女 裝 婦人ノ衣服ヲ着シ。 ○乞 命 イノチユヒチスル。關原記大
キ。家康ニ面シ。三成ヲ救フ ○寢 而 不 寐 イカド處置セント思フヨリシテ。チマニ入 ○款
テキハヲヒスル。 ○自 中 事柄ヲ申シ上 ○稟 事 グルトナリ。 ○謂 治 部 何 一 分 チ。イ
カヤウニセント思 ○思 則 得 焉 熟考アレバ。則チ宜シキ處置ニ思ヒ當ラントナリ。森賊チ
ハル。ヤトノ意。 ○伊 奈 圖 書 上文ニ今成トアル人ナリ。記者ノ ○私 憾 ヲ
他日其封ヲ奪ハルノ禍ニ罹ルヤ。 ○諸 君 云 云 何等ノ暴言ゾ。人チシテ ○恟 恟 キ。ヤカ
クシノ ○重 臣 五奉行ノ一人ナ ○諸 君 云 云 何等ノ暴言ゾ。人チシテ ○恟 恟 キ。ヤカ
マシ ○就 國 我ガ領國ニ ○幼 主 秀 頼 子 ○靖 ヤスシ ○熟 慮 ガ へ ル 義 ○諸 藩
キ 義 引キ取ル義。 ○何 世 變 世ノ變動ノ模様チ。 ○來 覲 大坂ニ來ツテ。秀
主 毛 利 浮 田 佐 竹 小 ○何 世 變 世ノ變動ノ模様チ。 ○來 覲 大坂ニ來ツテ。秀
西 等 ノ 諸 大 名 ○何 世 變 世ノ變動ノ模様チ。 ○來 覲 大坂ニ來ツテ。秀

四

根本 德川ノ根本。即チ江戸城ニ攻。○其後 德川ノ關東ニ。○衷 十カニツ、○乘此黨

近 此ハ石田方彼。○窘蹙 來ズシテ。クルシムチ云フ。○聽命 德川ノ命ヲ承諾

江 ○被擯 ラル、義。○請内大臣云云 黒田長政、堀尾吉晴ノ。○徙封 ノ會津ニ轉封

セラル、○所悉 委細承知セラル。○措置 分スル義。○統内 領分内。○襲封 今春

殺シテ國ヲ相。○謁歸 願ヒテ出シテ。國。○擅殺 上ニテ屈ケズシテ。○屏居 キテ

謹慎シ居。○高雄 山城ノ地。其神護寺。○在國舉兵 上國ノ變ヲ聞キテ。○贈

以衣物 暑衣二百領。鐵二千。○寺澤廣孝 家忠日記ナドニハ。廣孝ヲ遣ハシ。忠恒ヲ授ヒシ

遣ハシ。論シ降ラシメタリ。○重陽節 九月九日。○就館 家康ノ旅館ニ住キテ。義。是時

○黃門 中納言ヲ謂フ。○博 碁ヲウツ。家康圍碁ヲ好ミ。是レヨリ先キ碁。○拉其手 石

ヲ持チテ。盤面ニ差出ス手ヲ。○耦刺 雙方ヨリ飛ビカ、ツテ。一時ニ刺シ通ス。○注ニ云

其儘トラヘルチ云フナリ。○耦刺 正出迎而就ニ公手トアリテ。國碁ノ事ハ載セス。○曲在於我 大坂マテ來

フ。此レ讀者ノ空言ト雖也。登城シテ節ヲ賀スル。必ラズ圍碁ニ至。○曲在於我 大坂マテ來

セスト云フテハ。オナトガ我方ニ在ルト云フ義。カスガ三人共。○兩用之 兵ヲ徵スト登

名臣ダケニテ。議論ガ正當ニシテ。銳氣アリ。義倭ノ身情ニ似ズ。○兩用之 兵ヲ徵スト登

トモ探。○衛士 警護ノ。○戒心 不慮ノ難ヲ用心スル。○不復知禮節 法ヲ心得ヌ故

御免下マサレトノ意。○隔障而坐 次ギノ間ニスル。○中厨 魚肉ナドヲ烹飪スル

大紙燈 尺アリテ。時人之レチ大坂ノ大紙燈ト呼ビシト云フ。○隔絶 カケヘダ。○徙居

伏見ヨリ。大坂ヘ。○密邇 手近カク。○西城 大坂城ノ。○嫡母 妾腹ノ子ヨリ。父ノ本

○北廳 即チ淺野 氏ナリ。○放治長雄久 治長チ下野結城ニ。雄久チ常陸大田ニ放ツ。罪ノ有無

ス。是レ徳川氏ノ失ナリ。○就國 邑ナリ。○不成就 冤罪ノ事故ヘ。憚カツテ。我が

金澤。小松 加賀。○許而遣之 家康之レチ賞シ。佩刀ヲ授ケ。以テ先鋒ト爲スト云フ。家康

テ其豐臣氏ニ對シ公平ナルチ説キ。之レチ辯護スレドモ。我レ信セザルナリ。蓋シ秀吉ノ信雄ニ

於ケルチ學ブノミ。唯ダ信雄ハ壯年ニシテ。秀吉チ除クノ意アリ。秀頼ハ孩兒ニシテ。無神經ノ者

ナリ。サレバ家康ノ私。○白冤 無實ノ罪ナル。アカ。○其老 國家老。○利長母 所生ノ母

稱スト。○爲質 利長ハ之レチ大坂ニ質トセシナルチ。家康ハ。○坂崎 出羽守ト稱ス。サレド

云フ。○爲質 無理ニ壓制シテ。江戸ニ質トセシメタリシ。○坂崎 後來ノ改稱ニシテ。是

時ハ浮田左京亮孝親ト稱セシト云フ。○戸川 肥後守 達安。○岡守 越前 守。○花房 志摩守 職之。○嬖臣 氣ニ入り。○長

船某 紀伊守ト稱ス。是レハ事實ヲ誤ルニ似タリ。家忠日記、關原記大全、關原合戦誌、松榮紀事

等ノ諸書ニ據ルニ、浮田以下四人ガ、秀家ノ壁臣中村刑部ノ讒佞ヲ惡ミ、之レヲ誅セント

請ヒ。秀家聽カサルニ依リ、四人固ク之レヲ請ヒシニ、秀家ハ刑部ヲ其第ニ匿シ出サズ。四人之レ

シナリ。本書ノ如ク之レヲ攻メシニ非ズ。且ツ長船ニモ非ズ。サテ中村刑部ハ、初メ二郎兵衛ト稱

シ。秀家ノ妻、前田利家ノ女ノ嬖臣ナリシガ、備前ニ來リ、權臣長船紀伊守ニ諂事シ。秀家ニ寵任

セラレ。刑部ト改稱シ。國 ○以四人附吏 浮田戸川ヲ。前田玄以ニ付シ。岡花房ヲ増田長盛

政ヲ專ラニセリト云フ。 ○山形氏 即チ山縣氏ナリ。同訓ニ因リ轉音ス

シ。大谷吉隆ニ當テ付ケ立腹サセシ。面白カラザル。家康ノ處置アレ ○喧傳 ヤカマシク。言

トモ。本書ナドニハ詳記セザル故ヘ。公平ノ處置ノ如ク見ユルナリ。 ○當衢路 諸國往來ノ街道

○有異圖 兵ヲ舉ゲテ、徳川氏ト抗セント。 ○牙騎 ノ騎兵。 ○文治故事 文治中。平

○知兵 兵法ヲ心 得ル義。 ○使人詰之 増田長盛、大谷吉隆ニ命 ○當衢路 諸國往來ノ街道

○荒廢 損スル義。 ○參賀 登城シテ、新年ノ 祝賀ヲ述ブル義。 ○稱疾 病氣ナリト言

麻ノ馬尾ニ巢ヒ、占者ノ以テ源氏ノ平氏ニ逼 ○枝梧 兎ヤ角ト理窟ヲ張ツ

ルノ兆ト爲シタル故事。平記中ニ見ヘタリ。 ○上變 景勝反セ

リト。上 ○反形 ウハサノミナラズ。屹度謀反ノ 實證ノアラハレシ者ヲ云フ。 ○僧承兌

時ニ相國寺中ノ豐 光寺ニ住持タリ。 ○恃慢 道理ニモトリ。 ○中老奉行 生駒親正、中村一氏、前田玄以、増田

出シタリ。 ○部署 手分ケテ。 ○信夫 陸奥。今 ○佐竹氏 義宣 ○仙道 中山道

光義 ○米澤 出羽。今 ○前田 利長 ○堀 秀治。秀政 ○村上 義明。義清ノ孫ニシテ。 ○溝

口氏 秀勝。勝政ノ子ニシテ。 ○津川 陸奥。今 ○白川 陸奥。今 ○絶險 八ナハ、險阻ナ

堂ノ險 越後新發田ノ城主ナリ。 ○一夫當關千夫不過者 路ガ險阻ナル故ヘ。一人ニテ關ニ當ツテ。之レヲ守禦ス

トガ出來ヌト云フ義。李白ノ蜀道難ノ句ニ。劍閣 靜縹而崔嵬。一夫當關萬夫莫開トアルニ出ヅ。 ○來月 即チ六月ナリ。蓋シ七月下旬ヲ以

乃徒云云 増田長盛、長束正家等、彼是レト異論ヲ 唱ヘシモ、皆チ家康ニ威嚇セラレタリ。 ○養保科正直女 妹分ト爲シテ。嫁シタルナリ。

○來祖 見立テ 義。 ○正吉 成績ニ綱 正ニ作ル。 ○三形原之役 武田信玄ト戦ヒ。大敗 ○跛 阿シナ

ス。成績ノ注ニ云フ。元龜三年。三方原ノ戰。股ヲ傷キ。天正三年。諏訪原 城ヲ攻メ。銃其股ニ中リ。創愈ヘ跛ト爲ル。蓋シ再ビ創ヲ被リシナリト。 ○艱步履 歩行ニナ

○不保無變 異變ノ無キトハ。受 合ハレヌトノ意。 ○無變則已 異變ガ無ケレバ。則チソレヲ事ト云

當時對話ノ情 留以貽敵 多人敵ヲ留メ置キ 敵ニアタヘル義。 ○質于駿河 今川氏ニヒト

○三鼓 今川氏ニヒト

子ノ刻。以前ノ九ツ。○早發 早天ニ出立スル義。○永訣 ナカノツカレ。死シテ再ヒ面會セザルヲ謂フ。○痺ル義。○

攬涕 ヘルヲ云フ。○譜第 本朝ノ俗。世系絶ヘズシテ。數代其家ニ附屬スル臣ヲ譜第ト曰アリ。一ニ曰ク。嚴津譜第。親氏、素親、信光、三世功勞ノ士是レナリ。二ニ曰ク。安祥譜第。親忠、長

親、二世閑閑ノ家はレナリ。三ニ曰ク。岡崎譜第。清康ノ武威ニ具レ。跋扈攀附スル者はレナリ。或ハ云フ。安祥、山中、岡崎、之レヲ三譜第ト謂フト。二説異ナリト雖モ。通シテ御譜第衆ト稱シ。之

レニ茅土ヲ胙シ。以テ干城ト爲スト云フ。後チ江戸ニ徙ルニ至リ。三譜第ノ外ニ於テ。更ニ譜第ノ名アル者。實ニ數フニ勝ユ

○在者悉從 榊原康政先鋒ヨリ。本多忠勝、井伊直政、中軍前鋒可カラズ。盛ト謂フ可シ。酒井家次、大久保忠常、本多忠政、奥平信昌

平岩親吉、小笠原秀忠、松平家廣、松平家乘、松平家清、戸田一西、本多正純、青山忠成、阿部正次、本多康重、高力長房、菅沼定利、大須賀忠政、内藤信成、天野康通、本多康俊等從フト云フ。○

其弟 河越本其子ニ作ルハ。誤ル。○石部水口 近江。○告其異謀者 伊勢ノ郡代藤山理兵衛。夜密ニ來リ告ク。○土山

近。○温言 キントバ。○諸侯伯相踵來從 織田長益、其子長孝、福島正則、其子正之、弟隆、興秋、京極高知、筒井定次、淺野幸長、田中吉政、堀尾忠氏、山内一豊、有馬豐氏、蜂須賀至鎮、藤

堂高虎、其子高吉、加藤嘉明、黒田長政、生駒一正、寺澤廣高、宮田知治、堀田一繼、古田重恒、稻葉道通、山名禰高、宮部長房、金森重頼、徳永春昌、九鬼守隆、分部光嘉、古田重然、小出秀家、一柳直

盛、市橋長勝、桑山元晴、龜井茲矩、石河貞政、石川康長、舟越景直、小出吉良、佐々長成、市橋昌成、天野雄光、佐藤堅忠、佐久間高勝、津田正秀、神保相茂、水野守信、秋山右近、中川忠勝、丹羽氏信、

鈴木重愛、赤井忠泰、眞田信幸、大島光義、仙石忠俊、兼松正吉、長谷川重成、水谷勝俊、柘植正俊、

戸川遠安等。凡ソ五萬五千八百餘人ナリト云フ。○以次 次第順序ヲ以テノ意。○瀕死 殆ンド死セ

リ。子忠一ノ幼ナルニ付。○中納言 秀忠是時江内ハ諸弟。外軍令十三條 史

ニ。徳川記、石田軍記ヲ引キ云フ。靜論スル母。荷擔スル母。火ヲ縦ツ母。齒掠スル母。疎

ヲ疎ム母。淫スル母。斥候ヲ濫スル母。次ヲ越ル母。捷徑ヲ取ル母。長秘ヲ滅スル母。強

強買スル母。燕飲スル母。博スル母。輻重ヲ混スル母。馬ヲ風スル母。津梁ヲ競フ母。擅

レ。擅ニ次舍ヲ徒ス母。護軍節度ニ違フ母。是レニ據レバ。十八條ナリ。イカバニヤ。○

前部 先手ノ兵ナリ。○吾計中矣 前日ノ景勝等ト相談セシ計略ガ。圖ニ。○敦賀 越

某 彦右衛門。○垂井 美濃。○或可徵 幸萬一焉 さいハヒニ。得ラル。カモシレヌト云フ意。

○反旆 ハダチ反シテ。攻メ上ルヲ云フ。○魚隕矣 ツレミダレル如ク。軍兵ノ敗北スルヲ謂フ。○西道

豪傑 毛利、島津、浮田、小西等ヲ指ス。○東北諸國 信濃ノ眞田、常陸ノ佐竹、下野ノ多

ヘテ。手ヲナレノ出來ヌ様ニスルヲ謂フ。○不保 其中也 ヤハハ。ウケヤハレヌト云フ意。○奕棋者 ヲチウ

○中手 ヒト通り。○算成 モリノ成就セシ者。○國手 一國中ニスグ

外。○國棋 即チ國手ノ。○角 ベ争フ意。○老於兵機 トニ。老練スルヲ云フ。○英

カ。○國手 一國中ニスグ

○算成 モリノ成就セシ者

○國手 一國中ニスグ

○意表 リノ

○英

獨學日本外史 卷之二十一

略。英邁ナ。○不能加焉。之レチ撃テ破ツテ。降服サセル。○較。角ト通ズ。相。競フ意ナリ。○資望。ノ

○首事。事ヲ。首唱スル意。○熊虎之將。猛將ヲ熊虎ニ比スルナリ。三國誌ノ周瑜

○將率。率ハ帥。○圖繪其像。信長士ヲ好ミ。毎ニ諸家ノ名士ヲ畫シ。其善キ者ヲ擇

○上圖。ヲル。ナカキ。○部屬精銳。手下ノ兵ガ。チレテ。○與國始終。國家

○祿其孤於襁褓。通常ナレバ。用ニ立ツモノニ非レバ。祿ハ與ヘヌ例ナレニ。○瓦合之師。カハ

○如膠漆。然ル如ク。固クシテ。中々ハナレヌ。○大藏。大藏少輔正家。水。○可一擊而獲。ヒト

○大息。オホクサメ。○大藏。大藏少輔正家。水。○可一擊而獲。ヒト

○柳川。後。○小野某。泉。○前跋後意。進退スルコトノ

○形也。目ニ見ユル。カキナダ。○勝於無形。未ダ戦ハサル以前ニ。成算アリテ。勝チテ制ス

○即還軍矣。狼狽ハセス。スグニ軍ヲ引。○藉。シタシキ。○獲罪。朝鮮ノ役。其

○陽推奉之。豊臣家ト親族ノユト故ヘ。表テ向キマケ。之レチオシイタバク義。三成等

○長政妻。直ノ女。○族人留守者。輝政ノ妹夫山崎家盛

○明知氏。光秀ノ。○前田氏。利家ノ女。忠。○禁闕。上ミチ犯

○自裁。自分ニカニ伏シテ死スルコト。留守小笠原松。○懼而戢兵。其妻

○四十餘人。毛利輝元。浮田秀家。石田三成。大谷吉隆。増田長盛。長

○輝元入居西城。上文ニ輝元ノ大阪

○東行諸將ノ己レヲ恐

○四十餘人。東正家。小早川秀秋。毛利秀元。毛利秀包。島津義弘。其

○四十餘人。東正家。小早川秀秋。毛利秀元。毛利秀包。島津義弘。其

○四十餘人。東正家。小早川秀秋。毛利秀元。毛利秀包。島津義弘。其

○四十餘人。東正家。小早川秀秋。毛利秀元。毛利秀包。島津義弘。其

○四十餘人。東正家。小早川秀秋。毛利秀元。毛利秀包。島津義弘。其

○四十餘人。東正家。小早川秀秋。毛利秀元。毛利秀包。島津義弘。其

部少輔、與山雅樂助、多賀出雲守、杉若主殿頭、谷衡好、山崎右京亮、赤松則房、河尻肥後守、木下左京亮、脇坂安治、堅田兵部少輔、僧惠理等、九萬三千七百餘人ナリシト云フ。○誹議

城ヲ棄テ、身怯ナル者トシテ云フ。○眷顧 目ヲカケ、ヒイ ○三將 松平近正、内藤家長、○他人令

カシツ。○當見勉厲 骨折ツテ籠城セヨト。ハゲ ○走路 ニゲ ○不之於人

勅ニ不自由ハ ○試我鋒 我ガ刀ノキレアチ。マメ ○有刀而已 ナリトノ意。○十

將軍 十人ノ大將ノ意ナラソ。カレト將軍ノ字。當チ失ス。標注ニ。軍ノ字衍ナラントアルハ。從

攻メ。野村真隆、眞俊、松浦伊豫 城北ヲ攻メ。毛利石田ノ部兵。西北ヲ攻メ。小早川秀秋、垣見家

純、熊谷直陳。東北ヲ攻メ。其餘増田氏ノ部兵。及ヒ大阪弓銃隊將十餘人。鎮西ノ將士。總テ三萬九

千餘人。三面城ヲ圍ミ。其南方ヲ關ゲト云フ。是レ關原記大全ノ記事ナリ。カレバ十將ト言フモ。

實チ失セリ。十餘將トスルカ。或ハ十將軍ノ三字共。削リ去ルカ。何ントカ修正ス可キニ似タリ。

○各守其所 各々固守スルチ云フ。○分陣而守 元忠牙城ヲ守リ。家長西城ヲ守リ。

左衛門、名越丸ヲ守リ。佐野正吉、嚴間兵庫、深尾清十郎、石部小一郎、松丸ヲ守リ。駒井直方、治部郭ヲ守ル。○勝俊 秀秋ノ兄ナリ。○不自安而出

諸將其秀秋ト謀チ通ズルヲ疑ヒ。之レヲ忌ム故ニ。安ンセザリシナリ。時 ○不可俱守者 城

ニ北廳京師三本木ノ第ニ在リ。勝俊之レヲ護スルニ託シ。城ヲ出テ去ル。○諸姬 多クノ女

敵ニ明ケ渡シ逃ル。○我日 日ハ前 大坂 西滅チ 諸姬 中トモ。○明

我志 我ガ敵ヲ畏レ。死ヲ惜ミシニ非 ○乃納之 城ニイレタリシ。即チ上解ノ如ク。

茶商 茶ヲ賣ル。○以茶笥爲號 商タルノ意ヲ表セシナリ。○田邊 後丹 ○受圍之

前日 本書ニテハ。七月二十日ニ伏見ヲ圍ムトス。○其明日 國ヲ受クルノ明日。○行四日

二十四日ノ夜ナリシ。○小山野 下 ○伏見使者 元忠等ノ發スル所。○宇都宮野 下 ○結城 下總。成績ナド

秀忠ト共ニ江戸ヲ發セシト爲セリ。カレバ是時モ秀忠ト共ニ宇都宮ヨリ來リシ者ナリ。本書結城ヨリ來リシトスルハ。イカニヤ。○罷歸 從征チヤマテ。

四疆 四方ノ領分サカヒチ云フ。老森陰カニ德惠シテ。三成ヲ曲庇シ。以テ事ヲ

史記韓信傳。刺 ○掃蕩 ヒラヒノヅキ。○區區 小ナル貌。○一隅 地ヲ云フ。○作

色而出 カホイロチカヘ。立腹ノ體ニテ。坐チ起ツテ外へ出タ。サテ激論ハ然カル可キモ。出ツ

實チ得タルニ似メリ。○要將 キ大將チ云フ。○畢前議 前ヘノ論ヲ反ヘシ。西上スルト。○將吏

將ハ浮田小西ノ類。史 ○諸質子 從征諸將ノヒトシ。○幼主 秀 ○其奸 將史ノ姦

情義 妻子ヲ愛スルノ情。○毫無所憾焉 毛ホトモ遺憾ニハ。○芻糧 馬ノハミ。○達

幼主ヲ奉ズルノ義。○毫無所憾焉 思ハスト云フ意。○芻糧 兵糧ナリ。○達

情義 幼主ヲ奉ズルノ義。○毫無所憾焉 思ハスト云フ意。○芻糧 兵糧ナリ。○達

情義 幼主ヲ奉ズルノ義。○毫無所憾焉 思ハスト云フ意。○芻糧 兵糧ナリ。○達

情義 幼主ヲ奉ズルノ義。○毫無所憾焉 思ハスト云フ意。○芻糧 兵糧ナリ。○達

情義 幼主ヲ奉ズルノ義。○毫無所憾焉 思ハスト云フ意。○芻糧 兵糧ナリ。○達

情義 幼主ヲ奉ズルノ義。○毫無所憾焉 思ハスト云フ意。○芻糧 兵糧ナリ。○達

之。大阪マテ。無事ニ到。○相目 見合ス。○臣等 臣ノ字委カラズ。我輩カ吾曹ニ

指。スルヲ云フ。○足下 井伊本多ノ二人ガ主命ヲ傳ヘシ席ニシテ。家康ハ出席セシニ非ズ。

願。妻孥。女房子ニハ。目ヲカケストノ意。正則ハ幼主ノ語。○引滿 ミテタルヲ。手ニ持ツテ

意。○屬 杯ヲサス。○下物 酒ノサカ。○面謝 自分ニ面會シテ。○知兵 兵法ニ

敗形已親 ヤアラハレテアル。○雖無似 一ルモノ意。○更事 世事ニ經歷。○賜 是

當ノ甚。贈ノ字ニ改ム可シ。下文ノ賜同シ。○驕馬 赤馬黒毛尾ノ者。○驪馬 純黒色ノ者

ナ。○請間 御手透キニ。寸内。○籍第 カリニ設ケテ言フ辭ナリ。○監軍 メツケ。○

留守 宇都宮ニ留守シテ。○繫羣心 大勢ノ者ノ心ヲ。ツナギトメル。○頓首 地ニツケ

拜ス。○白河 陸奥ノ盤城。○無論 言フマデモ無キ。○濺泣 其ケナゲナルニ感ツテ。覺ヘ

○未嘗視背於敵 ツイト敵ニウシロチ。見セヌ。○義宣 常陸ヲ。○觀望 兩端ニ

マダチカケテ。兩方ノ勝。○梟將 大將。○東馳 常陸ヨリ會津ニ向フハ。北方ニシテ少シ

シ。○靡 ナビキマテノ義。本末。○故態 敵國ヲ侵掠シ。其國ヲ大ニセン。○白石 陸奥ノ

岩代。上杉氏ノ將甘。○去就 徳川ニ從フカ。西軍。○不貳 徳川ニ。フタ心。○慮其後 川

ヲ追ヒ撃テ。政宗ガ背後ニ在ツテ。我が本國。○此城 白石城ヲ。○丁寧 念チ入レテ。○

適張敵勢 一ツケテヤルユト。ナルナリ。○翼 景勝チマス。○易過乎 斯クナル時ハ。逆

ノト。ナラ。○密旨 秘密ノ御沙。○沈思 トクトカ。○印信 百萬石ヲ與ヘント約束スル。

○東陲 東方ノ邊境。○米澤 出羽ノ羽前。○溝口 勝秀。○村上氏 義。○嚮背 バ。ツムクモ

ア。○訛言沸騰 根ノ無キウハサガ。○使召還 武藏厚木マデ行キシチ。小山。○控掣

ヒキトメテ。○賜 是レモ贈ニ作ル可シ。其後スルニ。○近正 シクニ親正ニ作ル。宜。○襲

サヘツケル意。○賜 是レモ贈ニ作ル可シ。其後スルニ。○近正 シクニ親正ニ作ル。宜。○襲

書爲笠糾 駿ハ衣服ノヒダメノユトナリ。通シ難シ。逸史ニ勞ニ作ル。ヒキサク義。從フ可シ。

合セテ。カムリ笠ノヒモト爲シタルナリ。○不解而獻 クハンシンヨリノヒモ

ニ。ハンデハ。笠糾ニ爲ス可キ様ナシ。其誤リ知ル可シ。○不解而獻 クハンシンヨリノヒモ

ニ。ハンデハ。笠糾ニ爲ス可キ様ナシ。其誤リ知ル可シ。○不解而獻 クハンシンヨリノヒモ

ニ。ハンデハ。笠糾ニ爲ス可キ様ナシ。其誤リ知ル可シ。○不解而獻 クハンシンヨリノヒモ

ナ讀マズシテ差出シ。其二 ○猶觀也 其疑ハザル意ヲ示セシナリ。 ○諮 相談ス。 ○表 心無キ意ヲ表スルナリ。

志 ○納城 我ガ居城ヲ差出ス義。 ○掛川城 遠。 ○別邑 領地ト離レタルト。 ○府 中前 ○重茂 成績ニ重望ニ作レ。 ○刈谷 三河 成績ニ云フ。重望 吉晴ヲ歎キ曰ク。吾東國ニ赴キ。

リ。内府必ズ之レヲ信セズ。刈屋城主水野和泉守。今日來リ池鯉鮒ニ會ス。之レニ瀕リ以テ先容ヲ爲スニ如カスト。重望喜ビ。吉晴ニ從ヒ。池鯉鮒驛ニ至ル云々。サレバ刈谷ニ至リシニ非ズ。本書

記事少 ○石田氏所使也 重望類上挂クル所ノ錦囊ヲ檢スルニ。秀頼ノ印章ヲ得タリ。云フ。帥一人ヲ殺セバ。則チ郡國ニ封ヲ。以テ其功ヲ酬。則チ功最ニ居ル。其次ハ井伊本多水野等ノ

ノト。是ニ於テ三成ノ刺客タルヲ知リシト云フ。 ○懌 悦ナリ。 ○謬傳 間違ヒノ。 ○濱松 横須賀 遠江。 ○吉田 河。 ○清洲 尾。 ○故邑 苗木。 ○其婦 即チ信幸ノ妻ナリ。 ○良人 妻其夫

稱。 ○其子 信幸ノ子信吉。時。 ○何必今日 是非トモ今日ニ限リシトテモアルマシト爲。 ○有姻 親戚ノ縁アルヲ謂フ。利。 ○間使 ツカイ。 ○方畧 處分スベ。 ○謝

日 山岡道阿彌、岡江雪ニ就キ。 ○爲賊所要 當時秀秋ノ書中ニ。賊ト曰ヒシヤ疑フ可シ。謝辭ヲ申入レシト云フ。 ○爲賊所要 當時秀秋ノ書中ニ。賊ト曰ヒシヤ疑フ可シ。關原ノ戰ハ。群

詳カナリ。 ○倒戈 ウラギリ。 ○一鼓而取 ヒトセ

取レルト云フ意ナラン。一鼓而牛飲ノ一鼓ハ。 ○大礮巨煩 俱オホツナリ。重複故ヘ。一動ノ義ナリ。是レハ少シク異ナルコト似タリ。 ○射書 弓ノ矢ニ書テクハリツケ

甲賀人 山口宗助、永原十内。 ○正家部兵 甲賀ノ人。 ○射書 弓ノ矢ニ書テクハリツケ

ト謂フ。 ○甲賀人 城中ニ甲賀ノ人四十餘人アリ。 ○松城 即チ松丸ナリ。佐野。 ○名越堡 即チ名越丸。近正

ノ持場ナリシ。 ○西堡 即チ西丸ナリ。家。 ○一卒 原田。 ○小一郎 時二年十六。 ○未

也 マダ少シハヤ。 ○嬰壁 元忠ノ持場ハ本丸ナル故ヘ。其。 ○隨撲隨燎 ヨリ。モエツク。

○血戰 ツテ戦フ。 ○廝養之卒 廝ハ薪ヲ取ル者。養ハ炊事ヲ爲ス者。俱ニ下賤ノ人ヲ謂フ。 ○踞階 シニ。腰ヲカ

ク。 ○重次 成績ニ重朝ニ作ル。註詳ニ之。 ○本城 當伏見城ノ。 ○到 首ヲ斬ル。 ○賈人 某

京師ノアキウト。 ○知恩院 京師東山ニ在リ。 ○哀慟 カナシミテ。前後ヲ知。 ○令襲封 佐野四郎右衛門。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

親ノ知行ヲ受ケツガシメル。是レ大谷。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

吉隆ノ士ヲ撫スル云云ニ應ズルナリ。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

親ノ知行ヲ受ケツガシメル。是レ大谷。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

吉隆ノ士ヲ撫スル云云ニ應ズルナリ。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

親ノ知行ヲ受ケツガシメル。是レ大谷。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

吉隆ノ士ヲ撫スル云云ニ應ズルナリ。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

親ノ知行ヲ受ケツガシメル。是レ大谷。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

吉隆ノ士ヲ撫スル云云ニ應ズルナリ。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

親ノ知行ヲ受ケツガシメル。是レ大谷。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

吉隆ノ士ヲ撫スル云云ニ應ズルナリ。 ○米澤口諸侯 最上義光。 ○越後諸侯 堀直。 ○狼

狼 呼ロダ ○非不得已也 シカマナシテハナイ。成算 ○軍磨 イナイハ ○中路覺

之 途中ニテ。氣 ○竹篠 ナリ。 ○磨柄 イノエ。 ○上國之捷 伏見落城 ○轉致 捷報

達ス ○諸老 輝元 秀家、長盛、 ○脇坂 治安 ○朽木 綱元 ○赤座 保直 ○小川 忠祐 ○長

督我部 親盛 ○介居 キル義 ○衝要 ノシノ土地 ○其臣 具康 ○亦教云云 具康

百百安行ガ。使者トナリ。行キテ相談セシ ○桑名 神戶 伊勢。 ○鳥羽 摩 ○岡部 某

成嶺ニ。岡本下野守ニ作 ○龜山 勢伊 ○小松 若 ○北莊 前 ○大正寺 前 ○大垣城

美濃。城將伊 ○根據 ナリ。 ○犬山 尾張。岐阜ノ屬 ○警聞 シラセ。 ○頂背相望 行

違フサマヲ謂フ。已 ○舉動如常 ナシシ。以テ衆心ヲ安ンズルナリ。秀吉ノ毛利ト對陣中。本

能寺ノ變報ヲ聞キシ ○二十七日 將 關島正則、池田輝政、其弟長吉、淺野幸長、細川忠興、田中吉

永壽昌、寺澤廣高、黒田長政、加藤嘉明、山内一豊、堀尾忠氏、稻葉道通、吉田重恒、本田利朝、

龜井茲矩、筒井定次、有馬則頼、其子豊氏、織田長益、金森可重、一柳直盛。凡ソ二十七人ナリ。○

清洲 尾 ○毛利氏前部 長東正家ガ。毛利秀元ノ大軍ニテ後繼セシヲ特ニテ。阿濃津ヲ攻

○阿濃津城 勢伊 ○敵將長東正家 正家ガ女ヲヨメルニ依リ。正家ガ敗ラレシナリ。正家ハ水

爾答ナシ。上文ノ ○我將 東將トスベシ。徳永 ○市橋長勝 美濃今尾 ○福東 美濃大垣城

守將丸毛 ○高須 美濃 或ハ高巢ニ作ル。守將高木八郎兵衛。 ○鎮軍情 流言ナトノア

三郎兵衛。 ○不獲命 願意ヲ聞届 ○勿將此命 簡様ノ御沙汰ヲ傳達ス

○解体 カリ氣ノスケテ。 ○改其命 命ヲ命詞チ。 ○引直吉 直吉ヲ席上ニ引

直 マツスグナルヲ云フ。 ○不枉其言 命セテレタル口上チ。其 ○良苦 マユトニ御苦勞

○寒疾 カムガニアテラ ○失色 其致命ヲ述ヘザルヲ以テ。諸將ノ氣ヲ害センコ

○聽命矣 仰セカシユマリ ○不亦宜乎 諸將ノ從違。未ダ知ル

○拍掌 手ヲウツテ合 ○阻木曾川

○聲言 セル義 ○來援 ヒシナリ ○尾越川 木曾川ニ三渡アリテ。上

町渡ト曰ヒ。下モチ尾越ト曰フ。カレニ尾越川ト書キテハ。別ニ一川ノ如クニシテ。事實ヲ失ス。

川ノ字。渡ニ作ルベシ。尾越又ハ小越ニ作り。今起ニ作ル。皆十國疆通ズルナリ。美濃ノ地ト知ル

可。○河田渡 又々河戶、郷渡、江渡ニ作ル。皆ナ國普通ズルナリ。下文ニ合渡ニ作ル。是ナリ。關原記大全ニ三川合流ス。故ニ合渡ト曰フトアリ。從フ可シ。前後別字ヲ用ルハ。宜シカラズ。當ニ是處ヲ改メ合渡ニ作ルベシ。亦々美濃ノ地ナリ。○以河田上流路捷 河田ノ上流ト言ヒテハ。語ヲ成サ

渡ニ路捷トニ作ルベシ。捷ハチカミナナリ。岐阜ヲ改ムルニ捷路ナリ。上流マデノ捷路ニ非ズ。○主本州 正則ハ清洲ノ城主ナリ。故ニ本國ニ主マリト曰ヒシナリ。○舟筏可辨 容易ニ手當テガ出來ル。○德川氏之婿 輝政、家康ノ女ヲ娶レリ。○其翁 妻ノ父。即チ

○悻悻然 貌孟子ニ出ツル字。○尺寸 表テトカ。裏ヲトカ。○請堅壁云云 木道具ナリ。○米野 合渡ノ西ニ在。○竹鼻岩 尾越渡ノ近傍。○別堡 瑞龍寺ノ案ト稱ス。○險而隣 路ガケハシクシテ。○泥淖 ドロドロ。○蹊田 中ノ路ナキ處ヲ。無理ニタ

子壁上 上ノ上ヘニ。○折之 言ヲ以テ。其氣ヲ。○呂久川 大垣城ノ東北ニ在。○遣三千人 無兵庫、杉江、勘兵衛、森。○合渡 即チ上文ノ河田。○吾輩任也 岐阜ノ戰ニ與カラザ

合戰ヲ引受。○分道而渡 田中吉政、茶原原ヨリ渡リ。長政ハ上流。○赤坂 美濃。大垣

○止宿 宿泊スル。○順軍 軍兵ヲ屯。○精之 酒食ヲ供シ。○元帥 將大。○客地 地理不案内。○逸居 居ラヌ。○兵貴神速 郭嘉傳ニ云フ。兵貴神速。今千里襲人。彼聞

爲之必。○沮洳 界キクシテ。水ノ。○毛利參議 秀元。○安藝中納言 輝元。○勝其可決乎 勝ナニキマツ。○老輩 島津小西。○高宮 近江。○使人云云 平塚爲廣。戸田重政

○不敵入 大垣。人ヲシテ城中ニ謂ハシメ曰ク。詭言洶涌ス。未ダ戰ク入ル可カ。○上野 伊

○知信妻 浮田安心ノ女。○興山 高野ノ木食上人。○強而後聽 是非城ヲ明ク渡セト。再三諭セシヲ以テ。遂

居。○小松 加賀。丹波長。○淺井 越前。○府中 越前。尾尾吉晴ノ姪。尾尾宮内。及

遲回 ヒマチ入ル。○協坂 治安。○使之陰備 秀秋。脇阪安治、朽木元綱、赤座直保、小

不虞ニ備フ。而シテ四人皆ナ秀秋ト謀リ。藤堂高虎ニ憑リ。款ヲ送ル。是ニ。○南宮山 美濃。垂井

於テ又々密ニ黒田長政ニ因リ。益々前盟ヲ固フシ。内應ヲ約スト云フ。○若將其 式部。

○棄守遁 若ヲ棄テ、桑名ニ走リ。○疑兵 大軍ノ如ク見セ

以兵三萬西上 榊原康政、酒井忠勝、本多忠政、本多康重、大久保忠鄰、其子忠常、叔父忠佐、本

秀政、小笠原信之、仙石秀久、真田信幸、○間日 一日ヲヘダツル義。即

ヲス。蓋シ身方ノ勢力。○賜書 賜ノ字失當。贈 ○西城 江戸城ノ

役ヲ留任ト謂フ、菅沼定盛、諏訪頼忠、内藤忠政、柴田康忠、松平伊昌、三浦監物、

高木廣正、土岐十三郎、設樂貞通等。處守シ、板倉勝重ヲ以テ町奉行ト爲スト云フ。○酒井某

作右 ○村串某 奥三左衛門。二人 ○掌槍 槍奉行 ○三十餘人 米津清右衛門、小栗忠

右衛門、山本新五左衛門等二十四人監使マリ。旗奉行ノ次キヘ。是非監使ヲ叙ス可キ筈ナレドモ。

例ノ名ガ俗ナル故ヘ。文章ノ調子ガ悪シクナルヲ以テ。削リシナラン。○松平忠良、

松平勝政、松平正綱、松平家清、松平家乘、松平家廣、酒井家次、松平忠明、松平康長、本多忠朝、松

平忠政、本多康俊、本多正純、安藤重信、西尾吉次、奥平信昌、其子家昌、戸田一西、其子氏綱、永井

直勝、内藤清成、丹羽氏信、阿部正次、其弟正吉、青山忠成、其子忠俊、山口直友、北條氏盛、菅沼大

膳亮、天野康景、高木清秀、高力清長、牧野康成、西郷家員、稻垣長茂、土方雄氏、津山民部、大田重

政、津輕爲信、大野治長、岡江雪等。從テ成績ニハ。山道ノ軍ニ從ヒ ○星家 天文方位ナド

シ者ト。往々重複セリ。今之レヲ削ル。本營三十八。四十二作ル可シ。○避方 西方チサケテ。東門トカ南門トカ

○西方塞 此ノ辛丑ノ歲ニハ。大將軍星ガ西 ○避方 西方チサケテ。東門トカ南門トカ

○上狀 地方ノ模倣 緒釋 ヒキツ ○會津 景勝チ

○悉甲 甲士ヲユトノ義。○津川 陸 ○田邊 後丹 ○西軍二萬 小野木實勝等。已

○伊豫 三津ニ迎ヘ撃テ。之レヲ破リタ ○小西氏 行長、是時肥後ヲ領シ。

○大友氏 義統 ○山道軍 即チ秀忠 ○或獻云云 美濃厚見郡西座村、甲山立政寺ノ

諸書安八郡瑞雲寺ニ 作ルハ。非ナリト。 ○落我手矣 我ガ所有トナ

○觀望 居ル意。○偵騎 ノ騎兵。○陽大言 首ヲ吐キナラス云フ。○路阻 ミカ

○壯固 大ヒコシテ、手 ○暗者 ラキ者。○持重 落着キテ、事ヲ大切ニスル意。

○岡山 赤阪ノ南方ニ在リ。或ハ勝山 ○登丘而望 池尻口

○恟懼 オソル。○張聲勢 軍ノ增加セシ風ニ。威勢チ ○怵 セル義。○動

○株瀬 川ノ名。○一榮 是時一氏ノ子一學。家チ嗣ギシモ。年幼ナルヲ以テ。其

○其傍 一榮ノ近 ○左右翼 左軍右軍ナリ ○式部 一榮ノ兄一氏式部大輔ト稱ス ○隊伍可觀 陣立ヲ組

ガ至極善ク整フテ立 ○渡而進 株瀬川ヲワタリテ向 ○嘻 驚キ歎ズル辭。已ニ川ヲ渡ル

者ノ隊伍觀ル可キヲ贊揚スルヤ此等恐ハ後人處譽ノ記事ナラン ○皆還 兵ノ伴ハリ走ル

○指揮 スルツ ○確也 ト云フ義 ○悉銳 スルドキ兵チノアヲ ○田邊大津之

兵 上文ノ細川京極 ○黃門 ナ指シ黃門ト曰フ ○堅城 要害堅固ナル城。即 ○鷹鷲

左傳魯ノ季孫氏ノ語ヲ轉用ス ○搏 ヲウ ○倍則戰 多キヲ云フ。孫子ニ出ツル語 ○

征伐關東 征伐スルトノ意ナリ ○望我 我ガ軍チ仰 ○沮喪 ルヲ云フ ○過慮

心配シス ○成内府之名 德川ハ強ヒ。豐臣氏ニテモ之レニ敵シ ○貳過 一ツノ過誤

ナ。敗ムルコトヲ爲サズ。又々添ヘ増ス義ナルチ ○負勇者 ヤル者共 ○右 ヲウ ○中

納言 秀家ヲ指ス。下文ノ備前中納言モ同シ。カレト此ノ卷首ニ參議浮田秀家トアリテ。中納言

辭シ。文祿三年五月。備前中納言ニ任シ。七月辭ストアリ。其後四年ヲ經テ。慶長三年ニ。秀吉某シタ

シ者故ヘ。他人ヨリ呼ソテ。中納言ト稱セシハ。サモアル可キコトナラン。 ○謀慮深長 分ニニキトイキタルチ云フ。 ○揣知

ノ情實チ。オシカカリ知レナリ。此レニ據ンバ。家康ハ當ニ東軍チ自由ニセシノミナラス。西軍チ

モ。自由ニセシモノナリ。後人ノ缺言厭フ可シ。成績ナドニテハ。西軍諸將ガ勝手ニ出戰ノ際決セ

シヤブニテ。家康ノ宣言 ○束裝 身シタシ ○關原 美 ○安藝宰相 秀元チ ○薩摩

參議 義弘チ指ス。宰相ト云ヒ。參議ト云ヒ。又ハ黃門ト云ヒ。中納言ト云フ。只ダ其語カラ

菩提山 美 ○胥機 ミサダメル ○擠 トス義 ○三國 即上ノ備前。薩摩ナリ。 ○入説 義弘

城外ニ在リ。故ニ入ト曰フナリ。 ○詰且 明朝。 ○將再見 德川甲背 氏ノ軍チ擊チ破リ。其遺ケルウシ

ロスガチ見ント ○草草 キ立ツル意 ○子嘗見云云 再ヒ見ンコト言ヒシニ因リ。サ

詰リシ ○追之遠江 蓋シ三形原ノ合戰チ ○同視之 同一ニ ○飯七爲矩 俗語チ釋

リ。飯七ハ。俗ニ云フ。シヤクシナリ。矩ハ元來マカリカ ○不辭而出 挨拶セズシテ。出デ去リ

チノ事ナレドモ。是處ニテハ。俗ニ云フ。デウギナリ。 ○乃託言云云 是レ吉川廣家ノ爲セシ託言

ハ長楯而出トアリ。 ○乃託言云云 是レ吉川廣家ノ爲セシ託言 ○秀家先驅 上文ノ以

チ指 ○胥其時 一チ見定メテノ意。 ○舉烽爲號 ノアイツチチナスナリ。 ○小關村 美

○大炬 イホホト ○栗原山 美濃、大垣城ノ西南ニ在リ。 ○燎路 道路ヲテラシメ、カリヲトル。 ○隊伍 兵隊ノ合ヒ。

○天滿山 美濃、關原ノ西ニ在リ。成嶺ニハ、秀家背ニ石原嶺、向ニ東南ニ而陣トアリ。 ○又陣其左 成嶺ニ天滿山ノ麓ニ陣ストアリ。 ○有馬

修理太 夫晴信。 ○河尻 肥後守。 ○糟谷 内膳正、武則。 ○石河 光。 ○布施 布庵屋飛彈守ナリ。例ノ通。文勢ニ妨ケルニ因リ。屋ノ字ヲ削リシナラシ。

○玉置氏 小平。 ○赤座 直保、此人ノ通稱ナリ。 ○其右 上文ノ秀家ヲ承クルナリ。

○法齋 祖父江法齋ナリ。氏ノ音異ナル故ニ。創リシナラメ、法齋初メ江右衛門ト稱ス。武勇積累シ、召シ將府ノ職トニ任セ。青山忠成ニ繼グ。忠成氏ヲ授

○馬矢 馬糞ナリ。此ノ馬糞ハ通ツガカシ。ダトヒ馬糞ガ後ナ罪アリ。諺セラル。 ○撥 拾ヒト。 ○馬矢 温暖ナリシト云。

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

○家康 法齋ニ面シ云フ。敵ノ城ヲ出ツルハ勝光ナリ。吾當ニ繼ギ發シ。之

ウナシテ落馬セシヲ。孫太郎ガ之ヲ助ケテ斬リ殺シタルナリ。記者忠吉ノ功ヲ誇張シ。敵ノ馬ヨリ墮シ。從兵ニカシツシテ。斬リ殺シタル如ク書キ立テタルナリ。實チ失スト謂フ可シ。

○將卻 是時五町バカリ退走セシナリ。敘事實チ失ス。○遊軍 上文ノ蜂須賀簡井等ノ軍ナリ。○蒲生備中 名ハ隆家。○健闘 手強クマ。

○擧烽 天満山ニ於テ。○東軍發 礮松尾山。久保島孫兵衛、麾下ニ至リ。家テ秀秋兵ヲ接シ動カズ。處分ヲ請フ。家康色ヲ作シ曰ク。恨ム豎子ノ賣ル所ト爲ルト。乃チ孫兵衛チシテ。銃手二十人ヲ率ヒ。松尾山ニ向ヒ。銃ヲ發シ之ヲ脅サシム云々。徳川記。關原合戦誌等記スル所此ノ如シ。サレバ小銃チウチカケシマテニテ。大礮ヲ發セシニハアヲズ。○脇阪治 安。○朽木綱 元。○小川忠 祐。○赤座 直保。皆十秀秋ト與ニ。○信成長益斬重政 關原記大全ナドニテハ。長益ノ斬リシト爲シ。信成ハ反復ノ鄭夫ナリ。○部兵 樫井太。○敵諜齊進 蓋シ武田信玄三形原ノ手段ヲ學ビシナリ。○擾亂 サハギミ。○卻

而整 一應退キテ陣ヲ立テナチヌ。○原草爲之赤 血ニソマツテ。野ハラノ。○未時 ハ。今ノ午後ノ二時。○將帥無一人死者 奥平貞治ハ。松尾山ノ軍ヲ監シタル位ナレバ。將帥ニハ非レカ。衛門、村越兵庫等モ戰死セリ。サレバ皆十將帥トハ爲サレルコトヤ。怪ム可キナリ。之レヲ要スルニ。是役ハ徳川ノ大勝ニ相違無ク。亦石田ノ老姦ニシテ。豊臣ノ衆ヲ破リシニモ。相違ナシ。但

ダ西軍ヲ稱シ賊ト爲シ。又ハ大勝ヲ稱揚シテ。其實チ失スルニ至ルハ。皆十後人ノ諛言ニシテ。蓋シ北條氏ノ盛時ニ當リ。天皇御謀反ノ事ト。筆記シタル流亞ナリ。醜ニ堪ヘズ。○取

胃 胃ヲ持テ來ラシメシナリ。措詞妥チ欠クニ似タリ。○勝而肅胃茶 肅ハ肅然トシテ動カヌニスル意。茶ハカブトノヒモナリ。逸史ニハ。克而固ニ胃櫻ニ作ル。成統ニハ。○擯 價ト同シ。導賓ナリ。主國ノ君勝而結ニ胃緒ニ作ル。自カラ是非アリ。讀者ノ品評ニ任ス。○擯 價ト同シ。導賓ナリ。主國ノ君者。主ニ在ルチ擯ト曰ヒ。○絶類離群 東坡表忠觀碑文中ノ語ヲ用ニ。○中務 忠勝ヲ指客ニ在ルチ介ト曰フ。○脆弱 之レニ勝チ。而シテ此ノ得意ノ語ヲ發ス。笑フ可シ。○較 相手ニ輔タリ。○刀反

不入室 其闢擊ノ劇甚ナルニ因ルナリ。○注藥 藥チツケル。○以其餘 將士チ先其子チ後チニス。是レ英雄ノ人氣ヲ取ル手段ナリ。○鷹之俊者其雛亦俊 鷹ハ家康ニ比シ。雛ハタカノヒナニシ

阿諛ノ言。○四郎 忠吉ハ。家康ノ厭フ可シ。○發縱 鷹ツカヒガ。タカチハナツテ。小鳥ニ追ヒガニテ。○莫敢仰視 逸史ニ。莫敢チ不能ニ作ル。大ヒニ是ナリ。○耳語 ミノ。ニ口チ言フ。○黃門 秀秋チ指ス。○醜 膝行ノサマノ見。○自効 自分ニ實功チア

輝政。○撤備 上文ノ南宮山ニ備フチ承。○振古 シノ義。○昏夜向明 明クニ向フチ云。○蓋凱 大捷ヲ祝セサルヤ。○吾心未降也 シンバイシテ居ルト云フ意。○附

中務大 輔タリ。○脆弱 之レニ勝チ。而シテ此ノ得意ノ語ヲ發ス。笑フ可シ。○較 相手ニ

不入室 其闢擊ノ劇甚ナルニ因ルナリ。○注藥 藥チツケル。○以其餘 將士チ先

阿諛ノ言。○四郎 忠吉ハ。家康ノ厭フ可シ。○發縱 鷹ツカヒガ。タカチハナツテ。小鳥ニ追

ヒガニテ。○莫敢仰視 逸史ニ。莫敢チ不能ニ作ル。大ヒニ是ナリ。○耳語 ミノ。ニ口チ

言フ。○黃門 秀秋チ指ス。○醜 膝行ノサマノ見。○自効 自分ニ實功チア

輝政。○撤備 上文ノ南宮山ニ備フチ承。○振古 シノ義。○昏夜向明 明クニ向フチ

云。○蓋凱 大捷ヲ祝セサルヤ。○吾心未降也 シンバイシテ居ルト云フ意。○附

中務大 輔タリ。○脆弱 之レニ勝チ。而シテ此ノ得意ノ語ヲ發ス。笑フ可シ。○較 相手ニ

不入室 其闢擊ノ劇甚ナルニ因ルナリ。○注藥 藥チツケル。○以其餘 將士チ先

阿諛ノ言。○四郎 忠吉ハ。家康ノ厭フ可シ。○發縱 鷹ツカヒガ。タカチハナツテ。小鳥ニ追

ヒガニテ。○莫敢仰視 逸史ニ。莫敢チ不能ニ作ル。大ヒニ是ナリ。○耳語 ミノ。ニ口チ

言フ。○黃門 秀秋チ指ス。○醜 膝行ノサマノ見。○自効 自分ニ實功チア

輝政。○撤備 上文ノ南宮山ニ備フチ承。○振古 シノ義。○昏夜向明 明クニ向フチ

云。○蓋凱 大捷ヲ祝セサルヤ。○吾心未降也 シンバイシテ居ルト云フ意。○附

中務大 輔タリ。○脆弱 之レニ勝チ。而シテ此ノ得意ノ語ヲ發ス。笑フ可シ。○較 相手ニ

不入室 其闢擊ノ劇甚ナルニ因ルナリ。○注藥 藥チツケル。○以其餘 將士チ先

阿諛ノ言。○四郎 忠吉ハ。家康ノ厭フ可シ。○發縱 鷹ツカヒガ。タカチハナツテ。小鳥ニ追

ヒガニテ。○莫敢仰視 逸史ニ。莫敢チ不能ニ作ル。大ヒニ是ナリ。○耳語 ミノ。ニ口チ

返シ渡ス意ナリ。其實之ヲ大阪ニ奪ヒ。江戸ニ
轉致スルナリ。盧飾以テ諸將ヲ籠絡スルノミ。
語ヲ聞キ。感泣スル者アリ。○今須 美濃。關原ノ西ニ在リ。○藤川 美濃。大谷吉隆
蓋シ亦マ修史者ノ諛言ノミ。

○感泣 是時前田氏ノ母。何ノ處ニ在ルヤ。當
時ノ諸將亦タ嬰兒ニ非ズ。安ッ盧飾ノ
語ヲ聞キ。感泣スル者アリ。○今須 美濃。關原ノ西ニ在リ。○藤川 美濃。大谷吉隆
蓋シ亦マ修史者ノ諛言ノミ。

○今須 美濃。關原ノ西ニ在リ。○藤川 美濃。大谷吉隆
蓋シ亦マ修史者ノ諛言ノミ。

○藤川 美濃。大谷吉隆
蓋シ亦マ修史者ノ諛言ノミ。

○蓋シ亦マ修史者ノ諛言ノミ。

○是レモ妥當チ欠ケ。三成ノ
モルヲ。○族誅 父兄等。皆チ自殺セシナリ。○永原 八幡山 美濃。○渠率 將帥チ
云。○福原某 孝 ○戚屬 直シシルイ ○熊谷 陳 ○垣見 純家 ○相良 每 ○秋月 長

○高橋 元種。別ニ木村宗左衛門。
其子傳藏ノ二人アリ。○以銃代 倍 鐵炮ヲ以テ。棒ノ
○破陣 城ノ塀チウ

○水口 近江。長束正家
ノ居城ナリ。○近江人 相川村ノ禪
僧林藏主。○伊吹 近江美濃ノ界ニ在ル山名。行長三
故ニ今之レチ ○草津 近 秀頼ノ命チ受クルニ。 ○攘除 ノゾクヒ ○池田 輝

○福島 則正 ○淺野 幸長。サテ作者ハ淺野氏ニ俾カル所アリテ。名ヲ錄セザルニ付キ。他ノ
池田福島等チモ。併セテ名ヲ錄セズ。史乘ノ體裁チ失スル。殊ニ甚シ。

○北廳氏 秀頼ノ祖母時
ニ京師ニ在リ。○母子 母ハ淀君
チ指ス。○冲子 秀頼チ
指ス。○亂人 石田小
○帖服

○二日 成續ニハ。四
日ト爲ス。○小室 信
○争之 攻ム可カラズト。○六日 合戦チ

○受寵任 家康ノ氣コ入りテ。要務
チ委任セラル。チ云フ。○婦翁 シフト。謂フ。

○儲君 世子ノ稱。秀
忠チ指ス。○逗撓 敵チ避クル意。
○大事 關原ノ
大合戦。○

○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○失策ノ罪チ。分ケ
テ受クルチ言フ。○何遂詬之爲 ナンテスグニ。之レチッシリ。
○歎恨 シテ。

○舌戰 議論チ云フ。○往年武功 忠利、駿河持舟。信濃九子。尾張登江ノ戦功。
世ノ共ニ知ル所。故ニ人ノレチ稱シ。家康父

○舌戰 議論チ云フ。○往年武功 忠利、駿河持舟。信濃九子。尾張登江ノ戦功。
世ノ共ニ知ル所。故ニ人ノレチ稱シ。家康父

○舌戰 議論チ云フ。○往年武功 忠利、駿河持舟。信濃九子。尾張登江ノ戦功。
世ノ共ニ知ル所。故ニ人ノレチ稱シ。家康父

○舌戰 議論チ云フ。○往年武功 忠利、駿河持舟。信濃九子。尾張登江ノ戦功。
世ノ共ニ知ル所。故ニ人ノレチ稱シ。家康父

○舌戰 議論チ云フ。○往年武功 忠利、駿河持舟。信濃九子。尾張登江ノ戦功。
世ノ共ニ知ル所。故ニ人ノレチ稱シ。家康父

子モ亦タ之レヲ器重シ。果進シテ河越ノ城主ト爲リ。○由於正信。正信勸メテ上田ヲ攻メシ食邑三千石ヨリ。増シテ三萬七千石ニ至ルト云フ。○敵子存者ノ相手

父ヲ殺サシメ。以テ君ニ諛フ。安藤直次其禍ニ免カ。○全局。盤面全體ノ上ヘテ指ス。○爾時。上田攻。田ノ類ニ比スルナリ。○較ニ輪贏。マケカチチ。○若說。論機ナ。○爾時。上田攻。○

左門。一西ノ通。○以小失大。小ハ上田ノ敵。大ハ上國ノ敵。○徹者。身分ノイヤシキ者。時ニ一。○大津留守。是時大津ノ留守トシ。明年。膳所城ヲ築カシメ。○從中納言而至。前年膳所因リ。武藏ノ府中ニ

以テ。秀忠ニ從ヒ至リシナリ。○經理。カリ。オサメルチ云フ。○兩道。海道ト山。○如雲。多キチ。○越前。北莊。○捷聞。關原勝チイ。○質。其子右。○令弟。利政ヲ指ス。曾テ家

言フ。○人。○嘯嘯。トバノ出ヌ貌。○尊公。利家チ。○使罷侯命。退出シテ。退ツテノ妙。○行所司代事。當分其事ヲ取リアツカハシムルナリ。○捕僧惠瓊。鳥井強右衛門之レヲ捕

孫ナリ。○臨大坂。松平忠明、福島正則、池田輝政、淺野幸長、黒田長政、藤堂高虎、有馬豊氏、及

○屏息。イキチオサメテ。○六條河原。三條。俱ニ京師。○應敵者十八人。永原十内、山口宗助以下十

八。○粟田口。京師。○郡山。長盛ノ治所。○六國。備中、備後、安藝、伯耆、出雲、石見。○三國。備前、美

氏臣某。進藤政次。亦ト豐。○何所負。何事ノ其心ニ負ク。○勞兵。九州ノハチチ征伐スル

士ヲ苦勞サセ。○伊集院族亦爲亂。前年。伊集院忠棟。罪アリ。島津忠恒之レヲ伏見ノ邸ニ誅

今年再ヒ亂ヲ作セシ。○豐後故主。義統朝鮮ノ役。行長ヲ平壤ニ援ハサルヲ以テ。其封

復。其舊國。モトノ領地ノ豐後チ。ト。○杵築。豐後。細川忠興ノ居城ナリ。其臣松

前。○熊谷垣見氏邑。熊谷直陳ノ安喜城。垣見家純ノ。垣見家純ノ書史江夏新

レリ。○其城。富來城ナリ。本書ニテハ。一。○城皆降。直陳ノ叔父熊谷外記。安喜城ヲ留守

舊アリ。孝尚命シテ書チ外記ニ貽リ。論シ降ス。家純ノ兄垣見利右衛門。富來城ヲ留守ス。上國ノ敗チ聞キ。出テ降レリ。○中川氏。修理大夫秀成。○大田

氏。飛彈守一吉。豐後臼杵城主ナリ。此ノ他尙チ毛利高正ノ。○香春。毛利勝信ノ族九右

倉。毛利勝信。○宇土。八代。俱ニ肥後。小西行長ノ有ナリ。宇土ハ居城ニシテ。行長ノ弟小西

處守。○大村氏。丹後守。○水股。肥。○増時。宗茂ノ家。○毛利秀包。筑前久留米ヲ領ス。○筑紫

獨學。日本外史。卷之二十一。一九

廣門 筑前山下 ○伊東氏 其先工藤祐經ニ出ヅ。祐經十一世孫祐亮。寛文三年。下文ヲ賜ヒ曰

累世交戰絶ヘズ。數世祐丘ニ至リ。島津義弘ノ追フ所ト爲リ。京師ニ奔ル。豊臣氏西征ニ及ビ。五

萬石ヲ賜ヒ。飢肥城ニ居ル。關原ノ事起リ。祐丘大阪ニ在リ。東軍ニ應ジ。病ニ會シ。子

佐土原 衛門。佐土原ノ守將島津豊久。○遣將 穴戶善左衛門、曾根兵庫、○眞崎 松前

ノ可シ。記者 ○隨方 敵ノ我レチ欺カントセシ方略ニ、○大破之 破リシナリ。○有庶

兄ニ云 庶兄ハ妾腹ノ兄ナリ。名ハ親忠 津野勝興ノ養子ト爲ル。元親已ニ盛親ヲ以テ嗣ト爲ス。

爲ス。恐クハ封國ノ半ヲ分タント。盛親之レチ然リトシ。且ツ其兄ヲ以テ繼ガズ。心中服セザルヲ

疑ヒ。諸ノ若邑寺院ニ寛ク。是ニ於テ殺スルニ臨ミ。人ヲ遣ハシ。逼ツテ自殺セシムト云フ。

○内大臣怒 藤堂高虎モ。亦タ之 ○奪其封 盛親髮ヲ削リ。祐夢ト號シ。京 ○福知山

丹 ○父仇 父ハ藤孝ナリ。之レチ田邊城ニ圍ミシ遣恨チ指スナリ。サレド父ノ仇ト云ヒテハ。父

チ覺フ。○爲我叛臣 往年岡崎ヲ留守シ。叛ヒテ ○當斬 律ニ問ヘバ。其罪ガ斬首ニ處分

チ斬リシユトニナラズ。サレバ下句ト ○詞學 和歌ノ ○古今集 世ニ古今傳ト稱ス。蓋シ

連接セズ。宜ク命斬之ニ作ルベシ。 ○西三條氏 藤原實枝ナリ。サテ幽齋傳フル

ヲ和歌ヲ崇ヒ。祖宗ノ遺ヲ詞學ニ託シ。授受訣ト ○西三條氏 藤原實枝ナリ。サテ幽齋傳フル

爲シ。古今ノ傳授ヲ以テ。最モ重シト爲スト云フ。 ○西三條氏 藤原實枝ナリ。サテ幽齋傳フル

以テ其子内大臣實枝ニ傳ヘ。宗祇以テ内大臣藤原實隆ニ傳ヘ。實隆以テ其子右大臣公條ニ傳ヘ。公條

條向ヲ幼ナルヲ以テ。暫ク之レチ幽齋ニ傳ヘ。實條ノ長ズルヲ俟チ。之レチ其家ニ復ヘサント欲

シ。迎ヘテ田邊城ニ入リ。鞠養シ。歌學ヲ講ズ。實條稍ヤ長ク。京師ニ歸ル。幽齋將ニ古今ノ遺奧ヲ

傳ントシ。適ク筑紫ノ行營ニ從フ。故ニ古今傳授相チ。孫女婿右少辨藤原光廣ニ託シ曰ク。我レ若

シ是役ニ死スル。此箱ヲ以テ實條ニ傳ヘヨト。後チ相繼テ天下顯慶。是ヲ以テ未ダ傳フルチ果カ

ト云フ。 ○不丸於銃 織炮ニマヤチユマズシテ撃ツ。谷衛友ノミナラズ。 ○恐其學絶

傳 藤孝意ヲ必死ニ決シ。密ニ使チ京師ニ遣ハシ。家世々傳フル所ノ二十一代集。及ヒ源氏物語

ヲ禁送ニ獻シ。副スルニ和歌一首ヲ以テス。是ニ於テ後陽成天皇。藤孝死スレバ。歌道廢絶ス

ルチ愛ヒラ ○遣廷臣云云 天皇前田立以。右大辨藤原光廣ニ詔シ。勅ヲ奉シ大阪ニ赴キ。豐臣

勅シテ城ヲ開カシム。藤孝己ムチ得ズ。勅ヲ奉シ。城ヲ出デ龜山城ニ入ル。 ○自愧 城守ノ功ヲ

ハザルチ。ハツカ ○使人論 山岡道阿彌。及ヒ井伊直 ○孤城 外ニ應援ノ無キ。ヒ ○數

萬敵衆 毛利元康。秀包。立花宗 ○不及於事 關原ノ大戰ニ加ハル。間ニ ○坐視 玄以是

ノ所司代アリ。而シテ其難チキ ○徙封丹波八上 玄以ノ八上城ニ居リ。五萬石ヲ食ミシハ。

押セズ。且ツ織田秀信ヲ戒メテ。徳川氏ニ從ハシメントセシノ情實ヲ以テ。其罪ヲ問ハ
ザリシナリ。本書ハ恐クハ事實ヲ隠ルナラン。國史實録。豊臣家譜等ノ諸書徵ス可シ。○觀望
イヅレカ勝ツト。○失邑 一矩ノ邑。越前北莊ナリシ。○畔乘 志摩。吉隆是時志摩
ヒヨリナミル。○致之 戰ノ間ニ合ハヌ。○殉父 父ノ死ニ從ヒ共ニ死スルヲ云フ。○山形軍

伊○得允 得允。○親信 親信。信用セル臣。○根本之地 徳川氏ノオシロ
最上氏ヲ擊ツノ軍。上杉氏ノ記。○越前云云 是レハ下文ニ詳載セリ。且ツ伊勢ニハ外藩多ク。面シテ美濃上野駿河等ニ。宗
以越前云云 族舊臣ヲ封セシ者多シ。カレバ是レハ重復ト云ヒ。誤謬ト云ヒ。削去ニ如カス。○

外藩ノ大名。○清正 舊肥後ノ熊本。三十萬石ナリシガ。小西氏。○秀秋 舊三十萬石。○正則
萬石。○長政 舊封豊前中津。○輝政 舊二十萬石。○忠興 舊十二萬石。及ヒ前歲益ス所。○左
萬石。○吉政 舊封參河岡。○高知 舊封信濃飯田八萬石。高知ハ高次ノ弟ナリ
九萬石ニ轉封シ。高知ハ丹後十二萬石。○忠一 舊封駿府十萬石。及ヒ前歲益ス所ノ

越前府中。○一豊 舊封遠江掛。○至鎮 舊十八萬石。○一正 舊六萬石。○嘉明 舊松前十萬石
五萬石。○高虎 舊今治八萬石ナリシガ。大木曾諸士 山村千村。○秀康 舊封結城十
ニ轉封シ。○高虎 洲ヲ増シ。尙ホ今治ニ治ス。○木曾諸士 山村千村。○秀康 舊封結城十

○忠吉 舊封武藏。○直政 舊封上野樂。○忠勝 舊封上總結。○併舊封云云 是時舊邑
北五萬石ヲ以テ。忠勝ノ次子忠朝ニ予ヘ。忠勝ハ新封。○信昌 舊封上野宮崎二萬石。○康通 舊
十二萬石ナリ。本書ハ之レヲ合算ス。疎謬ヲ免カレズ。○信昌 石。新封六萬石。○康通 舊

上野鳴渡三萬石。○告成事 事ノ落着セシム。○皇庶子良仁 中山大納言藤原親綱ノ女。與
石。新封五萬石。○告成事 トチ言上スル。○皇庶子良仁 侍藤原親子ノ生ム所ニシテ。○
後陽成帝第一 皇子ナリ。○非天子意也 帝ハ政仁親王ヲ鍾愛セラレ。良仁。○皇嫡子政仁 近衛關白

女御藤原前子ノ生ム所ニシテ。帝ノ第三子ナリ。○皇嫡子ト云フハイ
カトニヤ。女御ハ典侍ヨリ貴キ故ヘ。女御ノ生ム所チ。次三男ニテモ嫡子ト稱スル例ナルヤ。怪ム
可。○嫡庶之分 成續ニハ。第一第二皇子。皆瓊枝玉葉。簡在帝心トアリテ。嫡庶トハ言ハズ。

ズルヲ立ツル筈ナリ。然ルチ徳川氏ガ。天子ノ意ニ媚ヒテ。豊臣氏ノ所爲ヲ妨害セント欲スルモ
リ。其私意ヲ成シタル故ヘ。逸史ナドニ筆ヲ曲ゲテ。嫡庶ナド、書キ。其失ヲ修飾セシニ似タリ。
○帝心裁之 天子ノ御思召次第ト云フ義。○徙焉 家康伏見ニ徙リ。○天野康景

○勞費 其儀式ヲ執行シ。且ツ拜賀等ニ付。○品川 江戸ノ西ノ。○觀望兩端
ケル意。○勞費 費用ヲカクテ迷感サスルヲ云フ。○品川 江戸ノ西ノ。○觀望兩端
敗チナガノ居ル。○失勢 己レノ身方ナル。西軍ガ敗レタルチ。○藉大捷之威 徳

氏關原大捷ノ威勢ヲカ。○密命 前日中澤主稅ヲ以テ。申シ聞ケタル。兵チ。○和賀忠親 和
リテ。自カライハル意。○密命 叔メテ其驥ヲ退守セシムルノ命令ヲ指ス。○和賀忠親 賀

氏關原大捷ノ威勢ヲカ。○密命 前日中澤主稅ヲ以テ。申シ聞ケタル。兵チ。○和賀忠親 和
リテ。自カライハル意。○密命 叔メテ其驥ヲ退守セシムルノ命令ヲ指ス。○和賀忠親 賀

ハ南部利直ノ封域中ノ地名ニシテ。即チ多田忠親ノ領
スル所ナリシ。本書ハ和賀ヲ以テ姓ト爲ス。謬レリ。○前約

會津百萬石ニ封セ。○南部 信濃守 利直。○戸澤 政盛。○本堂 源七。○村上 頼。○溝口 氏

宣 ○會津之老 老ハ國。○蕩滌 ヲカレテ除キ。○介介 ヲセクト。意ニ。○任子

ヒトシナ。○銳意 ニスル義。○藤原 肅 堀富先生己ニ上。○欲聘之 シテ聘セシメシ

モ。固辭シテ。○應淺野氏之招 幸長ノ聘ニ應ツ。紀。○林信勝 名ハ忠。一名ハ信勝。字ハ

ト稱ス。京師ノ人ナリ。幼ニシテ岐嶽被禱。神童ノ稱アリ。年十八。始テ朱子章句集注ヲ讀ミ。遂ニ

意ヲ宋儒ノ說ニ留ム。唯チ下シ。徒ヲ聚メ。論語集注ヲ講ス。後チ藤原實賴學ノ名アルヲ聞キ。就

キ學ビ。遂ニ其高弟ト爲ル。蕭書ヲ寄セ。古人春秋ヲ羅浮ニ讀ム。羅浮トハ羅浮ニ在ラズシテ。足

下明窓淨几ノ上ニ在リ云々ト曰フヲ以テ。羅山ト號ス。洋山、羅洞、羅浮子、四維山長、胡蝶洞、梅

花村、瓢菴、夕顔菴、雲母溪等。皆其別號ナリ。家康京師ニ入リ。二條城ニ在リ。其名ヲ聞キ。永井直

勝ヲ遣ハシ。之レヲ召ス。後チ駿府ニ到リ。尋キ江戸ニ徙ル。脫髮シテ道春ト稱ス。法印ニ叙シ。民

部卿ト稱ス。忍岡ノ地百數十歩ヲ賜ヒ。別莊ト爲ス。明曆三年卒ス。年七十五。私ニ鑑シ文敏

先生ト曰フ。撰述編輯スル所凡ソ一百二十種。又チ羅山文集一百五十卷。世ニ行ハルト云フ。

○博士 儒官ノ稱。博古今ニ通。○顧問 傍ヲニ置キ。疑義ナドヲ。○供御 俗ニシテ。御

勝手向キノ御。○豐國廟 京師ノ東南隅阿彌陀峰。豐臣太閤ノ墓所ナリ。○寺祠 延曆寺、住

費用ヲ云フ。○采田 社領寺領ノ

○親鸞 皇太后大進藤原有範ノ子。從三位藤原純綱ノ養子ト爲ル。初メ青蓮院ニ入り僧ト爲リ。

ニ入り。淨土專念ノ宗ニ歸依シ。名ヲ結空ト改メ。尋キ善心、又チ善信ト改ム。承元元年。越後ニ配

シ。五年ニシテ赦ニ遇ヒ。名ヲ親鸞ト改ム。嘉祿二年。下野高田山ヲ窺建ス。後堀河帝繪旨及ヒ扁

額ヲ賜ヒ。專修阿彌陀寺ト號シ。優婆塞ヲ以テ。一向專修念佛ヲ修ス。貞永元。○一向法 即チ今

年。專修寺ヲ徒弟眞佛ニ附シ。京師ニ入ル。弘長二年寂ス。年九十歳ナリシ。○一 向法 即チ今

ナリ。○兼壽 逆如ト稱ス。存。○始建寺于山科 初メ親鸞ノ女覺信尼。文永九年。本願寺ヲ

兼壽ニ至ル。文明三年。山徒ノ破却スル所ト爲リ。兼壽出テ。○尋徒 大坂 泉堺浦小坊ニ徙リ。和

畿内北陸ヲ遍歴シ。七年。復チ山城山科ニ歸ルト云フ。○曾孫 光佐 顯如ト

本願寺ヲ造立セリ。ソレヨリ諸國ニ蔓延シ。光教ノ世ニ至リ。始テ大阪。○曾孫 光佐 顯如ト

ノ石山本願寺ヲ創建セシナリ。本書ハ兼壽ノ大阪ニ徙ルト爲スハ。謬レリ。○曾孫 光佐 顯如ト

テ兼壽、光兼、光融、光教、光佐。五世相繼シリ。○所在門徒 越前、越中、加賀、三河。○通

薩摩之道 逸史ニ據ルニ。千代川ノ四面。山路險隘ナリ。鹿兒島ノ一向僧。地理ヲ暗ズル者ア

甚ダ便ナリ。○建寺于京師六條 巨利ヲ京師ノ淳風坊ニ創建シ。以テ本。○光壽 教如ト

ト。是レナリ。○光昭 准如ト號ス。小。○秀吉納之 秀吉有馬ノ温泉ニ浴ス。光昭ノ母細川氏。光昭ヲ携ヘ

テ獻ズ。○東伐 上杉景勝ヲ伐。○立光昭 光壽既ニ立ナシテ。退隱サ。○間行而達山

ニ至リ。家康ニ
謁スト云フ。○建寺于六條東一願寺ナリ。○詳雅ニキキ。○強敏ニキキ。○無不厭心。心ニ於テ満足セ。○尼崎津。○稱職ニ適當スル。○膳所江。○牧

長。大名チ。○綜庶務。オホクノ事務チ。ス。○天下之率。率ハ率先ナリ。表的ナリ。天下

意。○板橋。武藏。江戸。ヨリ山道。○望外。期望ノ外ト云フ義。即。○名刀馬鷹金百枚。黃

ノ枚トハ。大飯金ナリト云フ。サテ成續等ノ諸書ニハ。利長黃金二百枚。白金一千枚。時服一百領。

正宗短刀チ獻シ。秀忠黃金一百枚。良馬。蒼鷹。及ヒ。藤四郎ノ短刀チ賜フトアリ。本誓獻贈相反ス

ルハ。○前殿。俗ニ大書。○臚列。ヲナル義。○擯者。主人方ノ接。○銀千枚。白金ノ

丁銀ナリ。○領。衣服ノ領ト云フ。○印信。印判ヲ押シタル證書ナリ。大隅。薩摩。及ヒ

復起。伊集院久直又。○皇太后。後陽成帝ノ所生藤原。○留在京師。日記等ニテハ。二

日皇太后ニ謁シ。申樂ヲ觀。三日相國。○南都。奈良ノ東。○黃熟香。聖武帝遺ス所ノ蘭香待

寺ニ遊ヒ。四日伏見城ニ還ルトアリ。○天。勤修寺右大辨藤原光豐。廣橋右中。○正純

掌。其事。大久保長安。之。○傳通院。戸。○稽緩。オノレル義。○告其死者。進藤

○渠率。ヲ。○窮來投臣。ユマリキツテ。逃ケ來ツテ。○幕下。是時家康未ダ將軍ニ任

ナ。○包容。オホ目ニ見テ。○八丈島。伊豆ノ海。○直政卒。年四。○彦根。近。○其

弟宣隆。宣隆ハ貞隆ノ子ナリ。義宣ノ第五人アリ。貞隆ハ第。○岩城。陸奥。今。○秋田氏。孝

○水戸。陸。○稻葉。佐渡守。○平岡氏。石見守。○有罪於關原之役。秀定ニ從ヒ。山

ニ後レナル。○臣邑。上野。館林。○密通。セマリナ。○元忠死義。元忠伏見城チ守リ。忠義ノ

○源家康。内大臣ト書セザルハ。天子ニ對シテ特筆シ。君臣ノ名分チ明ラカニ。○淳和云云

已ニ足利記。○隨身兵仗。内舍人近衛等ノ。兵器チ帶ヒテ。之レニ隨ヒ。其。○傳奏司。武家

チ傳フル官。俗ニ。○戚屬。徳川家親類。○叙任有差。池田輝政少將ト爲リ。板倉勝重從

○十餘騎。井伊直勝。里見義高。松平飛騨守忠政。松平忠良。松平家清。松平出羽守忠政。

自族チ指ス。白金一千兩チ政仁親王ニ。二千兩チ新上東門院ニ。一千兩。○略定。昭七年ノ注ノ。四

チ女御藤原前子ニ獻シ。其餘宮女二十餘人ニ白金チ贈ル各々差アリ。○略定。昭七年ノ注ノ。四

海チ略有ス。○勸。勸ハ刻ナリ。功チ石ニ刻スルチ謂フ。ソレチ轉用シテ其功チ聞シ召

今河越本 ○乃祖之職 汝ガ先祖ノ管テ勤メシ職。源賴朝等皆十同宗ナルヲ以テ。斯ノ言ハ
ニ從フ。 ○稽首 首ヲ地ニツケ。暫時ノ ○服膺 ニアテルヲ云フ。中庸ノ字ナリ。 ○庶僚 役人共。
○就細川藤孝 藤孝ハ足利氏ノ時ニ及ビシ老人ニシテ。朝ニ立チ。學ヲ好ミ。歌學 ○室町
禮式 足利家ノ用ヒシ。將 ○議禮 徳川家ノ儀式。 ○義直 後尾張ニ封セ。 ○加其封

十二萬石ナリシヲ。十八 ○西道牧長 西國ノ 諸大名。 ○孫女 秀忠ノ女。 ○弗憚 兵ヲ以テ警衛
萬石ニ加増セシナリ。 ○奢華 ヤカナル錢。 ○以白綾ニ云 城外ノ橋ヨリ。城中ニ至ルマデ
相疑フノ心アリト爲 ○此等事 キユトガラ。 ○趣 促ナリ。速ナリ。ハ

我ガ本妻ノア ○不婦視之 ヨメノアシラヒニセヌ。是時徳川氏年甫七歳。安ヅ妻トシ婦
シラヒニセヌ。 ○遺腹子 父ノ死後ニ生ル。子チ。遺腹ノ子ト云フ。サレド直孝ハ妾腹ノ
安ヅ秀頼母子チ。 ○遺腹子 子ニシテ。遺腹ニ非ズ。八年二月。直孝江戸ニ召サル。年十四十

リシ。直政ハ七年ノ二月ニ卒シタレバ。若シ遺腹ノ子トスレバ。是時生レテ僅カニ八
九月月ノ乳兒ナリ。安ヅ召見ノ榮ヲ受クルヲ得ン。本書宜ク改メテ庶子ニ作ルベシ。 ○三道
東山、東海、北 ○道程 里數。 ○埃樹 ニウニル所ノ樹木。 ○西南四道 山陰、山陽、南

陸ノ三道。 ○謝絶 コトハリテ。 ○漢張良 高祖ヲ佐ケ天下ヲ
定メ。留侯ニ封セラレ。後チ赤松
子ニ隨ヒ遊ブト云ヒ。退隱セリ。 ○悼惜 オシム。 ○紅毛 阿蘭陀。 ○安南 亞細亞南邊ノ

國ナリ。 ○約束 トリシシ。 ○蝦夷 今ノ北海。 ○諷 ソレト言ハズ。 ○來成 メニ。來ッテ朝鮮
チマモル ○喜懼相半 明人來成ノ迷惑ヲ免カルヲ喜ビ。或ハ他日又チ
チ云フ。 ○大德寺 京師ノ 禪寺。 ○將老矣 遠カラズ隱居セン。 ○致之江戸 之江

戸ノ方ヘ送り ○鎌倉禮 源賴朝ノ行 ○石大將 秀忠チ ○儀衛 行列ノ儀式。 ○邑千
越セトノ意。 ○上杉 景勝 ○佐竹 義宣 ○伊達 宗政 ○最上氏 義光ノ氏ノ字ノ下ニ。等ノ字チ加フ可

リシ。 ○特命鳥居忠政 父元忠ノ忠死チ遺賞スル爲メニ。 ○仗戟載
從行セシノミナラス。 ○辭職 征夷大將軍ノ職。 ○優詔 御手厚キミ。 ○而還
途 兵仗器具ノ。道路ニ一。 ○源秀忠 亦チ特筆シテ。君臣ノ名

其邸ニ還ルチ云フナラン。カレド還 ○舊職 右近衛大
ナ退ニ作ル方穩當ナルニ似タリ。 ○大御所 天子ノ禁裏ヲ指シ御所ト云フ。ソレヲ鎌倉ノ比ヨリ。借シテ之ヲ將軍家ニ

御監チ ○大御所 稱スルコト。ナリシナリ。將軍ノ父親ナルヲ以テ。更ラニ大ノ字チ加ヘシナ

指ス。

獨學日本外身請書 卷之二十一 二四

リ。サテ先賢ノ説ニハ。徳川氏ニ至リ。王室ヲ尊ビナド。善ク言ヒ立テタレドモ。道等ノ僭稱ヲ甘受スルヲ見レバ。別ニ足利氏ナドニ異ナル所ヲ知ラザルナリ。○猜忌

○固執 無理ニ意。○重修 伏見城 五年ニ修セシメトアル。○長男 河内

守定 ○次男 越中守 金工 金物細 光次 後藤氏 方金 一歩金 白金 銀子

○鑄造 通用貨幣ヲイマテ 得數萬斤 石見ニ二萬五千斤。佐渡ニ六萬 亦等 佐渡ノ

○金幣 通用ノ金 新錢 慶長通寶ノ錢ナリ。足利氏山東ヲ管スルヨリ以來。多ク

○建白 事ノ次第ヲ申シ 狹隘 區域ノ手セ 朝儀 將軍大名等ノ入 修拓

○刻名于礎 役ニ與カリシ大名ノ姓名ヲ。イシヅエニホリツ 偏諱 是レ

○諸藩 黒田、池田、毛利 宏壯 ノ險固ナルヲ云フ。○賴房 後水戸ニ封

長濱 近 城于駿府 瀧川正弘、佐久間政實、山城 昏倒 目ガクラミテ。○訛言 將

○四部散樂 寶生、觀世、今春、金剛ノ 縱觀 人民ニ。勝手ニ

○以疾 癩腫ヲ患ヒ 謁歸 越前北莊ニ 次子直基 秀康六子アリ。忠

忠吉 清州ノ 城主。○以疾 癩腫ヲ患ヒ 謁歸 越前北莊ニ 次子直基 秀康六子アリ。忠

○結城氏 即チ秀康ノ養家ナリ。越前家ハ。本姓 嚮 ムカヒ、シ

○呂祐吉等 正使通政大夫呂祐吉。副使通訓大夫 兩府 江戸、駿 禪代 リチ云フ。○

比十萬石 十萬石以下ノ大名ナレドモ。十萬 書信 ナリ。○天主閣 ナリ。已ニ織田記

○西城府藏 西丸ノカヲシラニ。入レテアル有リ金ナリ。○貶 賜ナリ。○茶會 湯

○接伴 シヤウバ 淫虐 淫亂暴 利宗 玄以ノ子ナリ。成 喪心 即チキナ

○取封 定次ノ封ハ。伊 八上 篠山 丹波。○之國 尾張六十一 大洲 伊豫。

○比勳舊之臣 譜代ノ家來ナ 廷臣有結伴奸淫者 公家ノ人々ガ。徒黨ヲ爲シテ

○按治 罪狀ヲギン 首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○流竄其餘 宮女廣橋局、唐橋局以下五人。皆十髮ヲ削リ。伊豆

○按治 罪狀ヲギン 首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

○首罪一人 猪熊ハ淫亂ノ最ナリ。兼信ハ宮門

宗信、頼國ヲ破黃島ニ置シ。實久、光
廣、籍ヲ削リ屏居シ。宗勝流ニ處スト云フ。○會同 江戸ニ參勤
スルヲ云フ。○期年 滿一ケ
年ナリ。○永制

子孫イッマ ○戰艦 大艦ヲ點檢シ、悉ク淡路島ニ送り、之ヲ籍沒シ、駿府江府ニ回漕スト云
フ。蓋シ西海諸侯ノ、各々武備ヲ以テ相誇
リ。戰艦ヲ造リ、城郭ヲ修スルヲ以テナリ。○琉球 或ハ琉求、留球、留仇、流虬、龍虬等ニ作ル。
後ナ轉シ琉球ニ作り、又々普通ヨリシテ種々ニ作りシナリ。薩摩ノ直南海上三百五十里ニ在リ。
今沖繩縣ヲ置カレタリ。サテ推古天皇ノ二十四年ヨリ後ナ。世々朝聘シ、或ハ繼キ、或ハ絶ヘタリ
シガ、天正十七年、書ヲ奉シテ豐臣氏ニ服事シ、後ナ旨 ○新納一氏 成績野史等、皆ナ云フ。樺
ヲ失シテ來貢セス。故ニ徳川氏之ヲ招キタルナリ。○東求島 琉球ノ島名、或
ハ無シ。本書ハ逸史ニ同シ。イカバニヤ。○難巴津 沖繩本島ノ
平田益宗之レニ副タリト。而シテ新納一氏

○鐵鑊 鐵ノクサリ。鑊
作ル。○扼守 マモル。
○蛇蝎 クムシ。
○恃 險阻ニシテ、海
ノチダノミニシテ。逆モ敵ノ上陸ス
ル氣使ヒハ無キト。思ヒ居ルナリ。○赭山 樹木モ何ニモ無キ。ハダカヤマニスル。赭ハ
赤土ノアラハレテ、アカキ色トナルヲ云フ。

○陽暖灘 千里山、朝築城 俱ニ沖繩
ニ在リ。○抄掠 人民ノ財物ヲヤチ。
○臣隸 家來分ト爲
ス。

○賈舶 トフチ。○阿媽港 或ハ阿馬港、亞媽港ニ作ル。支那廣
東府香山縣、南海尖出ノ地ナリ。○皆見誘殺ニ云 創業記、
事等ニ云フ。去歲、肥前ノ商船三百餘人、阿媽港ニ往ク。船長加里丹真加盧相繼曰ク、(雙語ニ。
商船長ヲ加里丹ト曰ヒ。商人長ヲ真加盧ト曰フト云フ。)日本商船、毎年此ニ來レバ、則チ我輩長

○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

騎ヲ往クト雖、以テ利ヲ得難シ。之レヲ殺スニ如カスト。乃チ利ヲ略ハシ之レヲ誇シ、悉ク之レ
ヲ燬キ殺ス。中ニ有馬勝信ノ家奴三人、還リ歸リ。狀ヲ請信ニ告グ。加里丹之レヲ知ラザリシト
云フ。○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

騎ヲ往クト雖、以テ利ヲ得難シ。之レヲ殺スニ如カスト。乃チ利ヲ略ハシ之レヲ誇シ、悉ク之レ
ヲ燬キ殺ス。中ニ有馬勝信ノ家奴三人、還リ歸リ。狀ヲ請信ニ告グ。加里丹之レヲ知ラザリシト
云フ。○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

騎ヲ往クト雖、以テ利ヲ得難シ。之レヲ殺スニ如カスト。乃チ利ヲ略ハシ之レヲ誇シ、悉ク之レ
ヲ燬キ殺ス。中ニ有馬勝信ノ家奴三人、還リ歸リ。狀ヲ請信ニ告グ。加里丹之レヲ知ラザリシト
云フ。○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

騎ヲ往クト雖、以テ利ヲ得難シ。之レヲ殺スニ如カスト。乃チ利ヲ略ハシ之レヲ誇シ、悉ク之レ
ヲ燬キ殺ス。中ニ有馬勝信ノ家奴三人、還リ歸リ。狀ヲ請信ニ告グ。加里丹之レヲ知ラザリシト
云フ。○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

騎ヲ往クト雖、以テ利ヲ得難シ。之レヲ殺スニ如カスト。乃チ利ヲ略ハシ之レヲ誇シ、悉ク之レ
ヲ燬キ殺ス。中ニ有馬勝信ノ家奴三人、還リ歸リ。狀ヲ請信ニ告グ。加里丹之レヲ知ラザリシト
云フ。○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

騎ヲ往クト雖、以テ利ヲ得難シ。之レヲ殺スニ如カスト。乃チ利ヲ略ハシ之レヲ誇シ、悉ク之レ
ヲ燬キ殺ス。中ニ有馬勝信ノ家奴三人、還リ歸リ。狀ヲ請信ニ告グ。加里丹之レヲ知ラザリシト
云フ。○至長崎 商賣ノ爲メ
○原肥 貴族ヲ指シ言フ。東魯
○印信 商賣許
可ノ印

○互市 交易買賣
○嗣子傳 家忠ノモ
○正次子正秋 成績ニ、忠吉ノ子忠秋

庶兄 成績ニハ、異
○山形 田羽。今ノ羽前成
○岩城 陸奥。今ノ磐城。忠俊ガ、其家臣ノ詔
ル能ハザルト爲シ。封
○封直寄云云 直寄ハ罪無キヲ以テ。罰セヨレズ。采邑五
○舊封 中
島ナ

○福島 陸奥。今
○高田 越
○大臈子遠江 是月十五日。大久保山ニ符シ。十七
二十三日。若見山、秣山ニ。二十三日。多坪
ニ符ス。數日ニ涉リシ故ニ大ノ字ヲ加フ。○太公 戦、家康ヲ指ス。○郎君 太公ニ對シ言
ト云フ義。秀
○名護屋 尾
○篠山 波 丹
○土木荐興 城營請ナドノ事柄ガ。○因敵 用
努力ノカ、リテ。シルシニマルト云フ義。是レ正則ノ以テ智慮寡ク。其身ヲ保ツ能ハザル所ナ
リ。サレト置臣氏恩顧ノ臣ニシテ。徳川氏ニ媚事シ。堂々タル外藩ヲ以テ、其譜代ノ臣ニ比シ。甘
ンシ得色アル徒ニ比スレバ。其忠姦
ノ相距ル。實ニ天淵ヲナラザルナリ。○兩府 駿府、○私役 其ノ庶子ノ爲メニ城ヲ築ク如
○愛婿 氣ニ入りノムコト云フ義。輝政ノ妻
○左衛門、正則左衛門
○俟我施 我ガハ

向クテ。征伐スルヲマテト云フ。○方物 地方ノ產物ナリ。尙書、緞子一百匹、羅紗一百二十尋、色...

○忠勝卒 年六。○皇太子 仁。○使人 織田長益ニ謂。○生物議 豐...

○驕逸 マナル義。○不可再違命 來リ面スル...

○彈正少弼卒 年六。○清正...

○角倉某 吉田了以ノコトナリ。羅山文集ニ曰ク。吉田光好、嵯峨ノ角倉ニ居ル。四...

○通丹波之漕 保津川...

○通甲斐駿河之漕 富士川ノ舟路ヲ開キ、駿河ノ岩淵ヨリ。○引...

○二十餘國 安南、占城、暹羅、呂宋、東瀟、...

○故事 足利時代。○勘合印 通商免許ノ...

○蠻人 エビスヒトナリ。○觀觀非望 宗教ヲ廢布スルニ託シ...

○蠻教 即チ邪教ナリ。又 天主教ト稱ス。○觀觀非望...

○長崎 肥 禁他依泊 他所ノ地ニマエリテ、舟ヲ...

○其子 直 義女孫 本多忠政ノ女、初メ越...

○假父 カリノナ 不敢立後 親吉ガ自...

○春日祠 奈良ニ在リ。天兒屋 凶兆 不吉...

○欲以修祠耳 祠廟ガ年ヲ經テ、フルクナリシ故ヘニ。修復セント欲ス...

○修造之節 凡ソ何年目ニ修繕シ。又ハ改造...

○一人坐不直處流 掃部助チ仙...

○一人愧耻自殺 弓木左衛門、上田隼人、竹島周防等、自殺セリ。一人...

○我外孫 家康ノ女ノ生ム所。今ハ秀忠ノ世ナレバ...

○池田氏 名ハ教依、初メ十郎ト稱シ。後...

○分領云云 忠雄備前ヲ領シ。○懸...

○義直ノ子 幸長。○仲 二男チ云フ。伯仲叔...

○在大坂 幼ニシテ任子ト...

○叔三男 ○奸利事覺云云 初長安財利ニ長スルヲ以テ、微賤ニシテ登庸セラル。金銀

其貢税ヲ收メ、權勢熾灼。奢欲ヲ窮極シ、賊ヲ犯ス杖擧ス可カラズ。死後暴露ハル。其子藤十郎外

記等七人ヲ捕ヘ、之ヲ誅シ。其家ヲ籍沒シ。屬吏ヲ考究シ。法ヲ犯ス者皆ヲ誅ニ伏ス。長安便倭

賤智多シ。外廉直ヲ飾リ。内貪婪ヲ懷ク。 ○連坐 長安ノ罪ニ。マキ ○深志 信濃。後ナ松本ト

奪ハレ。筑紫 ○復其舊封 八萬石トナシ。 ○知信 成統ニ知 治ニ作ル。 ○皆有罪 知信ノ妻ノ弟阪

チ殺セシ事ニ。 ○取封 知信ガ子和島ノ封十一萬石ヲ奪ヒ。陸奥岩城ニ流シ。鳥居元忠ニ之レ

關係セシナリ。 ○分執 或ハ財賦。或ハ兵馬。或ハ社寺ノ類。 ○中原 模 ○甲斐人 故ノ武田信吉四

之レチ幽 ○謀不軌 家康中原ニ符シ。將ニ小田原ニ館セントス。忠鄰城主ナルヲ以テ。供具シテ福子侯

○馬場督 何故ニ忠時嘗ト名ヲ書セザル。 ○蒙譴 罪アツテ。トガメ。 ○申雪 罪チ言ヒヒラ

○不見省 日チカケ。 ○謁歸 忠鄰悲哀ニ勝ヘズシテ。上ヘ願フテ歸國シタリ。時ニ本多正信

ト正信ニ謂ヒ曰ク。始メ悲悼スト雖モ。今能ク割愛スルハ。何ゾヤ。正信曰ク。子死シテ哀ムハ私

ナリ。私ヲ以テ公務ヲ廢ス可ケンヤト。衆善シト稱ス。而シテ賊者其忠鄰ヲ傾ケント欲スルニ

在ルチ ○與山口重政 忠鄰。石川康通ノ女ノ。其外孫女ナルヲ以テ。養フ。 ○不報 返

知レリ。 ○杜門 門ヲシメキリ。 ○時之也 今ガ善キ時節ト考フルチ云

上ケニナラヌナリ。 ○杜門 門ヲシメキリ。 ○時之也 今ガ善キ時節ト考フルチ云

本書記事 ○誣告 罪ノ無キ者チ。シヒテ有。 ○檢邪蘇教 京師四條ニ於テ。邪蘇宗門ノ二

師タル者二人。西國 ○正信傳云 此ノ一件ハ。全ク本多賊ノ結構ニ成リシナルニ。記者ハ其後

ニ逃匿スト云フ。 ○毀小田原外郭 安藤重信、本多忠朝等。 ○館人ノ主人。 ○徐斂局 心靜カニ

局ヲツマメチ ○驚擾 忠鄰ノ命ニ抗シテ奮戦スルナラント思ヒ。オ ○縛鎧仗 甲冑刀槍

付ケテノ意。 ○其族皆連坐 三子教隆、四子幸信、河越三滿セラル。嫡孫仙麻呂、年幼ナル以

シハナリ。引渡 ○屏居出アスト云フ。ガレバ本誓皆ノ字。多ノ字位ニ改ム可キニ似タリ。 ○忠佐卒云云 時ニ忠

子無シ。既ニ義嗣ヲ定メシニ。亦坐セテ封邑ヲ収メ。其沼 ○里見氏 忠義。此ノ他近臣青山

津ノ居城ヲ毀ツ。昏愆此ニ至ル。誰レカ家康ヲ賢明ト謂フヤ。 ○德川氏ノ倭幸ナリ。 ○不

部河内守、大久保忠辰等。忠鄰ト交通スルニ坐シ。皆十免シ庶人ト爲スト云フ。是レ石田 ○不

三成ノ秀次ノ獄ヲ成シタルト同シ。其豐臣氏ノ覆轍ヲ踏マザリシハ。德川氏ノ倭幸ナリ。 ○不

敢通 本多氏ヲ憚ラテ。敢テ ○天海 南光坊ト稱ス。器職超邁。偉度アリ。家康屢々咨フニ機務

○密教 宗教ノ名。佛ニ顯密ノ二教アリ。高僧傳ニ云フ。密教トハ。瑜伽。 ○申救 其冤枉チ

○勸忠鄰再訴 己ニ其冤ヲ知レバ。何ゾ自カヲ爲メニ之レヲ申救
ル。○忠季 即チ仙麻呂ナリ。

上文ニ解セシ如ク。當時既ニ特命セラレテ。荷西ノ田
二萬石ヲ賜ヒシ者ニテ。後日ニ至リ。賜ヒタルニ非ズ。○後竟復其舊
津八萬三千石ヲ賜ヒ。寛文十四年卒シ。子無シ。叔父教隆ノ子忠朝ヲ養ヒ嗣ト爲ス。忠朝、將軍家
光ニ事ヘ。老中ニ補セラレ。再ヒ徙リ小田原ノ城主ト爲リ。十萬三千石ヲ賜ヒ。曾祖ノ舊封ニ復シ
ヨリシ。本書ニテハ。忠季ガ舊ニ復セシ
如ク聞ヘテ。行文頗ル疎闊チ免カレズ。○未經刊行者 世ニ行ハレザル者。周易。家語。貞觀
政要ノ。○上三之木 板ニホ
類ナリ。○禮文 禮式文法
○購求遺書 世ニヌクマレザル書物チ。買
晴季 律二卷。合九篇ヲ贈リ。前大納言藤原輝資。侍中群要抄十卷。故實抄七卷ヲ贈ル。皆チ金澤文
庫ノ遺本ナリ。其餘猶チ多シ。晉書。玉海。朱子大全。朱子文集。朱子語類。大學衍義補。二程全書。文
章辨證。文章正宗。東萊策。南軒策。李白集等三十部チ。江戸ニ送リ。之レヲ書庫ニ藏シ。又チ僧崇
傳。林道春ニ命シ。五山ノ僧徒學術アル者ヲ選ビ。群書治要。貞觀政要。續日本紀。延喜式ノ。治道
ニ便ナル要語チ抄出シ。一書チ
成シ。之チ京師ニ獻スト云フ。○典故 ナドチ云フ。○於前 家康ノ座前ニ
一日講究シ。シ刻ニ及フ。○緇素 衣服ノ色ナリ。緇ハクロキ色ノ衣服チ着ル僧徒チ指
モ。僊ニ退屈セヌチ云フ。○緇素 ス。素ハシロキ色ノ衣服チ着ル士庶人チ指スナリ。○禮
重之 禮チ厚フシテ。テイチイ
○爲政以德 爲政以德。譬如北辰居其所。而衆星共之。
康ガ。僧録司金地院長老崇傳ニ命シ。五山ノ宿老十餘人チ
選抜シ。爲政以德チ以テ題ト爲シ。頌文チ作ラシメタリ。○頌 文章ノ一體ナリ。元來詩ニ六

頌トハ容ナリ。威徳ノ形容チ美メ 其成功チ以テ神明ニ告グル者ナリ。後世ノ作クル所ハ。嚴ク紳
ニ告グズ。或ハ止メ美善チ形容スルノミトナレリ。其詞或ハ散文チ用レドモ。多クハ韻語チ用ニ
ル例。○草尚之風 必偃 君子之德風。小人之德草。草上之風必偃。亦チ論語顔淵篇ニ出
ナリ。孔子ノ語ナリ。駿府ノ試後。秀忠其徒チ江戸ニ召シ。是ノ題チ
以テ。賦チ作
○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
ラシメタリ。○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
出テ。然ル後賦ノ正體チ得。本義ニ合ス。亦チ韻チ押スルチ例トス。

○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
ラシメタリ。○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
出テ。然ル後賦ノ正體チ得。本義ニ合ス。亦チ韻チ押スルチ例トス。

○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
ラシメタリ。○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
出テ。然ル後賦ノ正體チ得。本義ニ合ス。亦チ韻チ押スルチ例トス。

○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
ラシメタリ。○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
出テ。然ル後賦ノ正體チ得。本義ニ合ス。亦チ韻チ押スルチ例トス。

○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
ラシメタリ。○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
出テ。然ル後賦ノ正體チ得。本義ニ合ス。亦チ韻チ押スルチ例トス。

○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
ラシメタリ。○賦 亦チ文ノ一體ナリ。賦トハ富麗ノ詞ナリ。詩ニ六義アリ。其ニ賦トス。其事
出テ。然ル後賦ノ正體チ得。本義ニ合ス。亦チ韻チ押スルチ例トス。

獨在 日本外史講義卷之二十二

伊豫松山 近藤南州述

德川氏正記

德川氏五 是ノ篇ハ。大坂陣ヲ以テ主眼ト爲シ。德川氏ノ意々盛ニシテ。天下ヲ一統シ。三百年ノ太平ヲ開ク事ヲ記シ。是レヲ德川氏ノ第五篇。即終篇ト爲シ。

且ツ一部日本外史ノ大尾ト爲スナリ。

○慶長 是時ハ後水尾天皇ノ朝ナレドモ。即位後三年間ハ。○天使 廣橋權大納言藤原兼勝。三條權大納言藤原實係。

○就拜 江戸ノ府城ニ下向シテ。○准三宮 太皇太后、皇太后、皇后ノ三宮ニ准ズル。○孫女 大將軍秀忠ノ女。諱ハ和子。後ニ東福門院ト號ス。

○中宮 職員令義解ニ。中宮ハ皇后宮ヲ謂フトアルニ據レバ。元來中定子ノ外ニ。更ニ藤原彰子ヲ中宮ト並ニ立テラレシヨリ。合制ニ反シ。至

○已長 年二十二。母ノ御正室ニシテ。未ダ皇后トナラザル者ニ。此稱ヲ設ケラル。ニ似タリ。

○舊業 太閤ノ天下ヲ統御セシ事業ヲ云フ。○有ニ委容 容貌ノウツク。○季父 一番スエノオガナリ。即

先君 太閤ヲ指ス。○甲仗豐足 澤山ニアルト云フ義。○福島正則等 是レ他日正則ノ封ヲ奪

カレト道等秘密ノ信書ニ。人ノ姓名ヲ明記スル筈ナシ。是レ恐クハ徳川氏ノ。正則ヲ虐待セシ短
チ。修飾センガ爲メニ。正則ノ罪ヲ造成スル。後人ノ曲筆ナラン。逸史ニスヲ。之レヲ載セズ。只マ
成績ニ是レヨリ先キ福島正則、米八萬石ヲ運シ。大坂ニ在リ。大野治長書ヲ正則ニ遣リ之レヲ借
ル。正則之レヲ許ス。神祖其異志有ルヲ疑フトアリ。ソレヲ附會シテ。前田ニ送ル書中ニ挿入セシ
モノナリ。○子利光ノ弟ト爲セリ。蓋シ利家ニ六子アリ。利長、利政、利好、利光、利孝、利貞ナリ。
カレバ利光ハ利家ノ第四子ナリ。○不遺ノ遺忘遺棄。○託孤ノ親ノ無キ幼子ヲ。モリタツルヲ。
リ。利長ノ子ニ非ルニ似タリ。○不遺ノ遺忘遺棄。○託孤ノ親ノ無キ幼子ヲ。モリタツルヲ。

○不失其驩心。其キゲンヲソコナ。若シモ左様ニ致サズ。驩心。○意ノト。疑
ヒオモ。○猜防ノ用心スル意。○方廣寺ノ故。是篤ニハ略叙セシナリト知ル可シ。○先
志。太閤ノ寺ヲ。○畢功ノ普請ガ落。○巨鐘ノリカキツ。○慶ノ大佛落成ノ供養ヲ云フ。○蟹
教。即チ邪蘇。○吏二名。山口雅朝、間宮伊治ナリ。成績ニハ。○海西ノ阿媽港ナリ。○流
餘黨。七十餘人ヲ津。○犯人ノ罪ヲオカ。○按ノトリシヲ。○觸忌諱ノ序文ノ大小釋迦ノ
語。銘中ノ國家安康ノ語ガ。家康ノイミキヲ。○咒詛ノ人ヲノ。○上棟牌ノムナギノ處ヘ。掲
フ所トナリシヲ云フ。豐臣記ニ詳カナリ。○呪詛ノ人ヲノ。○上棟牌ノムナギノ處ヘ。掲
ナフマ。○不如式ノ駿府記ニ據ルニ。家康、諸寺ノ棟牌ヲ寫サシメ。之レヲ覽ル。皆チ粹人ノ
ト曰フ。○不如式ノ姓名アリ。而シテ大佛殿ノ棟牌ニ。唯ダ大阪工匠ノ姓名ヲ書シ。而シテ

粹人中井大和守以下ノ名無シ。故ニ家康之レヲ怒ルト云フ。箇様ナ
ル瓊々タル事ヲ口實ト爲スハ。實ニ笑フ可ク。亦マ憎ム可キナリ。○林信勝云云。凡ソ呪詛ノ
篤行。羅山先生其人ニシテ。亦タ之レヲ信スト謂フ乎。是レ蓋シ史氏ノ曲筆ナラン。○女使
二人。淀君ノ乳母大藏、尼。○吾婦ノ吾ガユメ。即チ秀。○如聞ノウスノウハサチ。聞。○繕
修復ス。○時ノ積ミタク。○何謂ノ字ニ作ル。更ラニ明快ナルニ似タリ。○註誤ノアマシ
ル義。註ハ欺。○悛非ノ善カラヌ所業。○輪誠ノ誠實ナルマゴ。○夫人氏ノ即チ將軍ノ
ナリ。○實ノ證據ト。○請其旨ノ思召シテ承リマシトナリ。○密啓日ノ内々言上シテ申
サレト密啓スルニ及バス。二策ヲモ上申セザル前。○或譜ノ二女使ガ証。○賣君ノ秀頼ヲ關
ニ。事ガ破裂セシナリ。記事實ヲ失ス。怪ム可シ。○撤ノ除キ去。○高田ノ越
付クテ。己レガ功トシテ。○茨木津ノ孺子ノ俗ニ小僧ト云フニ。○撤ノ除キ去。○高田ノ越
其利益ヲ貪ルチ云フ。○亡命ノ逃亡人。○抄掠ノカスメド。○軍須ノ軍中ニモトムル。○東府穀ノ關東ノ貢
其城下ノ是時漕運ニシテ。大坂。○聞之道路ノ道路ノウハサチ開キ及ビタルマデニ。○旗
鼓之事ノ事ト云フ義。○不腆弊邑ノ善カラヌ。ヤブレタル領地ト云。○敢犒從者ノ敢

敢。○不腆弊邑ノ善カラヌ。ヤブレタル領地ト云。○敢犒從者ノ敢

敢。○不腆弊邑ノ善カラヌ。ヤブレタル領地ト云。○敢犒從者ノ敢

ナガラ。オシテ從行ノ人々ヲ。○漕送 淀河ヲ舟ニテ運送スルヲ云フ。○不勞 一人ノ兵士ニテ防禦

無ク引キ取ル。○井伊直孝 時ニ大番頭ヲ以テ。○消息 敵中ノ機。○淀山 葛葉内河

○尼崎 建部某 是時年尚テ少キヲ以テ。專任セザリシナリ。○關原降將 是レ

長ノ父光重ノコトニテ。光重ハ毛利氏ニ從ヒ。阿濃津ヲ攻メシガ。事平ラケニ及ヒ。降ヲ納レ罪ヲ

免シ。居ル十年ニシテ卒シ。子政長ノ幼ナルヲ以テ。將ニ其封ヲ收メントセシニ。池田輝政ガ親戚

ナルヨリシテ。爲メニ家康ニ請ヒ止メシヨリ。其本領尼ヶ崎ヲ有ツ。○戚屬下間重景 諸將ニ

池田ニ作ル。逸史頭書ニ云フ。越前守重景實ハ本願寺下間。○片桐且元云云 是レハ豊臣記ニ

内藏助重政ノ子。播候輝政ノ外甥。故ニ其姓ヲ習スナリ。○關原降將 是レ

シ所ニシテ。且元ガ其臣牧直道。多羅尾半左衛門等ヲシテ。界浦ヲ救ハシメ。○尼崎下ノ尼崎

下ノ。○且元敗走 且元ノ兵牧直道等ガ敗走セシニテ。○始合 始テ手合セスル。○壯固 壯大堅

○間使 知ナルヲ以テ。使者ト爲シ。政宗ヲ招キタリ。○小山野 下 伊ツゴロニ。大坂ニ攻メ上

ハチツケタ。秀頼。河北莊左衛門ヲ以テ使者ト爲シ。○請師期 一ル可キヤト。其期日ヲ請ヒ

印章ヲ賣ラシ。正宗ノ短刀ヲ。家久ニ贈リシト云フ。○相爲腹背 大坂ガ腹ナレバ。紀伊ガ背トナリテ。地

○但馬守 長晟。紀伊。○遣使誘其君臣以利 大坂。

患 大坂ニ應ズル時ハ。容易ナラ。○父兄 長政ハ父。幸。○遣使誘其君臣以利 大坂。

兵左衛門ヲ遣ハシ。長晟ノ臣淺野右近。淺野左衛門佐。龜田高緒ニ謂ヒ曰ク。但州營テ右府ト親好

アリ。若シ舊義ヲ存スレバ。則テ金法馬三ヲ但州ニ贈リ。三老ニ各々一法馬ヲ贈リ。且ツ隸騎三千。

麾下ニ列セシメント。三人相議シ。長晟ニ聞シ。使者ニ辭シ遣リ歸ヘ。○足矣 十分ナリトノ意。

所ハイカバテアルヤ。サレバ彼レノ父兄ガ何等ノ事ヲ以テ。太閤ニ報セシヤ。之レヲ徳川氏。○使

者猶來百計勸説 大野治長又々書ヲ寄セ之レニ説キ曰ク。冀クハ來リ授ヘ。事如シ成レバ。則

々様々ニ手ダテ。○坂本 近江。冬夏事記ニハ。○南海西海兵云云 冬夏事記ニハ。西國ノ

四國ノ兵ハ。和泉ノ沿海ニ。○蒲生 郷 忠。○最上氏 親家。○賴房 水戸家ノ祖。是時猶子

義直ノ祖。○賴宣 起伊家ノ祖。是時猶子駿河遠江。○後叙云云 賴房ハ是時已ニ從四位下

任セラレ居タリ。サレバ。○分賜白旗云云 白旗及ビ引兩幕ヲ義直ニ。白旗及。○特恩 特別ノ

出身ハ如何ン。豈ニ特恩ヲ受クシ者ニ非スト爲スカ。○發駿府 本多正純軍事ヲ指揮ス。其他

似タ。○發刺客云云 シノヒ行キテ。人ヲ刺シ殺ス者ヲ刺客ト言フ。○發家康ノ乘リシカゴナ

入ルヲ狙シ之ヲ犯カント欲スト。創業記ニ云フ。大坂城中。假リ山伏六十餘人ヲシテ。火ヲ二條邊ニ放ツシム。人アリ之ヲ訴フ。二十餘人ヲ捕フト。浪花戦記ニ云フ。青蓮院坊官杉本坊。山伏二十人ヲ粟田口ニ捕ヘ。板倉勝重ノ術ニ送ル。勝重之ヲ推轉ス。皆十首服シ曰ク。○傳奏司廣橋大納言藤原兼勝。三條權大納言藤原實條。

○勞問格別疲勞ハ致サザルヤ。御見舞ノアルヲ云フ。 ○忠直越前家。相續人ニシテ。前ニ利光トアリシ者ナリ。 ○外孫忠明ノ母ハ家康ノ長女ナリ。 ○龜山勢伊南面。住等。 ○長柄淀川ノ上流。テ。壅塞シテ。下流ノ水ヲ乾カシ。進濟ニ便ニスルナリ。成續ニハ。狹田宮ヲ壅グトアリ。

○鳥飼大和川ノ上流ニ在リ。當時ノ大和川ハ城ノ水路ト異ナリ。知ル可シ。 ○毛利秀就。 ○福島氏忠勝。 ○大仙陵一本難波戦記ニ云フ。世俗仁徳天皇ノ陵ニ。仁徳天皇ハ百舌鳥耳原陵ニ葬ル。大仙陵ハ和泉ニ在リ。自カラ別ナリ。

○平野攝津。大坂城ノ東南ニ在リ。 ○大野道見難波戦記ニ據ルニ。大野氏兄弟次序ハ。修理亮治長。主馬助治房。壹岐守治氏。道見ハ其季弟ナリ。

○天王寺大坂城ノ南方ニ在リ。 ○住吉天王寺ノ南方ニ在リ。 ○堀氏弘成續ニ。新宮重朝ニ作ル。臣ナリ。

○渡部了高虎ノ臣ナリ。 ○土兵吉野。熊野。有田。日高ノ土寇ナリ。 ○大鳥和泉。 ○神崎川大坂城北。西。二弟亂下流。成サズ。下文ノ二弟モ亦同シ亂ハ川流ヲユウタリスルナリ。

○長柄川大坂城北。北。二弟亂下流。成サズ。下文ノ二弟モ亦同シ亂ハ川流ヲユウタリスルナリ。 ○長柄川大坂城北。北。二弟亂下流。成サズ。下文ノ二弟モ亦同シ亂ハ川流ヲユウタリスルナリ。

○上杉地名ナラン。天滿中島ノナカノシマト訓スル。市内ノ中島ト別ナルニ似タリ。此書ハ國中島混スル故ニ處々通シ難キヲ覺フ。

○佐竹義宣。 ○相馬利風。 ○秋田季實。 ○堀尾晴忠。 ○京極高知。忠高。高政。是ノ方面ニ。省クハ。餘ノ器ニ失スルニ似タリ。

○平野西福。成續ニハ。東方青屋口。今是ニ似タリ。 ○伊達宗政。 ○金森重可。 ○淺野長辰。 ○蜂須賀至鎮。 ○鍋島茂勝。 ○今宮北。海濱ニ陣セリト云フ。サレバ。西北トモ謂フ可キナラン。

○池田利隆。 ○加藤明成。 ○山内豊一。 ○森政忠。 ○有馬氏豊。 ○中島成續ニ。中島神崎ニ作ル。

○九鬼隆守。 ○向井忠勝。 ○傳法口大坂城ノ西ニ在リ。サテ本書ノ諸將陣列ニテハ。城東ニ陣スル者ハ。一人モ無シ。下キ。平野ノ西ニ陣スル上杉佐竹ナドガ。其戦ヲ爲ス答ナシ。疎漏誤謬ト謂フ可シ。

○遷騎打ナリノ。二魁。家康秀忠ヲ指ス。 ○子計中矣。貴殿ガ。兼テ目論見タル謀計ガ。果シテ圖ニ中リタリト云フ義。

○離間親ノ中ヲ。違ヘサスルヲ云フ。 ○訊得其實。拷問シテ。其偽リテマシメタリト云フ。情實ガ知レヌ。蓋シ大野治房ノ兵ナリシト云フ。

○鯨額ヒダノ。ニ。スル。但マ其主ニ叛スルノモナラズ。之レヲ辱ムル此ニ至ル。人心ノ輕薄恥辱ヲ知ラザル。此ニ至ツテ極ルト謂フ可シ。

○誘池田利隆。城兵鹽江甚之レヲ誘引セリ。 ○議進取。取ル相談ヲ爲シヌ。

○大須賀氏康高。 ○出亡慶長十三年。二人故アツテ。横須賀ヲ引セリ。

出亡シ。武蔵所澤ニ。○老兵事。イカサノ事柄ニ。○収録。召シ出シ。○操縦。トリシメル。屏居セリト云フ。○穢多崎。城將大野治房薄田兼相ノ二人ガ。明石。○候船。モノミノフチナリ。ヒキチ云フ。○鷗野。城將大野治長ノ銃手隊長并。○今福。治長ノ部將矢野正倫、飯。數十隻ナリシト云フ。○鷗野。上五郎右衛門。之レチ守ル。○磯手。大炮組。○博勞淵。二寨。一説

是ノ上ニ。葦島ノ二字チ脱スト爲ス。從フ可キニ似タリ。豊臣記ニ。○北塞。下有洲。即チ葦島。ハアリ。俱ニ城西ニ在リ。城將薄田兼相。平子主膳等。之レチ守ル。○忠鄰子也。其二男ニシテ。石川氏ニ子養セラ。○贖父。忠鄰ノ。本多正信ガ讒チ以テ。彦。根ニ放逐セラレシ冤罪チツケナ

ハント思。○以槍爲棹而濟。ヤリチ。ミザハトシテ。水チウツタ。石川ノ部。○仰攻。高キ。故ヘ。下ヨリ仰。○土佐港。阿波坐港。城西。○不愧云云。忠世ノ孫ト言フテ。ハズカシク。ギ攻ムルナリ。○野田。福島。方ニ在リ。○旗植。ハダノ。時已ニ船場ニ攻メ入り。○蜺川。城西ニシテ。淀。城ノ西北。○旗植。ハダノ。立

シトアリ。イカサニヤ。○乃濟。上文チ承ク。レバ。是レ蜺川チ涉リシナリ。サレド野田福島ハ。蜺川ノ下流ニ。チナラン。○乃濟。シテ。殊ニ北岸ニ在ル地ナレバ。敵身方ノ陣取リノ勘定合ハズ。蜺川ハ中津。川ノ誤ナラン。中津川ハ野田福島等ノ北ニ在リチ。川モ大ナレバ。陣取リノ景狀モ。想

像スルニ足レリ。是處ハ豊臣記ニ已ニ誤レルニ付。聊カ辨シ置キタリシ。參考ス可シ。○中島。諸將欲繼濟。中島ハ蜺川ノ南ニ在リ。且ツ其間ニハ淀川ノ分流。堂島川アリ。中島ヨリシテ北。ニ向ヒ。蜺川チ涉リ。何レノ處ニ行カントスルニヤ。地理チ知ラザルノ妄モ。亦

在リ。之レチ涉ラザレバ。船場ニ入ルチ得ズ。サテ又本支ノ諸將ハ。上文ノ池田、加藤、山内、森、有馬ノ諸將ナリト知ル可シ。又案ズルニ。此ノ中島モ。神崎近傍ノ中島ナルチ。市内ノ中ノ島ト混。セシ故ヘ。事實ノ通セザル。○太公。家康チ。○戒其持重。カハツニセズ。オモノシク。コトナリシニ似タリ。○逗留。機會チ失シテ。グツク。○孫武傳。史記列傳中ニ在

ヘバ。持重ノ字ハ。輕易ニ作ラ。○孫武傳。史記列傳中ニ在。テ。兵法チ善クスルチ以テ顯ハ。○將在軍云云。是レハ孫子ガ吳王闔廬ノ宮庭ニテ。兵チ試ミ。語ナリ。軍中ニ在テノ驅引キハ。大將タル者ノ臨機應變ノ處置ニ在ルコト。○拘我命。少年ノ

戒メタル命令ニ。カ。○見機不進。進ム可キ機會チ見ナガ。○進入。福島。中島ヨリ。福島。ハリナツムチ云フ。○至海口。淺野ハ。上文ニ。今宮ノ。者ニテ。東西チ誤ルト謂フテハ。餘ノ甚シキコトナリ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

ヘバ。其レヨリ舟ニテ川口。○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

○聲援。スクフト云フ。ウハサ。○川場。船場ニ作ル可シ。城

天満 城北ノ地。本文ニテハ西北ノ外ニ置キ。○脆薄 堅固ナラズ。手

セサルヲ。城内ノ諸將ガ。軍議ニ託シテ。治房ヲ欺キ城ニ入ラシメ。其不在中ニ。陣營ヲ焚キ掃

ヒシニ因リ。守兵ガ驚キテ走り入りシナリ。本文敘事微誤ヲ免カレズ。○亦驚走 退クヲ承諾

○進入天満 是レモ微誤ヲ免カレズ。中島ヨリ天満ニ涉。○生玉 城南ニ在リ。○淡路本街

高麗三橋 總テ城西ニテ。東横。○出路 城内ヨリ。城外。○列牌 旗ヲナシ。○増糧食

通常ナレバ。兵士一人。一日ノ食糧六合ノ手當テナレドモ。之レ。○爲介 中人トス。○未也

マダ少シクハ。○神算 凡人ノ及バザル。不思議ノツモ。○約期 燈籠ヲ掲ゲ。期ヲ示サ

賀越前子弟 利光ノ前鋒本多政重。横山長知。忠直ノ前鋒本多成重。本多富正等ナリ。忠政ノ弟

兵ト云フ。○貳城 田幸村ノ持擣。○直政先登 直政時ニ年十四。サテ難波戰記ニ據ルニ。直

ニ如カズ。○破令者云云 血氣ニハヤル人物モ。亦タ容易ニハ得難シト言ヒテ。開セザリシナリ。サレバ軍

チ爲スノ狀アリテ。徳川ノ方ニテハ。只ダ之レヲ翻弄スル風アリ。更ニ本氣ノ戦ヒトハ見

ヘズ。故ニ往々人心ヲ變カシムルニ足ラザル事實多シ。是レ弱者ノ以テ弱者タル所ナリ。○衷

甲 甲キヨミチ ○葵號戰袍 大陣羽織ナリ。○生玉口 藤堂高

ナル意 ○叢銃雨注 ノ如クニ。ウチカケルヲ云フ。○按轡 馬ノマツナチ。ヒキシメ。

尹松 名ハ重量。○排衆 衆人ヲオシツ。○此公云云 避ケルト言ヒテハ。軍氣ヲ沮スルノ恐レア

ナリ。○川場 蜂須賀至鎮ノ營。○將軍巡云云 年譜。創業記。家忠記以下諸書。皆ナ家康秀忠

○有馬氏 豊 ○埤樓 土手ヲ作り。其上ヘニ。○狙發大煩 ニ。ウチカケルヲ云フ。

元帥 總大將 ○斥兵 ノ兵。○天授 天ヨリホツカリシ。○徵倖 ヲボレサイハヒ

止ナリ。○連珠砦 リシ。營寨ヲ云フ。○壅河之功 上文ノ伊奈忠政ニ命シタル。淀川

水多涸 水ガ多クカレヒツツイタ。サテ淀川ノ水チ長柄ニテ塞ギ。北流シテ長柄川ノ方

シナラン。○土豚 土俵ナリ。○竹牌 旗ヲナリ。○鐵楯 旗ヲナリ。○距埤 城ニ登ルノ具

城篇ニ。三月而後成ニ距埤。注ニ。踊土稍ヤ高ク。○鑿地道 家康。間宮權左衛門。島田直時ニ命

シテテ。前ニ以テ其城ニ備ヲナリ。○鑿地道 家康。間宮權左衛門。島田直時ニ命

藤堂高虎。井伊直孝。前田利光ノ攻ムル所。鑿フ可キノ地ア。○不得休止 出カ出来ヌ。

不戰而勝 太公曰ク。戰カハズ而シテ。○且夕人 ニウニ死ス可キ人ト云フ意。○西吉東

凶 方位家ノ説チ。○自艾 艾ハ治メ。○介 意ニサシ。○客兵 浪人ニテ。新々。○周池

城ノメグリ。○爲客兵請食邑 客兵ハ皆十浪人ナリシ者故ヘ。之レガ爲メ。○釋之已

多矣 其罪チユルスガ。己ニ十。○措目 ヲオキニテ。目ヲ。○不交睫 ヲアチアハカスト

睡ラサルチ。○道頓港之敗 上文ノ旗幕チ奪。○阿波兵 蜂須賀至鎮。○死傷頗多 隊

中村右近、七條與三右衛門等。戰死スル者。○先是 十一月二十。○來勞 住吉ノ行營ニ來リ慰

○於是復來 十二月十七日。再ヒ茶臼山ノ。○蓋老 大老ト。○戎間 陣中ト。○少慣

軍旅 年少ノ比ヨリ。陣中ニ起居奔走ス。○職分所存 武臣ニシテ。將軍職チ仰セ付ケラレ

ノアル所ナリ。○不可獨逸 諸將ニ難儀サセテ。己レ一人ノ。○聖慮 天子ノ御心。○誅

夷 誅戮夷。○女監 老女ノ。○工場 普請場。○千百成群 或ハ千人。或ハ百人。○飛

橋 城ニカケツマスハシ。即。○贖贖 城ヘ攻メ付ケ。城足チ穿ツ車ノ名。即十龜甲車ノ類。孫

橋 十補氏記ノ雲梯ト同シ。○贖贖 子攻城籠ニ。攻城ノ法。贖贖チ修シ。器械チ具シト云フ

○壯銳 氣サカシニシテ。○極目 クカギリチ云フ。○際天 トツニナルチ云フ。○色動 ヲハ氣ノ

○備前島軍 片桐氏ノ。○關第二層 五重ノ天主閣ノ。第二。○震

死 鐵炮タマニ。ウタレテ。シ、タルナリ。地震ニテ額屋ニウタレ死スルチ。春秋ニ。○喜懼交

集 妹氏ノ來リ。和ノ成ラントスルチ喜フ心ト。敵勢ノ強。○舊封 十萬石。○特逐諸客

兵 成績ニ據レバ。客兵チ禁。○公上 俗ニ御上ミト。○遲疑 決斷ノ無キチ云フ。○稚

弱 義。○冢子 長男チ云フ。即。○逐客兵 諸書ニ。○私對 レ一箇ノ考ヘニテ對ヘ

將 眞田幸村。○候視 様子チウカ。○二豊二筑 成績ニハ。豊前。肥。○密命 島津氏ノ叛

命令。○使人 本多正純チ。○勳舊七將 豊臣記ニ吏七名トアリ。疑チ存シ置キマリシガ。後

川正弘、佐久間政實、山城宮内少輔、山本新五左衛門等。○不可保也 屹度和睦スルヤ否ヤ、

役夫チ督ストアリテ。安藤成綱ノ二人無シ。イカハニヤ。○不可保也 屹度和睦スルヤ否ヤ、

來メト。○長湫捷 池田等チ打取。○事固非難 強テ之レチ滅スニ。ムツカシキト言フデ

云フ意。○長湫捷 池田等チ打取。○事固非難 強テ之レチ滅スニ。ムツカシキト言フデ

獨學日本外史

ナラシ。當時秀頼幼ニシテ。天下未ダ其愚暗ヲ知ラズ。而シテ關原ニテ徳川ヲ助ケシ諸將ハ。徳川ヲ信シテ助ケシニ非ズ。石田ヲ惡ンテ。徳川ノ力ヲ借り。之ヲ除キシナリ。サレバ伊達藤堂等數人ノ外ハ安ソツ再ヒ之ヲ助ケテ大阪ヲ攻ムル者アラフヤ。事實難シト謂フ可キナリ。○報恩 己ニ我家ノ天下ヲ奪フ。安

○自取亡也 自分カラ滅亡チマテキトルコトニテ。我レモ存スルコト、セリノ意。○御府 朝廷ノ御書。○典籍 書物。○五山 神ノ及ハヌ神速ナルコト、爲シタルナリ。○校寫 誤字ナドヲ校合シテ。ウ

徒 天龍寺、相國寺、建仁寺、東。○開局 別ニ一ツノ役所。○校寫 誤字ナドヲ校合シテ。ウ。○慰勞懇至 十。○命 傳奏司藤原兼勝、藤原實條ヲ。○朝廷爵位 准后親王等ノ

諸節會 元會、白馬、踏歌。○懷觀望 一リヲ見合セ話ルチ云フ。○逗留中島 中島ニテ。○尼崎成將 上文ノ下間重景ガ片桐且。○牽

可キチ。○以死爭之 冤罪ガ明白ナラザレバ。引キ取ラ。○血被面而不縱 血ヲ被リテ面ヲ不縱ル。○存其祀 斯クテトウノ輝政ニ打死ニサセザ

○記之 大膳ノ忠義ヲオ。○母子 母ハ即チ輝政ノ。○避嫌 氏ニ。○富田氏 知。○宇和島 伊。○配所 是レヨリ先キ。

○廢疾 一生治療ノ見込ニ無キ。身。○不勝事 軍事ヲツト。○代攝 其軍 兄ニ代ツテ。軍事ヲツトメタリ。○將軍 家忠日記、松榮紀事、君臣言行錄等ノ諸書ニ據

所ニシテ。秀忠ニ非ズ。○麻 身體ノツカレ。○先臣養士 先代ノ臣直政ガ。○庶孽 カ

ケバヲノ次三男ト云フ義。直政、松平康親ノ女ヲ娶ル。康親ノ。○嫡長 本妻ノ生ミシ

家人印具徳右衛門ノ女。侍女ト爲リ從ヒ適キ。直孝ヲ生ム。○嫡長 本妻ノ生ミシ

萬石 成續ニハ。二十萬石。○別賜邑于直勝 直政ノ舊封上野安。○有故育於民間

直孝ノ母娘ムアリ。夫人松平氏。之レヲ其父印具徳右衛門ニ託ス。己ニシテ松平家ノ封ヲ私市ニ

直政之レヲ城外里長
ノ家ニ置キシト云フ。
○密召見
内々召シ寄セテ面會
○軍磨
軍中執ル所ノカイハハ
入リシ
○及長
長十年始テ秀忠ニ仕ヘ十
四年書院番頭ト爲リシナリ。
○酒然
驚ク貌
酒、悉禮切。莊子庚桑楚
ト云フ。

當時大番頭ノ班位ハ。遠ク執政ノ下ニ在リシ。然ルニ
今日特ニ上席セシ故ヘ。皆ナヒツクリシタルナリ。
○狀
模倣
ナリ。
○不恭
ツウチヤ
○故

待從
直政ヲ
指ス。
○不能不然
斯クセズトハ居
○唯能然
人ノヨクセヌ事ヲ。ユク
ヲカマンナト云フ義。是レモ誤リナリ。逸史ニハ太主ト書キテ。家康ヲ指セリ。且ツ是レハ元
和元年ノ事ナルニ。本書ハ今年ニ入レタルハ。亦誤ナリ。サテ正信ノ老姦ナル。己ニ大久保

忠隣ノ勢力。已レノ上ニ出ヅルヲ妬ミ。之レヲ讒シ。滅亡セシメシニ非ズヤ。サレバ直孝ノ年
少ニシテ。此ノ如キ。其胸中豈ニ平然ヲラシヤ。其實井伊氏ノ勢力。遂ニ我カ敵ス可キニ非ルヲ知
ル。故ニ虐心半氣ノ風ヲ假粧シ。以テ虐害ヲ博ス。是レ其以テ老姦
ナル所ナリ。後世史家其欺ノ所ト爲リ。喋々贊美ス。笑フ可キナリ。
○工卒
工ハ職工ノ義ナレ
バ。請合人夫ヲ指
スニヤ。役卒トス
レハ。穩當ナラン。

○周内外也
ウチモ。ソトモ。俱ニアマ
○其意如何
其意ハイカ
レハ。穩當ナラン。
○牙城一隍
本丸ノホリ
ヒトツダケ。
○元和
後水尾帝
ノ年號。
○追及岡崎
蓋シ

○功竣
ホリヲ埋ムル。シモト
○中泉江
○密議
大坂再舉
ノ事ニ付
二十日間淹留シテ。濠子城ム
○約期
再舉ノ時期
ヲ約束スル。
○候ニ其動

内々相談
○玉造之戰
大坂ノ役。前田氏ノ兵。城將
眞田氏ノ兵ト戰ヒシヲ指ス。
○約期
再舉ノ時期
ヲ約束スル。
○候ニ其動

息
イカハ爲スヤ。其模樣チ。
○至尊
天子ヲ指
シ言フ。
○東郷
關東ニ向ツテ。兵ヲ
繰リ出スチ云フ。
○鬪沮之

是非骨折ツチ。其説ヲ妨ゲ
止ムルノト。セヨトノ意。
○有議出師者
眞田幸村
○謀賊
敵ノマハシ
○駭問

トリシヲ。其罪ヲ
問ヒタツスル義。
○自如
オナツキテ。
○二女使
喬キニ江戸ニ使ヒセ。
○兵荒
イナ
經テ。土地ノアレ
ハテタルヲ云フ。
○食祿不給
家來ヲ養フ可キ知
行ガ不足デアル。
○賑貸
ニギハシ。ス
○義直
尾張

○右兵衛督
慶長十一年。義直右兵衛督ニ任ツタレ。十六年ニ。參議ニ任シ。右近衛權中將ヲ
兼テ。是時ニ右兵衛督ト曰フ答ナシ。蓋シ上文ノ左京大夫ト。ツリ合
ヒテトラントシテ。事實ヲ點檢セ
ズ。偶然斯ク書キ誤リレナラン。
○不嫻禮節
禮儀作法ニ。フナレ
○相之
不行届キノ
ケテ。手ダスケシ
テ。レエトノ意。
○賑給
スグル義。
○前役
前年ノ冬
○多益可敗
鳥合ノ弱兵ナ
バ。多キホト。敗リ易シトノ意。韓信ノ多
ク益辯ト言ヒシ語ヲ。轉化シ用ヒシナリ。
○負擔四走
荷物ヲ。セチヒ。ニナヒ。シテ。四方ヘ

山寺ニ奔リ。兵ヲ避
ントシタリト云フ。
○關門
禁裏御所ノ御門ナリ。或ハ曰フ。繼ヒ大阪ノ兵。京師ヲ陷ル。モ。
敢テ禁裏ヲ犯サル必スト。是ニ於テ市人爭フテ資財ヲ禁裏仙洞
ニ搬シ。或ハ妻孥ヲ公卿
ノ第宅ニ託セシト云フ。
○僚屬
シタ役ノ
官員トモ。
○便服
平服ヲ
指ス。
○倚安
所司代ガ。斯クモ落チ
無キニ相違ナシト。之レヲ
ノミニシテ安心スルヲ云フ。
○東寺
京師ノ
西南隅。
○山口重政
其子重信。大久保忠隣ト私昏ス
ルニ坐シ。封ヲ失フ。上文ニ見

無キニ相違ナシト。之レヲ
ノミニシテ安心スルヲ云フ。
○東寺
京師ノ
西南隅。
○山口重政
其子重信。大久保忠隣ト私昏ス
ルニ坐シ。封ヲ失フ。上文ニ見

○以功自償 テガラチ立テ、其罪ヲツ グナハント思ヒシナリ ○不得出 關門ノ嚴重ナルヨリシテ、出ツルコトガ出來ザリシ。

○縱敵於住吉 前役高虎大仙陵ニ屯ス。新宮重朝、三百餘兵ヲ率ヒ、界浦ヨリ大阪城ニ入り。高虎ノ營前ヲ過ク。朝霧昏深、前鋒渡邊了之ヲ覺ラズ。敵兵過ギ去リ、方

コ之レヲ知り、追擊スレモ及バズ。高虎之レヲ聞キ大ヒニ怒ル。其太閤恩顧ノ士ナルヲ以テ、人ノ其故カラニ之レヲ繼ツテ議スル有ランヲ恐ル、ナリ。是レヨリ了ト相失スルコト、ナレリ。本文

ハ蓋シ此ノ事ヲ指スナリ。カレト本書ニハ、右ノ事實ヲ遺脱シ。上文ニ載スル所ノ堀氏弘ノ、界浦ヨリ走ツテ高虎ノ軍前ヲ過ギシニ、渡部了、其伏アルヲ慮リ、敢テ擊クザリシヲ、指スニ似タリ。

○新進傲人 シンザン者ニテ、人ヲ輕蔑スルヲ云フ。 ○大坂使者 即チ前ノ二女使ナリ。 ○兵多則食乏

人敵ガ益セバ、食物モ不自由ニナル筈。カレバ人ニ賑給 ○其當已 當リマヘノコト ○驗 ヲ乞フ必用ヲ生セザルヲ得ストノ意ハ言外ニ在ルナリ。

○其虛實 其事ノウツカ。ホソマ ○徇 其姓名ヲ。一般コフ ○收 捕縛ス ○自請而從

長政、嘉明ハ、前役ニハ從フヲ許サザリシ故ヘ。此ノ度 ○兵未全集 加賀、越前、出羽、陸奥ハ是非從ハント。自カラ請願シテ、許可ヲ得タルナリ。

○野戰 原野ノ合戰。城ハ已ニツブシテ、固守ス可キ者無ケレバ、必ラズ ○乃公 家康自

ナル地ヲ選ミ居ルハ、不孝未練 ○樂戰 面白ク氣儘ナ ○遠近 敵地ヘノ遠近ヲ指ス。文

ナル大ト言フナラントノ意 ○見兵 現在アリ合セ ○世謂之何 世間之レヲ何ニト呼判スルデア

リト云 ○輕兵 身カクニイ ○敗屺 ヤブレク ○撫掌 手ノヒヲチウツ。撫ハ拍ナリ。

フ意 ○子言云 自カラ野戰ト思ヒシニ。符合 ○大和 松倉重正、奥田忠次、神保相茂。本

同 ○伊勢 稻葉紀通、一柳直盛、古田重治、分部 ○美濃 徳永量直、遠藤慶隆、遠

○一條槍故態 壯年ノ比。一本ヤリヲ執ツテ。敵中ニ驅ケ込ミ、功名ヲ立テシ

○仙石忠政 ○諏訪水 ○保科光正 ○丹羽長重 サテ以上ノ諸將等ハ、左軍ト爲リ、別ニ

重種等ノ諸將ガ、右軍タリシナリ。本書其 ○法隆寺 邑名ナリ。蓋シ法隆寺佛閣ノ側ニ在ルヲ

半バチ叙セザルハ、穩當チ欠クニ似タリ。 ○圍法隆寺 邑ヲ圍ミシナリ。寺ヲ圍ミシ

トノ別無キニ似タリ。 ○攻具 飛橋等ノ攻 ○圍法隆寺 邑ヲ圍ミシナリ。寺ヲ圍ミシ

斷シテ通セ ○焚之 駿府記ナドニテハ、正次ノ家ヲ焚キシマデニテ ○郡山和 ○乘守

遁 其郷里福須美ニ遁ル。亂平ギ。定慶 ○長池城 ○南都奈良 ○退去 頼版本ニ退走

之レヲ恥ヤ自殺シ。筒井氏絶ニ。 ○長池城 ○南都奈良 ○退去 頼版本ニ退走

編年日本外史再考 卷之二十一

今河越本 ○但馬守 辰 ○佐野 泉 ○紀伊土寇 多賀羅兵衛、戸津川八藏、湊宗左衛門等。

○佐野 泉 ○紀伊土寇 大阪ニ應シ。和歌山ヲ襲ヒ。之ヲ奪ハ

ント欲シ。吉野熊野ノ土寇。之レニ與 ○櫻井 泉 ○蔽林 前ニ蟻通社アリ。松林中ニ八町

ミシ。其黨幾ソト二千人ナリト云フ。 ○龜背嶺 和 ○爲左右隊將 此

死セズ。逃ガレ髪ヲ削リ。僧大龍ノ徒弟トナリ。鐵牛ト稱ス。 ○貝塚 泉 ○爲左右隊將 此

ト。今古史談等ニモ。其事實ヲ載セタリ。從フ可キニ似タリ。 ○龜背嶺 和 ○爲左右隊將 此

隊割リハ。成徳記スル所ト ○捷路 和 ○龜背嶺 和 ○爲左右隊將 此

大ヒニ與ナリ。參考ス可シ。 ○捷路 和 ○龜背嶺 和 ○爲左右隊將 此

云云 用明帝ノ時 厩戸皇子。蘇我馬子。佛ニ依シ。守 ○凶其分也 吉ニ逢フハ。其分限相應ノ

事ナリ ○安知吾不以勝乎 知レヤフヤ。或ハ勝ツコトモアラントノ意ナリ。 ○國分

嶺 河 ○細作 問謀ナリ。古田織部正。茶人木 ○米鹽云云 舊ハ醬油ナリ。權ハヒツナリ。難

嶺 内 ○細作 問謀ナリ。古田織部正。茶人木 ○米鹽云云 舊ハ醬油ナリ。權ハヒツナリ。難

常慶ヲ召シ。白糲五升。乾魚一頭。鹽醬松魚脯ヲ齎ラシ。之レヲ一櫃ニ収メ。其餘ハ固ク之

レヲ禁ス。人皆ナ其儉素ニシテ。能ク戰陣ニ慣ル。ニ服スト。酒ヲ携フルコトハ見ヘズ。 ○肩

輿 ナリ。 ○男山 山城 ○星田 角南 河内 ○平野 津 濟甲而南 敵ノ不意ヲ察マ

基次ノ路ニ迷ヒシ時ナリ ○嶺頭 上文ノ勝成引ニ諸軍一躍至テ承 ○道明寺 河内ニ屬ス。 ○取

節度 一カシツテ受 ○事如我意 フコトナリシニ因リ。我が意思通りニナツテ來タト曰

ナリ。 ○平岡 片山 河内 ○重正不利 四郎兵衛等。十七人戰死ス。 ○承之 引キウ

クテ ○射基次斃之 成徳注ニ云フ。難波戰記ニ曰ク。又兵衛丸ニ中リ重創シ。吉村武右衛

シト。武右衛門其言ノ如クス。故ニ時人其死ヲ知ル者莫シ。冬夏事記ニハ。金方平右衛門ニ作ル

創業記。駿府記。德川記。松榮和事。皆ナ云フ。又兵衛丸ニ中リ死スト。但マ德川記ニ。其實ヲ知ラ

ズト謂フ。慶元記ニ曰ク。又兵衛戰場ヲ遺ガレ。紀州ノ山中ニ匿ルト。難波戰記モ亦タ一説ヲ載セ

然リト云フ。諸説紛紜タリ。相傳フ。他年黒田長政ノ士。基次ニ山中ニ遇フト。蓋シ其實死セザル

ナリ。 ○鏑兼相亦斃之 鏑ハ矛戟ヲ以テ之レヲ擡クヲ謂フ。冬夏事記ニ曰ク。水野日向守ノ

救フ。助九郎。隼人ノ首ヲ獲タリ。新八ハ近習ニシテ。日向守ニ體アリ。故 ○本多 忠 ○松平

ニ日向守以テ新八ノ功ト爲ス。助九郎之レヲ憾ミ。明日戰死スト云フ。 ○本多 忠 ○松平

忠 ○丹羽氏 長 ○左右翼 左軍右軍ナリ。翼ハ鳥ノツバサ ○南阜 南方ノ小高キオカナ

テ。穩當チ欠ケ。 ○隻騎 一騎 ○兵疲 卯ヨリ午ニ至ルマデ力戰シ。 ○丸蓋 ノ。ナクナ

臣記參看ス可シ。 ○隻騎 一騎 ○兵疲 卯ヨリ午ニ至ルマデ力戰シ。 ○丸蓋 ノ。ナクナ

ツケル ○不肯 兩御所ノ命有ルニ非レバ。則チ兵ヲ進ムルヲ得ズト言ヒテ。 ○更殿 リハ

チ云フ。 ○不肯 兩御所ノ命有ルニ非レバ。則チ兵ヲ進ムルヲ得ズト言ヒテ。 ○更殿 リハ

ノニ。シシガ。○千塚 河内。矢尾ヲ去ル四。○二族將云云 高虎前軍三隊。藤堂仁右衛門高刑、

内、渡邊掃部等。之レニ從フ。藤堂新七郎其勝、右軍ニ將タリ。藤堂其重、藤 ○掃聲 戰爭ノヤカ

堂氏勝、田中内藏允、友田左近右衛門。之レニ從フ。渡邊了中軍ニ將タリ。 ○左指 千

益シ後藤眞田 ○漸西漸微 次第ノ西スルホト。聲ガカスカニナル。大 ○有敵 蓋シ長曾我部盛親、

等ノ戰ヒナリ。右ストセザレバ。通セズ。蓋シ是時ノ合戰ハ、最初南方。即チ左方ノ道明寺ニ向

○轉旆而左 右ストセザレバ。通セズ。蓋シ是時ノ合戰ハ、最初南方。即チ左方ノ道明寺ニ向

ヒシニ。土地ノ水田多キヨリシテ。右方、即チ西北方矢尾ノ方ニ向ケテ。路チ易ニ進ミシニ。道明

寺ノ敵ハ退キ。矢尾ノ方ニ敵ノ見ユルヨリシテ。急ニ又々趣向チ易ニ。田間ノ道ヲ取リ。直西ノ横

堤アルヲ見トシテ。之レニ至リ陣取リセントシ。前軍ヲ止メタレドモ。聞カズシテ。矢尾堤ニマテ

直進シテ。伏兵ニ逢ヒ。破レタルナリ。本書ハ地理ヲ知ラザルト。餘ノ事實ヲ省キ過ギタルトニ

テ。全ク通セザル ○沮洳 フケタノ。ドロドロボタ云フ。沮洳ヲ避ケ。別路ヲ取 ○馳傳令

軍ヲ止メ。西方ノ場上ニ陣ヲ整列セムトノ合ヲ傳ヘシナリ。固ヨリ高虎ノ許可ヲ得 ○二人死

テセシヨラヒナリ。本書ニテハ。別路ニ轉セムトノ合トナレリ。其レニテハ通セズ。 ○二人死

之。高刑ハ。盛親ト戰ヒ死シタレドモ。其勝ハ玉造場ヲ過ギ。西郡菟振村ニ至リ。木村重成ノ本軍

ト戰ヒ死シタルナリ。重成ノ前軍ハ。若江堤ニテ井伊ノ軍ト戰ヒ。本軍ハ藤堂勢ト戰ヒシナ

リ。高虎ノ左右軍將以下。老臣宿將多ク戰死シ。從兵死 ○高阜 矢尾ノ東堤 ○不救ニ將

スル者。二百六十餘人ナリト云フ。本書記事脱誤多シ。 ○高阜 矢尾ノ東堤 ○不救ニ將

了。高刑其勝等ト相協ハズ。故ニ其敗死 ○亦轉而左 亦ノ字。上文藤堂氏ノ轉旆而左ヲ承

テ見テ。終ニ之レヲ救ハザリシト云フ。 ○亦轉而左 亦ノ字。上文藤堂氏ノ轉旆而左ヲ承

ルハ。知レタルコトナルニ。何ニ故ニ間違ヒシ者ニヤ。 ○長坂某 十左 ○菴原

某 助右衛門 成續ニ藤峰文樂 ○敵近而勢竭 敵ノ近カヅク比ニハ。最早ヤ槍持ツ手ガ

意。 ○胃進不利 次、腹瀨左馬以下。知名ノ士三十餘人。戰死スト云フ ○蹙之 攻メツ

○麾而進 兵ヲサシマテキ ○安藤某 長三郎。冬夏事記ニ云フ。庵原助右衛門十字槍ヲ以

ツテ之レヲ殺ス。將ニ首ヲ取ラントス。安藤長三郎來リ助右衛門ニ謂ヒ曰ク。吾今日未ダ首級ヲ

獲ズ。願クハ之レヲ賜ヘ。助右衛門曰ク。子尚ホ年少。其志嘉ス可シ。此ノ木村長門守ノ首ナリ。

吾之レヲ得ル。以テ功ト爲スニ足ラズ。大阪城陥ル。且夕ノ中ニ在レバ。則チ ○游兵 井伊氏ノ

他日此ノ好首級ヲ得難カラント。遂ニ之レヲ授ケ。以テ長三郎ノ功ト爲ス。 ○死處 處。即チ

○赤隊 井伊氏ノ軍粧ナリ。 ○平野橋内 ○斯奴 俗語ノコヤツナリ。 ○死處 處。即チ

高刑其勝等ト俱ニ打死 ○噤噤 ヤカマシク。シ ○歸師勿遏 孫子ニ出ヅル語 ○一監使

將軍ノ目付役小澤忠重、永井白 ○陪臣 將軍ニ對シ言フ。 ○幸村等 即チ道明寺ノ敗兵十

元二人ナリ。一ハ二ノ誤ナリ。 ○陪臣 將軍ニ對シ言フ。 ○幸村等 即チ道明寺ノ敗兵十

スレバ。幸村等ハ是時己ニ退キ。只ダ ○和泉守 高虎ヲ 指ス。 ○不答 高虎、徳川氏ヲ畏ル。虎

基次兼相等ノ。敗殘ノ兵ノミナラン。 ○和泉守 高虎ヲ 指ス。 ○不答 高虎、徳川氏ヲ畏ル。虎

獨學 日本外史講義 卷之二十一

對シ答ヘサル答ナシ。成績ニ不聽ニ作り。逸史。○益促了。了ニ高虎使ヲ馳スル七回。○貴部。又タ使ヲ遣ハシ督促セシナリ。○怯夫。了ヲ指スナリ。○我良。高刑良勝等。ヨ。○黙。御手勢ト。○席職。ムシロノ。○指揮甚可觀。兵隊ノサシツスルユトガ善ク出來テ。○傲護。我が技能ニオゴリテ。人。然。己ノ憎ム人ヲ。譽メタルヨリシテ。甚ダ手持。○掃部君。直孝、掃部。頭ト稱ス。○褒詞。ホメユ。不徒勞矣。虎ノ己ノ斥スルニ。當テニトテ言ヒシナリ。○傲護。我が技能ニオゴリテ。人。此後了了ハ終ニ藤堂氏ヲ逃レテ客死セリト云フ。了了ノ才負ニ無禮ナ。○菅江内。河。○瀉。創。身ノキツハヒテ。○膿。ウミ。○燈。馬ニ跨ルア。○氣不爲撓。銳氣ガ腫物ノ爲。○扼。止ナ。傷ミシチ云フ。○膿。ウミ。○燈。馬ニ跨ルア。○氣不爲撓。銳氣ガ腫物ノ爲。○扼。止ナ。○四條。内河。○不逮事。冬夏事記ニ云フ。五日。忠直四條。陣シ。終夜飲宴シ。六日朝。其戰ヲ。○捷報。カナイクサノ。注進ヲ云フ。○詰朝。明朝。○先鋒。戰疲。藤堂井伊ノ兵。皆十戰。以他軍易之。加賀少將利常、越前少將忠。○忠輝。即上文ノ眞田ヲ懼。○逗留。グヅグ。ル義。○成重。本多富正ト二人ナリシ。何故。○來稟。來ツテ。カシ。○惰夫。ナマケモノ。○

○晏起。朝寐スギテ。オソク。○惴恐。オソレル。○努力。骨ヲ折り。○先登。大阪城ノ一番。○爲監軍所誤。上文ノ藤田信吉之レヲ掘ムルヲ指ス。蓋シ秀政、禰原康勝ヲ佐ケテ進ム者。○戚屬。シナルイ。○有尺前無寸卻。一尺ス、ムユトアリテモ。一寸。○遺財ノ財貨。○宗家。本家チ。○屏分地。親ノカマミワケニ。土地チ。有。○且實之兄。○氏。兎モ角モ當分ハ。之レチ。○以俟我需。以テ自分ノ入用ノ時節チマ。○問焉。此度ノ。付キ。預リノ財貨ノ入用ナルユ。○既辨之矣。最早ヤ手元ニテ。都。○沮澤。ミツタ。父。汝ガ父ト云フ。○險易。土地ノ險阻ト。○不肖。親ニ似ヌ。○遠藤。但馬守慶隆。其。○片桐。主膳正。○石川。主殿頭。○蒔田。權之助。諸書片桐以下三。○秋田。實。○六郷。兵庫頭。○淺野。重。○丹羽。重。○仙石。忠政。此ノ陣配リハ。成續ナ。○偵騎。モノミ。○

○候戰地。七日天未大明クズ。城兵出テ。城邊ヲ按視ス。井及ヒ水アル處ハ。紙ヲ竹ニ掃ミ。之レ。○使。人云云。森勝水ノ部兵。松岡彦兵衛。○聚落。人ノ多ク住居スル。○

○

○

皆軍隊也。平野岡山ヨリ四五里ニ亘リ。旗長。○茶臼山ノ大阪城。○岡山ノ茶臼山。○其

間。茶臼山ノ中間。○今宮。茶臼山ノ西北ニ當リ。○嚴整。嚴重ニシテ。○當兩將軍。家康

忠トニ出遣ヒ。之レニ敵。○何謂大兵乎。ナンド大兵ト謂フヤ。蓋シ兵氣チ。○穿鞵。ワ

ツチハキ。○紵衣。夏日故ヘ。麻ノカ。○黃掛。羽織ナリ。○輜重。荷物チ載セ。○尹松

名ハ。○重右。輜重兵ハ右ニモレトナリ。重ト一字チ用ニル例。左傳ニ在リ。○傳呼。カ

ラ人ヘ。巡達シテ聲。○揖之。手チアゲテ。エ。○銜。馬ノク。○嚙昔。昨日ト云フ如シ。

授其首。テ來タト云フ意。○首肯。ウナツク。○筭輿。竹カエナリ。竹チ。○柿蒂衣。ア

ノ。即チカキイロ。○團扇。ウナハ。○平日威嚴。平素ハ極メテ威勢チ張。○癖。クセト

○候。戰。ウカ。カ。居ル。○入。閻羅廳。閻羅或ハ餓魔ニ作ル。閻羅王ノ字。隋書韓擒虎

ニテ。乃チ死者生前ノ罪過チ正ス所ナリ。是レ死シ。○呼餐。辨當チ持チ來レト。○不墮。餓

鬼道。一リ。サテ佛說ニ。地獄。餓鬼。畜生。修羅。人間。天上チ以テ。六道ト稱セリ。○鬩。エチアゲ

○吉田修理。荻田主馬。俱ニ忠直ノ臣ニシテ。先鋒タリ。○安井。大阪。城南。○西尾久作。成續ニ仁左

注ニ云フ。久作ハ其初稱ナリト。○其軍部。上文ノ戰少不。○百里。馬ノ名。○出雲守。自カラ其

ナリ。○一人。森勝永ノ。○洞。ウナヌ。○圍。ウナリ。○鐵樵。チツノム。○爭其首。

秀頼ノ歩卒隊將雨森三。○大屋某。作左。○終死之。大野治長、森勝永。○死於攢槍。

下。四方ヨリアツマリ。ツキカ、ルヤリニ殺サレタリ。浪花戰記ニ云フ。忠信從兵二十。○忠貞

是時ハ忠政ト曰ヒタリ。後チ忠貞ト改ム。時ニ年十八ナリト云フ。○澀多見某。見ニ作ル。是ナリ。○安積某。覺兵衛

伴八彌安見右近。諸書チ檢スルニ。加賀ノ先鋒山崎闇齋、本多政重。○書院番三隊。文上

ニ見。○本多俊。遠藤隆。○稻荷阪。○酒井家次。○榊原勝康。○森氏永。○七

隊長。青木一重、眞野宗信等。○直次。成續ニ正次ニ作ル。直次ハ。○勝曼。大阪。城南。○酣戰。戰ヒノ半ハ

云。○埃塵。ナリホコ。○紛拏。入り亂レ混雜。○物色。カホイロニテ。見。○有反者。是

家康ノ姦計チ用ヒ。大野。○治長等。速水守久ト。○願後。治長等ノ旗幟ノ城ニ入りシチ見

ナリ。○爲内應者 危人大隅與左衛門。是句ノ下火ヲ經フ

修理 忠直ノ臣。○烟燄 火ノホ。○觀月樓 ヤグヲ。○尼崎 大坂城

高槻 城北。○仙石某也 宗。○傳法 西城。○森口 東城。○岸和田 城南和泉

長 蜂須賀氏 至。○最後 一番ア。○胡床 ギヤウ。○更關原之事者 關原ノ合戦

モノ更ハ。○可謂乃公孫也 謂ハルトナリ。○不願 寸功無キヲ以テ。○屬途

途上ニ引キ。○將舍也 將ニ營宿セント。○咄嗟 ヤアト聲ヲカ

前途修遠 長キヲ云フ。○首功 人ノ首ヲ斬リタル功ナリ。史記ニ魯仲連ノ

秀忠ノ。○葵章衣 マルカツキナリ。○窘步 ナンギシツ。○辟人 路上ノ人ヲハラ

通ズルヲ云フ。孟。○成正 成績ニ孝。○木村某 織右衛門。治長ノ老臣ナ

母子ヲ免スルヲ乞。○夫與姑 フトメ淀君。○乃夫 亦秀頼ヲ指ス。正論人ヲ

コメクヲナリ。火ヲ避。○正純 成績ニテハ正純ハ將軍ノ方ヨリ。差向ケ

ケテ之レニ入りシ。○無復可言 兎角ノ議論スル必。○舊好 シルキヨ

成績ニハ。豐島刑。○無復可言 兎角ノ議論スル必。○舊好 シルキヨ

ナミルト。○往復不決 雙方論判ガ。○大旨 御上ニ思召

ユスユトナリ。○是在我輩也 是ノ處分ハ。我レノノ。ハカ

ヲ知。○櫻門 本城ノ門ナリ。大坂ノ本丸ニ。○告狀請罪 秀頼ヲ殺シタル次第ヲ言上シ

ヒシ。○領 頭ヲウナツ。○驅之 路ヲイソギテ。カク

言ヲ信用セ。○雨大至 守口ニ至リ。天陰リ。平瀧ニ至リ。

グノ類。○二鼓 二更ト同シ。亥ノ。○阿部云云 阿部正次ハ天王寺口ヲ守リ。青山忠俊ハ玉

口ナ。○城墟 トナリ。○凱旋 カナトキチアゲ

ハズ。亦々逃アレ城ヲ出テ。土佐ニ歸ラント欲ス。道塞リ達スルヲ得ズ。八幡ニ匿ル。松

平隠能守計ヲ設ケ。之レヲ捕フ。或ハ云フ。蜂須賀氏ノ臣長阪三郎左衛門之レヲ捕フト。○道見

小林元次野間金三郎。之レヲ捕フ。其言ヲ界浦ヲ亂妨セシヲ以テ。○監使 ノ役人。○自裁

自分ガハヲキ。○煽亂 亂チアチリ立テ。○假之 寬典ニ處シテ。其罪

リ死スルヲ。○假之 寬典ニ處シテ。其罪

○庶子 長岡式 ○星田 内河 ○金馬 秀吉ノ造ル所 ○修荒廢 城郭道路橋梁等ノ

○經田里 田畑村里ノ廢廢セル者ヲツレノ ○殷富 兵亂ニ因リニハレ

○遣教旨 一條檢ノ故應子作ス勿レト ○輕自接刃 事トナ上奏スルナリ

○無子 子政勝是時年僅カニ一歲ナリシヲ以テ兄ノ次男 ○襲

封 上總大多喜六萬石ナリ後子政朝卒シ其子猶子 ○復本姓 忠政出テ外祖大須賀康高

子無キヲ以テ襲 襲其封 一林十萬石ヲ食ム ○屬於頼宣 大須賀氏ハ以前頼宣ニ

賀氏ハ斷絶セリ ○信吉失軍機 若江ノ戰 康勝 及ヒ小笠原秀政ヲ止メテ ○忠繼封

備前ノ國三十 一萬五千石 ○其舊封 淡路須本六 萬三千石 ○進官爵 利光 政宗 並ニ參議ニ拜

秀行 ○嫁淺野氏 長晟ノ妻ト ○率諸侯 尾張宰相義直 遠江宰相頼宣 越前宰相忠直

從ヒ 吉良侍從義綱 劍持持シ 酒井家次 酒井忠世 土井利勝 安藤重信 本多正勝 本多忠純 青

山忠俊 内藤清次 水野忠元 井上正就 酒井忠勝 神尾守世 青山幸成 松平忠明 本多忠政 戶田

氏鐵 屬從 ○振鋒云云 成續ニハ此ノ四曲中 振鋒無クシテ 別ニ萬歲樂 陵王 納蘇利 拍鋒

德舞等モアリ サテイツレモ樂ノ名 ニシテ 樂ノ字音格ト讀ミ來レリ ○伶官 音樂ヲ爲

○伶官 音樂ヲ爲 散逸スルヲ云フ ○貞

永建武式目 後堀川天皇ノ貞永中 北條泰時源氏ノ執權タリ 成敗式目五十條ヲ定ム 後醍醐天

式目ハ即チ法 ○勿不修 文武ヲ兼修ス可キヲ謂フ 每條勿ノ字ヲ加ヘシハ 山陽翁ノ譯文ニ

○伏遊群飲 耽り 博奕ヲ事トスルナド 皆ナ是ノ目中ニ在リ ○勿移其所 是レモ

辨チ費ヤスチ免カレズ 元來本趣意ハ 我ガ國人ノ外ニ 他國人ヲ雜居セシムルヲ禁

築城郭 私人ノ着目ス可シ 上願シテ許可ヲ受ケレ ○立異 異議ヲ主張

婚姻 婚姻上ヨリシテ 徒黨ヲ成ヌトア ○會同 諸侯ノ相會シアツマル ○勿私結

節 召連レル供マハリノ 方外ニ多人數ナルヲ禁セシナリ 百萬石以下 二十萬石以上ハ ○衣

服云云 君臣上下 各々差別ヲ爲スナリ 白綾白小袖 紫袷紫裏 練無紋小袖 ○擇其器 其役

應ノ人材ヲ ○昭實 晴長ノ子 ○寬平遺誠 宇多天皇ノ寬平九年 位ヲ醍醐天皇ニ禪リ

○學古道 遠誠ニ曰ク 經史ヲ研究セズト雖ヒ 亦タ群書治要ヲ誦輯ス可シ ○習和歌 禁

抄ニ曰ク。和歌ハ光孝天皇ヨリ。未ダ絶ヘズト。綺語ト雖也。而
ノ我ガ國ノ俗習ナレバ。則チ宜ク之レヲ學ブ可シトナリ。 ○見任三公。現在其職任ニ在
大臣、右大 ○班。列ヲナリ。 ○諸王。諸ハ親ノ訛。或ハ諸下親
臣ヲ云フ。 ○諸王。ノ字ヲ脱スルナラン。 ○公家員外。公家衆ノ。見在定員
フ。カレバ武家ノ者ハ。タトヒ其官位ヲ受クルモ。朝
廷ニ立ツテ。任ヲ奉ズルコトハ。許サズ定メナリ。 ○不宜取異姓。同姓ヲ養子トス
送ニ立ツテ。任ヲ奉ズルコトハ。許サズ定メナリ。 ○不宜取異姓。同姓ヲ養子トス

服章。御引直衣。御小直衣等ノ事。仙洞ノ御袍ハ。赤色襦。或ハ甘御衣。大臣袍ハ。襟。異文小直衣。
公卿ハ。禁色雜袍ヲ着スル等。又ハ袍色ハ。四位以上ハ。襟。五位ハ。排。 ○才藝異等。學問有識歌
地下ハ。赤衣。六位ハ。深緑。七位ハ。淺緑。八位ハ。深縹。初位ハ。淺縹ノ類。 ○才藝異等。學問有識歌
者ヲ云フ。 ○累功勞者。奉公ノ功勞。 ○超遷。等級ヲユエテ。上官位
者ヲ云フ。 ○累功勞者。奉公ノ功勞。 ○超遷。等級ヲユエテ。上官位

僧官。印。律師。法眼ノ類。 ○浮屠。即チ僧侶。 ○官達。高官ニ。其身ヲ
達スルヲ云フ。 ○流貳。ナガシモ
以上十七條中ニテ。其幾分ヲ出シタル者ニテ。省キタル
箇條多シト知ル可シ。故ニ起首ニ略曰ク云ヒシナリ。 ○織田氏。常眞。即チ
諸邑。大和ノ宇陀郡。 ○祖廟。阿彌陀佛ノ太閤ノ廟ナ
リシチ。廟號ヲ停止シ。聖像ヲ方廣寺
ニ徙シ。其祭祀ノ儀式ヲ削ラレタリ。 ○任其頹廢。其修復ヲ爲サズ。クツレルマ、ニ。打棄テ

社ヲ。豐國廟ノ正面ナル道路上ニ設ケ。人ノ豐國廟ニ參詣スル能ハザル様ニ爲シタリ。然ルチ前
ニモ官ヒシ如ク。今明治三十一年ニ至リ。天下ノ人民奮起シテ。廟ヲ再興シ。日吉廟ヲ徙シテ。道

路ヲ開クコトナリタリ。當時
ヲ距ル。實ニ二百八十四年ナリ。 ○驕縱。オゴリツガマ
○花井某。名ハ義雄。三九郎ト稱
ス。姿儀美ナリ。善ク小

妓ヲ寵フチ以テ。幼童ノ時。家康命ツテ之レヲ忠輝ニ屬ス。人トナリ便
依。忠輝ノ母之レヲ嬖シ。國政ヲ預リ開キ。爵ニ叙シ。遠江守ト稱ス。 ○三將。皆川廣照。山田
ナリ。 ○訴之駿府。親宗勝政ノ二人ガ。往キ訴ヘシ
ノ母モ。之レヲ與カリ聽キ。本多正純ニ由リ。其罪ヲ謀議シ。遂ニ親宗勝政ヲ殺シ。廣照ノ死一等

シク。 ○徙越後。六十二萬石ヲ食
シ。 ○森山江。近
○牙騎ノ騎兵。 ○三人。諸書皆ナ長坂
丹瀨藏ノ二人ト爲ス。本書三人ト爲ス。蓋シ誤ナラン。 ○信政之嗣。嗣ノ字。諸書皆ナ弟ト爲
難波戰記ナドニハ。伊丹ヲ載セズ。亦一説ナリ。 ○信政之嗣。嗣ノ字。諸書皆ナ弟ト爲

トアレバ。是
處ノ謬ナリ。 ○逗撓。ハツツノト
○驗實。近江ノ代官小野總左衛門。及ヒ觀音寺
山田將監。富永大學ノ二人ガ。自カラ誣ヒテ。忠輝ノ罪ヲ解カントセシニ。歩士ノ者共ガ。之レヲ
聞キ。初メ事ハ我輩ヨリ起リシニ。今隊長ヲシテ之レニ當ラシムルハ。不義ナリト云ヒ。乃チ三人

ノ者ヲ諸隊ヨリ選出シ。小澤某松岡某ニ。之レヲ護送セシメタリ。然ルニ之レヲ縛シ送ラント曰
ヒシニ付。一人ノ者ハ。我等ハ主人ノ身代リニ立ツモノニテ。罪人ニ非レバ。縲紲ノ辱ヲ受クル等
無シト云ヒ。割腹シタリ。是ニ於テ二
人ノミテ。駿府ニ致シタリト云フ。 ○自認。自分トモノ鬪争ニテ。牙騎ヲ殺シタ
阿茶局。姓ハ山田氏。遠江金谷驛ノ産ナリ。初メ鑄工某ニ嫁ス。其姿色アルチ以テ。衆之レヲ慕ヒ。

遂ニ其夫ヲ殺ス。山田氏之レヲ濱松ニ訴フ。家康之レヲ愛憐シ。爲メニ其仇ヲ誅シ。而シテ之レヲ

獨學日本外史

一七

納レ龍幸シ。○驍健 勇氣ノア。○期成立 ナリマツテ。善キ大將トナ。望ミ居タト云フ意。○荒情 酒色ナト

スサミ。奉チナマケ。○乃爾 乃チカヤウテ。○血槍 信政、血槍九。○不許見 臨濟寺ニ

降シ命チ候。○遺命 秀忠ニユイエンセシナリ。以。○伊勢 朝熊ノ金剛證寺ニ居リ。又。○飛

彈山 信濃 諏。○先大坂役 慶長十九年。正月ナリシ。○陰應大坂 其邑清水ヲ以テ。大

退老 隱居ス。○公使 巡檢使。○服章 衣服ノ制。○正會 元日賀正ノ禮。○田中河

得報 落合小平次、之レヲ江戶ニ報ス。兩府相去ル。○戒行 出立ノ用意チ。○看護 看病ス

○廷臣二人 廣橋大納言藤原兼勝。○力疾 病氣チオ。○磨婦女 云云。慶ハアナヲヘニ

ヒヤル意ナリ。遺命ニ託シ、後日亂チ願ス等。往々。○入地 死スレバ。地中ニ葬ムル故ヘニ。死

○執大政有日 慶長十年。秀忠征夷大將軍ト。○當其器者 將軍職ニ任スベキ。器

柄 榊柄。○天下非一人之天下 六韜中ノ。○不諱 死スルコト云フ。史記ニ出ツル

ル所ニシテ。忌マントシテモ。忌ムチ得サル。○拘留累年 無理ニトメオクコト。○出意外

モノナリ。故ニ不諱ト曰フ。諱ハ忌ムト訓ス。○拘累年 無理ニトメオクコト。○出意外

國ニ就クト云ヒシ故ヘ。思ヒノ外ナリシ。是レ擒獲ノ。○善者 政事チ上手ニ。○私曲

マゲル義。○方命 命令ニサカラフテ。○勳舊 功勞ノア。○歐欵 泣キ入リテ。涙ニ

正成 義直ノ。○直次 頼宣ノ。○信吉 頼房ノ。○輔導 ナヒク義。○疾革 病氣ガ大

セマレ。○謂天下何 我が死後ニ於テ。天下ガイカヤ。○可以死也 左様ナル考ヘテ居レ

死ス可キデアルトノ意ナリ。○慈 慈悲深ク。下チア。○久能山河 賜郵典ニ痛ミテ。

香奠ナドチ。下シ。○頼宣就建廟 久能山ノ葬處ニ就ヒテ。マヤヤチ立テ。○守久能

城守ヲセ。○宗家 ナリ。○以絶 キトツタ。○掌祀事 廟ノ祭典チ。主任セルナ

僧天海請號 廟大權現 家康台教ニ歸シ。曾テ法ヲ天海ニ受ケ。且ツ山王神道ヲ喜ブ。天海ト

シナリ。權現ハ。權リニ化身チ現シテ。衆生。○改葬云云 三月十五日發引。大僧正天海。躬カテ

冠鎌足チ。攝津ヨリ。大和多武峰ニ。○既望 十六日。○廷臣三輩 四月十四日。神靈ヲ假殿ニ

顯宣命使。十六日。正殿ニ移セシ時。中御門宰相藤原宣衡。宣命使ト爲。○是日 上ノ既望

リ。清閑寺宰相藤原共房。奉幣使ト爲リシナリ。本背混念シ。分明チ欠ク。○是日 上ノ既望

一八

○**柁井親王尊純** 伏見貞教親王ノ孫、顯庵ノ子。二品尊純法親王。此時柁井ノ門主ナリ。サテ是レヨリ日光廟ヲ定メ大社ト爲シ、戰セテ祀典ニ在リテ、毎歲祭ヲ修スル

ナレリ。○**後三世** 家光ノ子。○**諸外夷** 朝鮮、琉球、阿蘭陀ノ類。○**器材** 或ハ洗水盤、石燈籠、石華表、五層塔ノ類。枚舉ニ暇アラズ

○**護廟** 日光上野ノ兩廟ヲ。○**後三十年** 後光明天皇正保二年十一月三日ナリ。今出川前大納言經季傳宣使タリ。○**日宮** 八幡宮、天滿宮等ニ

准セラレシト云フ。○**沈毅** ツヨキキチ云フ。○**大略** オホヒナ。○**好學** 藤原胤、林通勝等ノ類。○**規百世之後** 百代ノ後ナマテ傳フ可キ

○**恭順** スナハナリクダリツ、シマ。○**鎮護** 天子ノ國ヲシツマモル意。德川氏強盛ノ時ニ。○**稼穡之事** 農事ヲ指シ言フ。稼ハ成リシ史乘ノユトニ。往々過譽アリト知ル可シ。○**稼穡之事** 米ヲウエツク事

○**諸知** ツラチオ。○**託遊敗** 鷹ガリナトニ。カ。○**訪疾苦** 人民ノナンギ補ハカリトリ。○**養士氣** サムライノ氣性ヲ。ヤシナヒツ

○**開言路** 成ル尺ケ諫言ノ出。○**巧伎** ツルカシコト。口オノユクキクニ云フ。本多正信父子ヲ。終身

○**浮華** ウハキニ。○**尾張** 織田氏ナリ。サレバ實タリシ。○**百舌** 鳥ノ名。モズト訓ス。遺老物

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

○**小** 百鳥ノ聲ヲ作ス。故ニ小惑ト言ヒシナリ。○**戈于圃** 弋ハ弓ノ矢ニ。生ギヌチツケ、鳥

トロヘシ如 ○不禮已 已レニ向ツテ。禮節ヲ施サレリシヲ云フ。神谷某ハ陛下ノ士ニシテ。キチ云フ。初メ正親ニ逢ヒ。禮ヲ致シタルニ。正親ノ之レヲ知ラザリシヲ以テ。他日神谷ガ正親ニ對シ。 ○眞可用者 權臣ニ媚事セザレバ。其奇節。 ○請倍其俸 無禮ナリシ事アリシト云フ。 ○獎勵 ゲマス義。 ○不類焉 正親ノ公正ニ似。 ○擯

千石ト曰フヲ。一千石ニセント請。 ○獎勵 ゲマス義。 ○不類焉 正親ノ公正ニ似。 ○擯 輕薄 人情ノウスク。ウハキナ。 ○信賞罰 賞ス可キハ。必ラズ賞シ。罰ス。 ○資 賜ト同ヲ。 ○濫 功無キ者ニ。賞ヲ賜フヲ。 ○士怠 功無クシテ。賞ヲ得レバ。實際功ヲ立ツルモ。訓ス。 ○濫 功無キ者ニ。賞ヲ賜フヲ。 ○士怠 功無クシテ。賞ヲ得レバ。實際功ヲ立ツルモ。

○偏 スルヲ云フ。 ○偏大 枝ノカタク。ハカリガ。オホキクナルヲ云フ。即チ人ノ我が。 ○登其根 一スチ云フ。即チ國家ヲ顛覆サセルニ比ス。 ○鷲鳥 鷹ノ如キ。 ○搏繫 鳥。 ○用舍 スルヲ云フ。 ○大賀 彌四郎。文無害ヲ以テ。岡崎ノ胥徒ヨリ起。 ○懲

志 一度過ツテ。之レニユリテ。以後チ。 ○浚民膏血 稅歛ヲ厚クシテ。人民ノアブ。 ○能臣 ヨク事務ノ出來ル臣。 ○蓄怨 貨財ヲ積ミタルハヘルノガ。即チ人民ノウ。 ○迂拙 マハリ。 ○動 容易ナ。 ○榜牌 ツチノ制札ヲカケ。 ○泰衡 藤原秀衡ノ子。 ○難拔 矢ヲ引キヌキテモ。矢ノ根ヲクハ。離レ。 ○聖慶 眉ヲユセ。カホチシカマル。 ○忍

シ。頼朝ニ滅サレタリ。サレド源記ニ。 ○東陸 東方ノ邊。 ○介冑之習 武士ノ習慣。介。 ○衣纓之習 公家ノ習慣。衣冠ヲ著シ。 ○實用 器械ナドヲ作ル。 ○華飾 表ヲ向キノ。ハナ。 ○大蠹 大弊害ヲ云フ。 ○與祖考者舊 與ノ字。祖考ノ下ニ在ル可キチ。誤ツテ顛倒セ。 ○期其無弊 弊害ナキチ。目當テニシ。 ○變更 カヘアラ。 ○鍛鍊 鐵ヲ

立ツル。 ○異好尚 銘々スキユノム所ヲ。別々ニスル。或ハ身ノソリノ有ル無シト。 ○數附治工 思ハク通りニ。改正サセルヲ云フ。 ○故家 闕ノ家。 ○舊製 製ハ制ノ訛ナ。 ○舊臣 數代召抱ヘシ。 ○滅絶 其家名ヲ斷。 ○大柄 天下ヲ治ムル。 ○三道 東海。 ○四境 日本全國ノ四方ノ境內チ。 ○折衝禦侮 敵兵ノ衝キ來ルチ。クツクチ。折衝。 ○遺武 武事ヲ打チ。 ○竊其職 徒ヲニ其封祿ヲ資リテ。 ○講 討論シ。研。 ○甘其銜 矢ノ根チ。矢竹ト離レヤスキ様ニ。ア。 ○難拔 矢ヲ引キヌキテモ。矢ノ根ヲクハ。離レ。 ○聖慶 眉ヲユセ。カホチシカマル。 ○忍

○難拔 矢ヲ引キヌキテモ。矢ノ根ヲクハ。離レ。 ○聖慶 眉ヲユセ。カホチシカマル。 ○忍 獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

獨學日下ト戸書卷 卷ノ二ノ一

哉 殘忍ノ義即チ人ヲ憫レ
ムナカケノ無キチ云フ。○孰非天下之民
敵トハ言ヘドモ。矢張り天下ノ人民ナリ。サ
レバ殊更ラニ之レヲ苦痛セシムルノ道理ナ
シト。○易拔 ナリ是レ孟子ノ謂フ所ノ人ヲ殺スチ嗜マサル者能ク之レチ一ニセントノ趣
意ニ合ヒ。即チ徳川氏ノ○所育 長サセル義。○桶峽 尾
以テ天下ヲ得ル所ナリ。○天性 ト云フ義。○訓誡 シタル義。○綏撫 ヤスソシ。
町ノ處ニ通ズ。故ニ來往必ズ。○公人 御上ニノ役人ノ意。當時ハ家康モ亦ク一諸侯
義。○正則封 萬八千二百石。○公人 御上ニノ役人ノ意。當時ハ家康モ亦ク一諸侯
今成 前ニ圖書ト書キシ人ナリ。之レヲ自殺セシメシガ。無理ナレバ。何ゾ其時ニ之レヲ抑止セ
サル。而シテ之レ甘諾シ。之レヲ使役シ。此ニ至リ其封ヲ奪フ。郵務ヲ段ト謂フ可シ。

○陰通謀城中 一有ノ罪ナリ。○擅増築城郭 正則城壁ヲ修築セント請フ。秀
大藩ヲ以テ之レヲ築ク。今正則僅ニ二國ヲ以テ。修補セント請フ。其分ヲ知ラズト謂フ可シ。宜ク
牙城ヲ撤シ。二三郭ヲ以テ居城ト爲スメシト。老中旨ヲ傳フ。正則聽カズ。大ヒニ櫓壁ヲ増築スト
云。○酷嗜殺戮 正則初メテ國ニ入ルヤ。唐風船ヲ擲ス。正則水主ニ問フ。對ヘ曰ク。地嵐
ヲ備後産スル所ノ鵜飼。例ニ藩府ニ獻ズ。而シテ他ノ獻ズル所ヨリ劣ナリ。正則怒リ。其匠ヲ召
シ。槍ヲ把リ。親カラ之レヲ刺シ殺スト云フ。大凡ソ此レ等暴ハ則チ暴ナリ。而シテ其罪以テ封ヲ
奪フニ足ルカ。後人 ○不聊生 生活上ニ。安メズルコトガ出來スト云フ意。○津輕 與
宜ク考一考スベシ。○不聊生 トガ出來スト云フ意。○津輕 與 ○太僻 アマレイナ
カスギル。

○信濃 川中 ○七萬石邑 川中島四萬五千石 越後魚沼郡二
萬五千石 合セテ七萬石ナリシ。○舊封 即チ安
備後。○淺野
氏 辰 ○所食如故 萬石。○三家 俗ニ御カン
ケト曰フ。○抗禮 ハリアフテ
禮スル義。○不之國 常ニ
江戶

○不令終也 名藩ヲ全フシテ。身ヲ終フ
ルコトガ。出來ストノ意。○興國寺城河 康景
城屋

○得色 シヤンスル
カホツキ。○傷倫 父ヲ殺サント言ヒ。人倫ノ
大綱ヲヤブリシチ云フ。○要名 忠義ノ名ヲモト
ムルチ云フナリ。

○其間 太平無事ノ世ノ
ナカト云フ意。○二萬石 相模
甘繩。○將軍之過 上田城ヲ攻メテ。關
原ノ戰期ニオケリシ

○矢石之勞 矢ヲ放チ。石ヲ飛シナドシテ。戰鬪セシ
功勞ヲ云フ。余謂フ。正信曾テ一向賊ニ
與ミシ。其主ニ敵セシ際ハ。矢
石ノ勞モアリタリシ。阿々。○益養材武云云 虛飾以テ虛名ヲ誇ム。憎ム可シ。大久保忠
隆ハ。材武ノ士ニ非ルカ。而シテ何チ以テ

○田中氏 兵部少
輔吉政。○出羽 由利ニ配
流セラレ。○叨恩眷
中宮 寬永元年十二月二十八日。中
宮ト爲リ。皇后ト稱スト云フ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○譜第 世々徳川氏ニ臣タル者。
已ニ前ヘニ詳カナリ。○復立花宗茂舊封 關原ノ役。宗茂西軍ニ
屬シ。罪ヲ得。封ヲ奪ハ
リ。陸奥柳倉一萬石ヲ賜ヒシガ。大坂兩役。師ニ從フ。是ニ至
リ。舊封後柳川ニ復シ。十一萬九千六百七十石ヲ賜フ。○郡山 和
大。○鎮府 關西地方ノ
ス府。○城代 役ノ名。蓋シ城ヲ預リテ。
將軍ノ代理スル義ナリ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○城代 將軍ノ代理スル義ナリ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○田中氏 兵部少
輔吉政。○出羽 由利ニ配
流セラレ。○叨恩眷
中宮 寬永元年十二月二十八日。中
宮ト爲リ。皇后ト稱スト云フ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○矢石之勞 矢ヲ放チ。石ヲ飛シナドシテ。戰鬪セシ
功勞ヲ云フ。余謂フ。正信曾テ一向賊ニ
與ミシ。其主ニ敵セシ際ハ。矢
石ノ勞モアリタリシ。阿々。○益養材武云云 虛飾以テ虛名ヲ誇ム。憎ム可シ。大久保忠
隆ハ。材武ノ士ニ非ルカ。而シテ何チ以テ

○其間 太平無事ノ世ノ
ナカト云フ意。○二萬石 相模
甘繩。○將軍之過 上田城ヲ攻メテ。關
原ノ戰期ニオケリシ

○得色 シヤンスル
カホツキ。○傷倫 父ヲ殺サント言ヒ。人倫ノ
大綱ヲヤブリシチ云フ。○要名 忠義ノ名ヲモト
ムルチ云フナリ。

○不令終也 名藩ヲ全フシテ。身ヲ終フ
ルコトガ。出來ストノ意。○興國寺城河 康景
城屋

○譜第 世々徳川氏ニ臣タル者。
已ニ前ヘニ詳カナリ。○復立花宗茂舊封 關原ノ役。宗茂西軍ニ
屬シ。罪ヲ得。封ヲ奪ハ
リ。陸奥柳倉一萬石ヲ賜ヒシガ。大坂兩役。師ニ從フ。是ニ至
リ。舊封後柳川ニ復シ。十一萬九千六百七十石ヲ賜フ。○郡山 和
大。○鎮府 關西地方ノ
ス府。○城代 役ノ名。蓋シ城ヲ預リテ。
將軍ノ代理スル義ナリ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○田中氏 兵部少
輔吉政。○出羽 由利ニ配
流セラレ。○叨恩眷
中宮 寬永元年十二月二十八日。中
宮ト爲リ。皇后ト稱スト云フ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○矢石之勞 矢ヲ放チ。石ヲ飛シナドシテ。戰鬪セシ
功勞ヲ云フ。余謂フ。正信曾テ一向賊ニ
與ミシ。其主ニ敵セシ際ハ。矢
石ノ勞モアリタリシ。阿々。○益養材武云云 虛飾以テ虛名ヲ誇ム。憎ム可シ。大久保忠
隆ハ。材武ノ士ニ非ルカ。而シテ何チ以テ

○其間 太平無事ノ世ノ
ナカト云フ意。○二萬石 相模
甘繩。○將軍之過 上田城ヲ攻メテ。關
原ノ戰期ニオケリシ

○得色 シヤンスル
カホツキ。○傷倫 父ヲ殺サント言ヒ。人倫ノ
大綱ヲヤブリシチ云フ。○要名 忠義ノ名ヲモト
ムルチ云フナリ。

○不令終也 名藩ヲ全フシテ。身ヲ終フ
ルコトガ。出來ストノ意。○興國寺城河 康景
城屋

○譜第 世々徳川氏ニ臣タル者。
已ニ前ヘニ詳カナリ。○復立花宗茂舊封 關原ノ役。宗茂西軍ニ
屬シ。罪ヲ得。封ヲ奪ハ
リ。陸奥柳倉一萬石ヲ賜ヒシガ。大坂兩役。師ニ從フ。是ニ至
リ。舊封後柳川ニ復シ。十一萬九千六百七十石ヲ賜フ。○郡山 和
大。○鎮府 關西地方ノ
ス府。○城代 役ノ名。蓋シ城ヲ預リテ。
將軍ノ代理スル義ナリ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○田中氏 兵部少
輔吉政。○出羽 由利ニ配
流セラレ。○叨恩眷
中宮 寬永元年十二月二十八日。中
宮ト爲リ。皇后ト稱スト云フ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○矢石之勞 矢ヲ放チ。石ヲ飛シナドシテ。戰鬪セシ
功勞ヲ云フ。余謂フ。正信曾テ一向賊ニ
與ミシ。其主ニ敵セシ際ハ。矢
石ノ勞モアリタリシ。阿々。○益養材武云云 虛飾以テ虛名ヲ誇ム。憎ム可シ。大久保忠
隆ハ。材武ノ士ニ非ルカ。而シテ何チ以テ

○其間 太平無事ノ世ノ
ナカト云フ意。○二萬石 相模
甘繩。○將軍之過 上田城ヲ攻メテ。關
原ノ戰期ニオケリシ

○得色 シヤンスル
カホツキ。○傷倫 父ヲ殺サント言ヒ。人倫ノ
大綱ヲヤブリシチ云フ。○要名 忠義ノ名ヲモト
ムルチ云フナリ。

○不令終也 名藩ヲ全フシテ。身ヲ終フ
ルコトガ。出來ストノ意。○興國寺城河 康景
城屋

○譜第 世々徳川氏ニ臣タル者。
已ニ前ヘニ詳カナリ。○復立花宗茂舊封 關原ノ役。宗茂西軍ニ
屬シ。罪ヲ得。封ヲ奪ハ
リ。陸奥柳倉一萬石ヲ賜ヒシガ。大坂兩役。師ニ從フ。是ニ至
リ。舊封後柳川ニ復シ。十一萬九千六百七十石ヲ賜フ。○郡山 和
大。○鎮府 關西地方ノ
ス府。○城代 役ノ名。蓋シ城ヲ預リテ。
將軍ノ代理スル義ナリ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

○田中氏 兵部少
輔吉政。○出羽 由利ニ配
流セラレ。○叨恩眷
中宮 寬永元年十二月二十八日。中
宮ト爲リ。皇后ト稱スト云フ。○兩戌 二箇所
戌兵。○納女禁内 名ハ
和子。○後進

ヲ修繕シ。竹木ヲ伐リ蓄ヘ。健歩ヲシテ之レヲ監守セシム。盜アリ夜ニ乘ツ之レヲ劫ム。健歩捕ヘ之レヲ殺ス。盜ハ田原邑ノ民ナリ。邑ハ公領タリ。邑宰并出甚介。勢ヲ恃ミ。誣ヒテ良民ヲ殺スト。爲シ。債ヲ求ム。康景聽カズシテ曰ク。我境ニ入り盜ヲ爲ス。之レヲ捕殺スル。律ニ於テ罪ナシト。甚介乃チ正純ニ因リ之レヲ訴ヘシナリ。サレバ誤殺ニ非ズ。本書誤ル。○乘封

興國寺城邑一萬石 ○出亡 狩野ニ潛匿スト云フ。正純ノ姦憎ム可シ。家康已ニ康景ノ直ヲ知テ棄テタルナリ。○出亡 リ而シテ正純ヲ問ハズ。昏惑モ亦甚シ矣。秀吉ノ三成ニ於ケル

ト。何ソ分 ○冤之 無實ノ罪ナカクシヤ。○誅阿媽港人 前卷ニ見ユ。○僚吏 役人。○希賞 人ヲ誅セシ功ヲ以テ。賞典ヲ受クルヲ希望スルヲ云フ。○誑ニ取其貨 家康ガ將ニ晴信ヲ賞セントシ。正純ガ命ヲ受ケシニ

キテ。金銀錦緞ヲ食リ取リ。後々又々東府ノ賭老ニ賄フト言ヒ做シテ。銀六千兩ヲ取リタリ。○抵罪 罪ニ處分セラレタ。○陰事 其邪蘇教ヲ奉ズ

リ。或ハ云フ。長崎奉行ヲ暗殺セント圖リシト告ゲシナリト。○忠鄰之冤 逆ヲ謀カリシト言ヒ做シ。○小山 野下 ○宇都宮

同上。河越本字津宮ニ作宮ル。上文ト合ハズ非ナリ。○山形 出羽ノ羽前蓋シ最上氏ノ封ヲ奪ハレシ。○正重之

後 正重ハ正信ノ弟ナリ。初メ近江坂田一千石ヲ領セシガ。後々數世。上野沼田四萬石ヲ賜ヒ。後々又々駿河田中城ニ轉ズト云フ。○致事 軍職ヲ讓リ。隱居スルト。

○負功缺望 大阪後役ノ功ヲタノミニシテ。賞典ノ薄キチ不足ニ思フナリ。蓋シ忠直。大阪ノ先登第一タリ。而シテ功ヲ賞シ。從三位ニ陞リ。參議ニ任セラレタルマデナリシ。

○密旨 表テ立メズシテ。内々御沙汰ヲ云フ。○放之云云 米五千石ヲ給ス。○寬永 後水尾帝ノ年號。○越後 高田二十

○後三世云云 光長ノ臣小栗正矩。萩田主馬等。奸佞權ヲ弄ス。事江戸ニ聞ス。五世將軍綱吉。シ。米一萬石ヲ給ス。後々數ニ遇ヒ。米三萬石ヲ賜ヒ。爵位ヲ復ス。子綱賢。先ツ卒ス。弟長頼ノ子

綱國ヲ養ヒ嗣ト爲ス。綱國父ノ事ニ連坐シ。福山ニ配セラル。後々數ニ遇ヒ刺殺ス。是ニ於テ光長。又々族直矩ノ子長矩ヲ養ヒ嗣ト爲ス。長矩名ヲ宣富ト改メ。美作津山十萬石ヲ賜ヒタリ。光

長ハ寶永四年。九十三ニテ卒シ。至テ長壽ノ人ナリシ。本書後三世ト云ヒシハ。大ヒニ誤レリ。○皆有功 忠昌。夏役七日ノ戰。城兵念流左太夫ヲ殺シ。黒門ニ先登シ。天王寺口ヲ破リ城ニ入

リ。○河中 信濃河中島。十二萬石。○高田 越後二十萬石。○越前 井。三十萬石。藩翰譜ニ。五十二

○支封 知行ヲ分ケテ。大名トスル。○大野 越前。五萬石。○成重 九岡城ヲ賜ヒ。幕府ヨリ。○將軍弟

秀忠四子アリ。長ハ家光。次ハ忠長。次ハ保科正之。次ハ長磨。○淺井氏 即チ淀君ノ妹ナリ。○白河 陸奥。即チ蒲生

皇女。孝謙帝以來。絶テ皇女ノ御即位ハ無カリシニ。此ノ變例ヲ用ヒラレタリ。且ツ帝ニハ皇子

ル所トナリシ結果ナリ。○德川氏 即チ秀忠ノ女。○八年 寬永八年ナリ。明正天皇在位ノ

人ナシテ慎々タラシム。○増上寺 江戸ノ芝。○大相國 太政大臣ノ唐名ナリ。サレバ上ノ太

○少老職 即チ若年寄ナリ。○和厚 ヤハラギテ。深切ナル意。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

○謚台德 是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

是レモ矢張り朝廷ヨリ賜ハリ。○外舅 妻ノ父ヲ外舅ト

明正帝ヨリハ。母ノ父ニ當レバ。外 ○禮秩之ヲ侍ス。禮儀秩序。○小心云フ。文王ノ小心翼々ノ語

祖ト書スベシ。本誓ノ謬ナラン。○便室休息所。○闕ノツキミル。○肅然シミタル貌。

○懽容ルスマケタ。○承權親ノ心ノヨロコビタル。○咨稟思召シテウカフテ。○皆

有^カ功 秀康ハ。宇都宮ニ留リ。上杉氏ヲ拒ギ。○繼嗣ハ。何ツヤ。家康モ亦々定見無キカ。

○右忠吉 我ガ娘ノ婿ナルヨリ。私意。○右秀康 秀康ノ生母永見氏ノ懷胎セシ時。夫人今

多氏ニ依リ。生ル。ニ及ビ本多重カガ。病カニ之レ生育シヨリシ。重次ト正信トハ同族

ナリ。故ニ常ニ秀康ニ肩持ナシナリ。○資望 地位人望。○撥亂 世ノ亂チ。除キ治ムル義。時ノ江漢

子ト曰フ。即チ秀忠ヲ指ス。○資望 地位人望。○撥亂 世ノ亂チ。除キ治ムル義。時ノ江漢

不^ズ脚 心中ニ根ニ。○躑 是ナリ。俗ニ云フ。○館 其第一ニ宿泊スル。○同母 俱ニ西郷

リ。西郷氏名ハ昌子伊賀ノ人。服部正尚ノ女。西郷。○候視 見舞ヒテ。氣。○寢食隨報加

損 秀忠ノ起臥飲食スル節度ガ。病人ノ報知ニ隨ツテ。加ヘタリ。減シヨリシタルナ

見氏ノ所生ナリ。○火器 鐵炮。○碓氷關 野上。○呵禁 シンカリツケテ。○不知 越前

宰相乎 火器ヲ禁ズルハ。叛亂ヲ恐レテナリ。秀康ハ一族ノコト故ヘ。叛亂ノ咎無クシ。他ノ

月。秀康參議ニ任シ。八年正月ニ。辭任セリ。碓氷ノ事ハ。七年ノ七月ナレバ。越前宰相ト稱セシ答

○悼惜 シム義。○百歳後 死後ヲ指シ。○燕樂 ノシムチ云フ。○戒駕 トモソロヒ

○親面徒御罷之 人ヲ以テ言ハシメズ。是非自身ニ出テ。トモマハリノ者ニ面會シテ。

○漏刻 時計ノコトナリ。古ヘハ水ヲ器内ニ入レ。下部ニ小穴ヲ穿チ。滴々之レヲ漏ラシ。内部

○舍箸 事ヲ中止シテノ意。○信 シ信義ナリ。○居常 イセイ。○武

技 劍槍弓。○傲 自慢ス。○馴服 心ヤスク慕ヒ服スル義。具。○喜爲人所事 喜ハ善ト

○慎於選人 善ク人ヲ使フト云フ。手本トセシユ。○乘閒說日 家光ノヒマナル時ヲ見カ

○伯耆言 正直ナル。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

温和ナル所ナリ。○伯耆言 諫言ナリ。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

温和ナル所ナリ。○伯耆言 諫言ナリ。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

温和ナル所ナリ。○伯耆言 諫言ナリ。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

温和ナル所ナリ。○伯耆言 諫言ナリ。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

温和ナル所ナリ。○伯耆言 諫言ナリ。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

温和ナル所ナリ。○伯耆言 諫言ナリ。○謂之何 嚴重ナル性質ナレバ。イカハ申スデ

ナラシ。○發喪 薨去ノ沙汰。○冀望天下 天下ヲ取リタキト。之。○其所欲 略々ノ望ヲノ意。○發喪 薨去ノ沙汰。○冀望天下 天下ヲ取リタキト。之。○其所欲 略々ノ望ヲノ意。

○係軍職 征夷大將軍ノ職ヲ務メシ。○以弓箭授受之 ヌメヤヲ取テ決シテ差止メ。○係軍職 征夷大將軍ノ職ヲ務メシ。○以弓箭授受之 ヌメヤヲ取

シテ爲サントノ意。○愕然 ノ字無シ。怪ム可シ。○挾異心 謀反ノ心ヲシテ爲サントノ意。○愕然 ノ字無シ。怪ム可シ。○挾異心 謀反ノ心ヲ

○大目付 目付ノ長官ナリ。○監察 ツケ視察スル義。○叔父忠雄 即チ利隆ノ弟。俱

卒於元和中 利隆ハ元和二年六月卒シタレド。忠雄ハ寛永九年四月卒シ

ノ領スルコト。○適大坂而寡 即チ秀頼ノ妻。○忠政之婦 忠政ノ子忠刻ノ妻ナ

其女妻光政 家光ノ妻女ト爲シテ。妻ハシタルナリ。光政。新太

豐臣記ニ 出羽内 舊封前 其兄脩 後幕府 吉宗ノ時。○遺胤 遠キナス

云。○同母 母ハ、即チ淺 鍾愛 情ヲアツメカ。○春日局 美濃ノ齋藤利三ガ女ナリ。初

故アリ江戸ニ至リ。家光 兩公子 家光。○上座 上段ノ。○欲踵升 兄ニ引キツバヒ

ノ乳母ト爲リシト云フ。○叱叱 云フ。ニリヤノ類。○饑 モチナリ。俗ニ云

シタ。○叱叱 云フ。ニリヤノ類。○饑 モチナリ。俗ニ云

クエヨト言 ヒシナリ。○衆望於是定矣 其待遇ノ隔別ナルニ因リ。竹千代ハユツギトナル

西丸。○幸 料理ス。○且何處得之 シカシドコヲ。此ノ免

ナリ。○大怪事 俗ニ云フ。ケシカ

瑤千萬ナリ。○失驢 云フ。○損 損ケル義。○自如 平常ノ通りニシテ。平氣ナル

トノ意ナリ。○威容 ナゲキイタム

リシ。○除服 喪服ノ終リシト云フ。○高崎 野上

本ニ重次ニ作ルハ。非ナリ。是時阿部重次ガ命ヲ受ケテ。江戸ヨリ高崎ニ至リ。重長ヲ見テ

命ヲ傳ヘ。ソコヲ重長ガ。忠長ニ親シタル手續キナリシ。其レ故ニ重次ト認リシナラン。○直

隸 シキノ支配トナリシナ

リ。俗ニ天領ト曰ヒシ。○堀尾氏 忠晴ナリ。出雲隠岐ニ

忠高。弟高政ノ子高和ヲ養ヒ子ト爲ス。未ダ聞セズシ

テ卒ス。是ニ於テ特ニ高和ヲ召シ出サレタルナリ。○播磨地 龍野。後チ讃岐丸

行 ○除黨 蘆塚忠太夫。千千輪五郎左衛門。森宗意軒等。天

ノ采邑内 ○贊 謀 時ニ諸侯戰場ニ出ツル者無シ。是ニ於テ勝成ノ屢々戦ヲ經タ

ニ屬ス。○渠帥 カシラフ

戰死 信綱勝成ノ至ルト聞キ。先ツ

城ヲ陷レントシ。戰死シタリ。○渠帥 カシラフ

○生駒氏 高俊ノ讚岐

○理財 金

米穀等ノ經濟向 ○度支 勘定奉
 キチ指シ言フ ○皇兄紹仁 明正帝ハ。後水尾帝ノ長女ニシテ、元和九年
 ニシテ、寛永十年三月ノ降臨ナリ。カレバ本誓ノ皇兄ハ、皇弟
 ノ訛ナリ。後光明帝ノ母ハ、准三宮藤原光子、壬生院ト稱セリ。○甲斐 甲府ニ
 國名ヲ記シ。一ハ地名ヲ記ス。失體 ○英偉 材ノヒイデ、
 ニ似タリ。宜ク一例ニ居ルベシ。○明將 賢明ノ大將、シカシ
 速定儲貳 スレバ他ノ適ヲ奪フノ恐レアルナリ。○保傳 名將ニテハ無キカ。○
 和セヌ ○因其器成就之 其子ノ生レツイタル器量ニ因テ。○三郎 家康ノ長子信康。
 岡崎城ニ居リテ。又 ○有終身之憾 一生涯ノ遺恨ガアル、其中道ニシ
 シメテ、秀忠ニモ我レノ如 ○巨藩 オホ大名
 ク、再ト憾ミシムルナリ。○巨藩 指ス。○假憲 我儘ヲハタラケテ。
 品川。東北ハ板橋トカ。江戸郊外ノ ○禮分未定 接遇ノ禮節分限ガ。未ダ君臣
 地ニマデ。出迎ヘチスルナリ。○大城 戶
 城ノ大書 ○祖考 家康秀忠 指ス。○同等 俱ニ大名ノ列
 院ナリ。○同 指ス。○加禮待 特別ノ禮ヲ以テ待遇
 指 ○譜第將士 徳川家累世ノ 臣下タル將士。○禊祿 ムツキノ中
 ス。○譜第將士 臣下タル將士。○禊祿 ムツキノ中
 ニモアラズ。○サレバ祖考 天下ノ將士ヲ。スベヒキユル。○不
 ト、資格自カヲ異ナリ。○統率之任 征夷大將軍ノ職任ヲ云フ。○不
 一ノ事權 一ノハ臣

ツカヒ。一ハ賓客ノ交ハリト。二様ニ致シ。政事權柄ヲ執
 ル所ニ於テ。一船臣下ノアツカヒニセザル時ハトノ意 ○不厭心 心中ニ不滿ニ思
 暇 ヘル義 ○去就 命ヲキカスト。キク ○凌巡 シリゴモ ○内廳 奥書院
 順序ヲ以 ○便服盤坐 平服ニテ、アツ ○檢办 身ヲヌキテ、其ヨシアシチ。○悚息
 テノ意。 ○全首領以没 シテ、一生ヲオハルト云フ義。○侍
 レ入 ○恭順 ウヤノシク。上意 ○間言 談話スル中、マ、其
 ル。○恭順 ニウケシタガフ義。○全首領以没 シテ、一生ヲオハルト云フ義。○侍
 燕 燕居ニ侍坐スルナリ。燕居ハ。用ノ ○間言 談話スル中、マ、其
 無キ時、我が居間ニ居ル時ヲ指ス。○間言 談話スル中、マ、其
 ○摘察 ツマミダシ。氣 ○黜陟 臣下ヲシリツケ、又 ○側衆 君側ニ侍
 物件 品物ノ件 ○條對 一々箇條ヲ擧ゲテ。○簿記 帳面ノ書き
 數ナリ。○條對 返答ヲ申上ケル。○簿記 ツケシモノ。○惶汗 オソソ入ツテ。
 ○更相告警 更ハ迭ナリ。同役ノ者共ガ、タガヒニ相ヒ知ラセ ○緣故 親類又ハ故舊デア
 合フテ。以後チ氣チツケル様ニ致シタト云フ義。○緣故 親類又ハ故舊デア
 云。○横邪 道理ニハツレ。ニガ ○承平 天下ノ太平 ○麾下 江戸ノハタモ
 フ。○横邪 ヲシユトチ云フ。○承平 天下ノ太平 ○麾下 江戸ノハタモ
 自給 自分ニクナスギスル ○遺金 カタミツ ○固乏 不自由スル。○世子 家綱
 自給 自分ニクナスギスル ○遺金 カタミツ ○固乏 不自由スル。○世子 家綱
 慶典 儀式ヲ云フ。○手巾 ヒナリ。○約額 ヒタヒナク、ルニ即チ俗ニ云フ。ハナマキス
 儀式ヲ云フ。○手巾 ヒナリ。○約額 ヒタヒナク、ルニ即チ俗ニ云フ。ハナマキス

ス。今日モ ○扶杖 ガル義。 ○有緩急 何ニカ急變ノアル場合ト云フ義。緩ハ帶言ナリ。 ○出次品川 陣

シテ。極手近カナル品川位。 ○欲置云 此方チ。トコニ置クツモリテアル。實ニ此方ノ

大息 キツクイ。 ○賜言 ニ申渡ス。 ○恃仁狂恩 上ミノ御仁心アルチタノミニシ。御恩

クニ預ルト思。 ○假貸 金銀等チカリカシ。 ○各自量度 應ノツモリチツク可キチ云フ。

○公上 御上ニミト云。 ○心服 中心ヨリ恐。 ○賑恤 ニギハシ。 ○忠俊獲罪 直言極諫シ。

勝ト軋轢セシチ以テナリ。家光少フシテ修飾チ好ミ。髮チ梳ルニ。雙鏡チ照シ。以テ形チ粧フ。忠

勝偶々之レチ見。進ミ曰ク。人君タル者。荷モ無頼ノ裝チ好ム。是レ亂ノ端ナリト。乃チ鏡チ取り。

之レチ中庭ニ。 ○遠江林 小。 ○死配所 寛永九年。赦ニ遇ヒ歸リ。弟幸成ガ采邑 相摸ノ

信濃 萬石。 ○輪誠 眞實ノ心チ。 ○賦 分別ノ無カリシチ云ヒシナリ。 ○報之於汝

親ノ忠勤チ。其方ヘ報。 ○冤魂 無實ノ罪チ受ケ。殘。 ○我子 家綱チ 指ス。 ○嗚咽 泣キ入りテ。

○忠季 忠隣ノ長子忠常ノ子。即。 ○其子忠任 藩翰譜、武家補任等ニ依ルニ。忠任ハ忠季ノ一

田原ノ舊封ニ復セラレシハ。忠朝ナリ。本誓誤ル。 ○父祖 先祖ト云フニ同シ。 ○乳雀 子チ

シス。 ○燕室 オイマ。 ○年少 信綱時ニ年。 ○勉強應命 テ。仰セチキイタ。 ○縁

屋 ヤチツクイニ。度。 ○失足 ベリシチ云フ。 ○諫然 虎伯切ニテ。諫然ハ速カナル義 莊子

養生主篇ニ。勳力甚微。驟然已解トアリ。 ○來由 何故ヘニ來リシヤト。 ○主使者 主トシ

音ノスル形容詞ニ非ズ。蓋シ誤用ナラン。 ○緘其口 獲ノ口チ。メイツ。 ○不首實

付ケタ。 ○窮詰 メル義。 ○巨囊 オホキナ。 ○緘其口 獲ノ口チ。メイツ。 ○不首實

事質チハシヤウ。 ○徹旦 夜明ニマデ。 ○視朝 政廳ヘ出坐シ。 ○信綱之志 アラマ

セチバト云フ義。 ○怯義 開ク。 ○以餒昭之 我ガ食物ノ餘リチ以テ。之。 ○羽

主人チ保護シテ。罪ニカケマ。 ○糊壁 カベニ。ノリバ。 ○新聖 新タニ白

翼 ル義。 ○警敏 生レ付ノサドクシテ。 ○糊壁 カベニ。ノリバ。 ○新聖 新タニ白

リアゲダ。 ○不成則已 出來上ラザレバ。ツレ。 ○責難於下 其レチ例ニシテ。ナンデモ

々ムツカシキ事チ。臣下ニ。 ○謝日云云 是レ其能ク人。 ○有所徵求 箇様ノニセモト。

○驚悔無措 始テ氣ガツキ。ビツクリシテ。後悔シ。 ○會約云云 上杉氏チ聚ツチ罷メ。西ニ

チシテ。約束セシメタ。 ○掃部頭 井伊直孝。 ○辨 處分ス。 ○故紙 ト訓ス。 ○扯裂 ヒキカ

ルナリ。前卷ニ見ユ。 ○辨 處分ス。 ○故紙 ト訓ス。 ○扯裂 ヒキカ

○色然 貌。公羊傳哀六年ニ出ツル字。 ○一時權宜 其時ハ斯ク言ハチバ。キマリガツカス。故ヘ。兎モ角モ一時ノハカラヒデシマ

事ヲヤト ○事既往矣 其事ハ、最早ヤ疾クスギ去 ッムニトデアルト云フ意。 ○要利 利益ヲ要求スル義。一本云フ意。 ○不踐人足跡者 必ラス自分ノ一見職ヲ立テ。人ノアトニ

福島氏 正則。 ○元和中 後水尾帝 元和六年。 ○優勞 特別ノ恩召シテ以テ。 ○慎密 四方ニ早飛脚ヲ立テナ

廉平 伊サギヨクシテ。 ○因劇 病體ガクルシミテ。 ○遠近疑懼 四方ニ早飛脚ヲ立テナ

者。聞キ傳ヘテ。將軍ハ已ニ薨去サレ。 ○稽緩 脚ハ二十四刻ナル例ナレドモ。是時ハ十八刻ナ

運滞セシ故ヘ。斯ク言上セシナリ。 ○驚擾可知也 書面ノ趣ニ因レバ。京都ノ餘程驚キ

侍者 中根宗鑑。 ○周防守 重宗ノ 務示暇豫 ンガ爲メニ。遊獵ニ出デタル云フ。

○非鎮衆情平 將軍ノ薨セシニ。遊獵スルコトハ無キ筈故ヘ。斯ク致シテ。サ

上 多クノ老。 ○孽子 次三男ノ庶。 ○侍婢 神尾氏名ハ靜子。武藏板橋郷竹村人神尾直光ノ

事スト云フ。神尾氏、三松。 ○有孕而出 夫人ノ淺井氏ノ嫉忌ヲ避ケ。 ○生男於其郷

傳ニハ。竹村氏ニ作ル。 ○端午節 五月五日ノ佳

保科頼母ノ覺書ニ云フ。公子ヲ神田白銀街裏ノ做居ニ生ムト。柳營婦 女傳ニ云フ。武藏安達郡大間木村ニ生ムト。諸説未ダ是非ヲ知ズ。 ○端午節 五月五日ノ佳

ニ。是レ我が全國ノ風俗ニシテ。武藏一國ノ風俗ニ非ズ。サレバ邦俗云々ノ解釋ハ。イラス事ナリ

ト。至當ナル説ニ似タリ。サレバ邦俗以下四句。改メテ。端午節。樹ニ莢章。誠干門ト。二句九字ノミ

ニテ。通ズルナラン。サテ其レニ注トモ書。 ○章幟 家ノ紋ノ付キマ。 ○詰 將軍家ノ紋所チ。用

ク者アレバ。邦俗云々ト細記ス可キニヤ。 ○章幟 家ノ紋ノ付キマ。 ○詰 將軍家ノ紋所チ。用

問ヒシ。 ○證左 カニ之レヲ秀忠ニ聞ス。秀忠土井利勝ニ命シ。密ニ章服ヲ賜ヒシト云フ。 ○

以聞 保科覺書ニテハ。利勝ガハカヲヒニテ。見性院ノ尼ニ命シ。正之ヲ撫育セシ。 ○未達分

ガ未ダ發。 ○騷郷 江戸ノ西南郊ノ地。 ○群騎散而自息 〇ホクク從騎トモガ。バラ

達セヌ。 ○微行 シノヒニテ。 ○佛寺 成就院。 ○誰何 ニ來ラレシヤト問ヒシナリ。 ○番衆 上文

ル所ノ番士。又ハ。 ○壁畫 菊花ヲ畫キアリシト云フ。 ○雅 俗ナラズ。風韻。 ○在僻 ナカニ

新番ノ衆士ヲ言フ。 ○大檀越 僧施主ヲ稱シ檀越ト曰フ。檀ハ惠ナリ。此人施惠。 ○親弟 骨肉ノオト

云フ。 ○色少變 其言ノ切ナルヲ聞キ。顔色ガスユシカハ。 ○辭謝而出 僧ニアイサツシテ。 ○懼

誅 薄情ナド、顧リシチ以テ。殺。 ○山形 出羽。覺書等諸書ニ。 ○香火邑 香ヲタク費用ニ

ナリ即チ寺 ○會津 陸奥。今ノ岩代。會津若松城ニ居
産チ云フ。 ○二十三萬石ヲ食ムト云フ。 ○敦實 手アツクシテ。 ○仁恕

ケフカシ。我が身ニヒキク ○慶讓 功勞ヲ賞シ。罪過
ヲペテ。人チアハレム意。 ○多流言 幼主ノ位ヲ覬覦スルトノ。 ○仁恕

○明曆 後西院帝ノ年號。徳川氏ノ記ハ。最早終リ。只ダ其世系ヲ略記シテ。 ○踰歲不滅
此一編ノ結束ト爲セシ故ヘニ。天子ノ御代替リハ。省キタルナリ。 ○踰歲不滅

大火ノ事故ヘ。一年越シニ消ヘガリシトナリ。サレド安藤ナル記事ナリ。此ノ火事ハ。三年ノ正月
十八日十九日ト二日越シノ大火ニシテ。燒死ノ者 十萬八千餘人モアリシナレドモ。四年マデツ

イキ燒クルナド、云フ。事實 ○惘然 ガシキ貌。 ○經理士木 普請ノ事チ。ソレノ。 ○
モ。道理モ。無キコトナリ。 ○惘然 ガシキ貌。 ○經理士木 普請ノ事チ。ソレノ。 ○

復舊觀 一ニ。回復シタ。 ○各第 諸大名銘。 ○殉死 主人ノ死セシ時。切腹シ
僧天海ノ開山ナリ。寛永三年。東照宮ノ廟チ。上野ノ岡ニ新 ○瑩域 埋葬地
建シ。比叡山延曆寺ニ比シ。東叡山寛永寺ト號スト云フ。 ○瑩域 埋葬地

ノ御 ○欲酬微勞 天下チ平定スルツツカノ勳勞ニ。 ○録 トリア
紋。 ○欲酬微勞 報酬セラレントナレバトノ意。 ○録 トリア

チ云フ。文チ以テ論ズレバ。義重廣忠等チ。此處ニ出 ○故址 フルキ
シ。第一篇ノ首ト。自然ノ大照應チ爲スナリ。甚タ妙。 ○故址 フルキ

○兩瑩 増上寺寛永寺 ○上野参河 即チ大光寺 ○重典 大切ナル儀
子 オヒチ云フ。即チ家光ノ第二子綱重ノ長子ナリ。綱吉ニ子徳 ○家繼 家宣ノ第
松丸ト曰フ者アリシニ。天セシチ以テ。從子チ立テシナリ。 ○家繼 家宣ノ第

父ハ ○曾祖 家康チ ○釐革 オサメノアラタムル義。字書ニ。 ○中興 一旦衰ヘシ世チ。再
光貞。 ○曾祖 家康チ 釐ハ理也。又チ治也トアリ。 ○中興 一旦衰ヘシ世チ。再

謂フ。中ハアタルト訓シ。 ○家重 吉宗ノ第一子。 ○所帶 淳和學問院別當。源
理ニ中リ興ル義ナリ。 ○家重 吉宗ノ第一子。 ○所帶 淳和學問院別當。源

○源氏足利氏故事 五位少 將相當。 ○世祿 累世一定セシ
○二子 第二子宗武。第四子宗尹チ謂 ○建封土 一ヶ國ニ封シテ。 ○廩粟 蓋シ攝

津。和泉。播磨。甲斐。武藏。下總等ノ田。十萬石チ。宗武ノ采邑トシ。和泉。
播磨。甲斐。武藏。下總等ノ田。十萬石チ。宗武ノ采邑トナスト云フ。 ○田安一橋 宗武田

居リ。宗尹一 第二子重好。和泉。大和。播磨。甲斐。武藏。
橋邸ニ居ル。 ○一子 下總等ノ田。十萬石チ采邑ト爲スト云フ。 ○省卿 省ハ八省ノ省ナリ。

卿ハ其長官ナリ。宗武ハ。左近衛中將。右衛門督。宗尹ハ。左近衛權中將。
刑部卿。重好ハ。左近衛權中將。宮内卿ナリ。世ニ之レチ御三卿ト稱セリ。 ○無嗣 二子アリ。

年十八ニシテ卒シ。次ハ貞二郎 天セ ○家齊 父名ハ ○其政 其ノ字。有徳公
リ。是チ以テ嗣無キコト。ナレリ。 ○家齊 父名ハ ○其政 其ノ字。有徳公

能 賢徳アル者チ委任シ。オ ○百廢 オホクノ。スマレ ○不得命 御聞届ケ
能アル者チ使用セリ。 ○百廢 オホクノ。スマレ ○不得命 御聞届ケ

篤首山陽翁上書ニ謂フ所。 ○在軍職兼太政官 將軍在世中ニ。太政大臣ニ兼チ任ズル
白川樂翁公ノ適子ナリ。 ○在軍職兼太政官 將軍在世中ニ。太政大臣ニ兼チ任ズル

リシ後チ。太政大臣 ○極其盛云 一盛一衰ハ。天理ノ常ナレバ。此ノ頃チ以テ極盛トセ
ニ任セサレタリシ。 ○極其盛云 シト言フ中ニ。暗ニ後日ノ衰運チ萌芽スト知ル可シ。

獨學日本外史 卷之二十一 二六

○夥 多ナリ。オビヨ。 ○東海 東海道ナリ。 ○彷徨 アナコナ。ヘンゲル意。徘徊ト同シ。 ○綿亘 山勢ガツト。○重疊 サナリ合フ義。

○迤 邪行ナリ。○其南 美濃ノ關ケ。原チ指ス。 ○沃野 ユエツナ。○洪闊 オホヒニ。ウナヒ。 ○衢路 往復通行ノ街道。 ○馳驟 シル義。 ○決瀾背於此也 德川氏ニムカフト。ツムクトチ。此ノ沃野ニテ。決斷シタリト云フ義。即チ關ケ原ノ戰爭チ指ス。

○源平以還 源氏平氏コノカマ。 ○碓塞 道路ハ。ツカヘンカ。 ○閱 義。 ○綏帶垂橐 オビチニ。ウナヒ。ウナガヒチタレテ。旅中ノ用意モセストノ意ナリ。橐ハ元來底ノ無キノ類。サテ橐中ニ米ナド入ルレハ。外形ノ張リタル者ナリ。

○不齋糧 トチ通行スルニ。宿屋ナドノアル可キ管ナク。糶米ノ用意チ。自分ニ爲シ行クナリ。太平ナレバ。其レニ及バザルチ云フ。 ○誰之力邪 言外ニ德川氏ノ功カ。○爲

果東照公之德 森計チ以テ。之レチ滅シタレバ。其德ニキツクシト爲スナリ。當時ニ在テ。環無累ト謂フチ得ズ。余已ニ本營内ニ於テ。時々之レチ驗シ置キタリ。 ○遺孤 信雄チ指ス。不當ノ語ナレト。已

○諸同列 池田丹羽ノ諸將。 ○私其惠 秀吉ニ與ニスレバ。大國チ得ルト。 ○邊巡 行キ進マザル義。 ○毅然 卓立

○扶弱而抗強 信雄ノ弱チヌケテ。秀吉ノ強ニハリアヒ敵スル。 ○野次一戰 小牧ニ野陣チ取リシ中。長湫

○二驍將 二人ノツボキ大將。池田信輝。森長可ナリ。 ○奸雄 將。秀吉チ指ス。 ○瓦合鳥集 鳥ヲノ相合ヒ。ク。ヨリ合ヒシマテ。ニ

○懷觀望 ヒヨリチミルチ云フ。 ○膠漆 二カハ。ウルシノ如ク。固結セザルチ云フ。 ○甲信之精銳 武田氏ノ遺臣ナドノ。德川氏ニ附

○如雲如雨 其多キニ比ス。詩チ云フ。 ○兩姓 豊臣德川チ指ス。 ○未可知也 言外ニ或ハ德川ノ勝チニナ

○曹操 時ノ。魏ノ開祖ナリ。 ○劉玄德 名ハ備。字ハ玄徳。蜀漢ノ先主昭烈皇帝ナリ。此ノ語ハ。玄德ノ未ダ志チ得ズシテ。見ヘ。 ○袁本初 名ハ紹。字ハ本初。三國ノ初メニ當リ。冀州ニ割據シ。一時

○不啻玄德 操ノ玄德チ憚ルヨリ。一層。 ○百方講和 種々手チ盡シ。母子質トスルマテニ至

○至計 極ノ妙計ト云フ意。 ○安危禍福 ナリ。福トナリ。戰ヘバ危トナリ。禍トナル。 ○取決於我 決斷

○班爵之崇 爵位チ列スルノ高貴ナル。 ○封土之隆 關東八州ニ封セラレタ

○未路 晩年チ。 ○兵連于外朝 上ミノ意。シカシ封土ハ。當時毛利氏ナドノ十餘州チ。領セシ者アレバ。其右ニ置クト曰ヒシハ。イカニヤ。

○日本外史講義 卷之二十一 二九

鮮ト手モツレニ ○士亂于内 諸將吏ノ相和セ

ナリシヲ云フ ○一瞑フ義 死スルヲ謂フナリ ○制

馭 オカヘツク追ヒ ○未有覺耳 彼レニ付込ム可キスキ

シ諸將 ○推天下云云 俗ニ云フノシチツケテ

ヲ指ス ○有辭 彼レヨリ我レニ向ケテ

上將之任 征夷大將 關東ノ方ヘ向ツテ

○坐食 居グヒト云フ義 働ラカズテ

○善處之 豐臣徳川二家ノ間チ

○再自開覺 再ハ開ケ原ノ役ニ對シ言フ

○兒童視之 別ニ意中ニ挟ミ居ラスチ云フ

○積慮 考ヘタ上ヘニモ考ヘ

○何有 ナンノコレヲ云フ

○老練 召ナリ

○驕婦 我ガ儘ナルオン

○駭馬 秀頼チ指ス

○主國 今川氏ニ歸リ

○輔質隣國 織田氏今川氏ト經フ

○勁敵 武田北條

○寸擧尺取 人ノ土地チ一寸トカ

○纒定五州 難儀シタ末ヘニテ

○暴ノ義 早急

○遲鈍 手スルチシテ

○開公 徳川氏ノ天下チ取ル様

○嗚呼云云 余ノ考ヘニテ

○奄有 其土地チ悉皆オホ

○獨學 日本外史講義卷之二十二 大尾

日本外史講義 卷之二十二

明治三十一年九月十日印刷
全 三十一年九月十八日發行

定價金壹圓五拾錢

著 者 近 藤 元 粹

發 行 者 兼 青 木 恒 三 郎
大阪市東區博勢町四丁目二十七番邸

印 刷 所 嵩 山 堂 印 刷 部
大阪市西區土佐堀三丁目三十八番邸

發 賣 所 青 木 嵩 山 堂
大阪市心齋橋博勢町角

全 青 木 嵩 山 堂
東京市日本橋區通一丁目

賣 捌 所 嵩 山 堂 支 店
豐州四日市港堅町

全 山 田 芸 艸 堂
京都市寺町二條下



